

運転免許一般受験者の実態に関する 調査研究報告書

昭和56年3月

自動車安全運転センター

まえがき

我が国の運転免許保有者数は、55年末には4,300万人となり年間200万人の規模で増加しつつあり自動車保有台数の増加と相まって、いわゆる国民皆免許時代、大量交通時代を迎えた一方、46年以来連続減少の交通事故発生件数は54年以降やや増加の傾向を示し、きびしい交通情勢となっている。

この交通事故の減少対策については、今日までいろいろの施策が推進されて来ているが、社会的責任を自覚し、行動できる資質の高い運転者を更により多く育成することが必要であると考えられる。

そこで、自動車安全運転センターでは、一般受験者の中から約6,000人について学科知識の修得方法、運転練習の方法等の実態と当該者の免許取得後の違反・事故の実態について調査分析を行うとともに53年度に実施した指定教習所卒業者を対象とする「初心運転者の実態に関する調査研究」の結果と比較検討することとした。

本報告書はその一部として、一般受験者約6,000人のアンケート調査結果と54年中に免許取得した約220万人の受験者について取得後1年間の事故・違反の実態結果をとりまとめたものである。

今後、この報告書が一般受験者の資質の向上対策に活用され交通事故防止に寄与すれば幸いである。なお本調査研究に参加された委員各位と調査に御協力いただいた方々に深く感謝の意を表する次第である。

昭和56年3月

自動車安全運転センター

理事長 中 原 蹟

委 員 名 簿(順 不 同)

委 員 長	警察庁交通局運転免許課長	越 智 俊 典
前 委 員	島根県警察本部警務部長	浅 原 史 郎*
”	警察庁通信局有線通信課課長補佐	片 野 栄 一
委 員	警察庁交通局交通企画課課長補佐	野 崎 源
”	” 運転免許課課長補佐	小 林 好 藏
”	” ” 係長	荒 船 恵 治*
”	” ” ”	岸 下 清
”	” ” ”	芥 藤 昭 二*
”	警察庁長官官房情報管理課係長	西 尾 務*
”	科学警察研究所交通部長	岡 本 博 之
”	” 交通部部付主任研究官	森 尚 雄
”	” 交通安全研究室長	大 塚 博 保*
”	警視庁運転免許本部教習所課長	清 水 昭*
”	” 府中運転免許試験場技能試験課長	守 屋 芳 美*
”	” 鮫洲運転免許試験場技能試験課長	西 上 茂*
”	全日本指定自動車教習所協会事務局長	原 田 春 吉
”	日本能率協会主任研究員	高 嶺 一 男
”	自動車安全運転センター総務部長	芥 藤 明 範
”	” 調査研修部長	北 川 昭 生
”	” 調査課長	渡 辺 正 巳
”	” ” 係長	山 口 卓 耶

(注) *印は幹事を兼ねる。

目 次

まえがき	
委員名簿	
第1章 研究の目的と方法	1
1-1 調査研究の目的	1
1-2 調査研究の方法	1
第2章 一般受験者の現状	3
2-1 一般受験者	3
2-2 一般受験者の推移	3
第3章 初心運転者の事故と違反	5
3-1 調査対象	5
3-2 事故の実態	5
3-3 違反の実態	8
3-4 取消処分の実態	11
3-5 事故と違反の関係	12
第4章 アンケート調査の結果	13
4-1 集計方法	13
4-2 性別、年齢別、職業別、地方別の実態	15
(1) 性別、年齢別の実態	15
(2) 職業別の実態	26
(3) 地方別の実態	29
4-3 技能練習方法別の実態	33
4-4 非指定教習所別の実態	73
第5章 まとめ	122

第1章 研究の目的と方法

1-1 調査研究の目的

本調査研究は、一般受験者の学科知識修得の方法、運転練習の方法等の実態を調査し、一般受験と指定自動車教習所卒業による免許取得者の事故・違反の実態を比較検討することにより、一般受験者の資質の向上対策に活用し、交通事故の防止に寄与しようとするものである。

1-2 調査研究方法

調査の対象として、全国の普通免許取得の一般受験者のうち合格者約12万人から約6,000人を抽出した。

表1-1 調査数

地域別	予定	回収数	地域別	予定	回収数	地域別	予定	回収数			
北海道	400	424	中部	富山県	30	30	四国	徳島県	50	50	
東	青森県	20		18	石川県	90		100	香川県	60	61
	岩手県	30		33	福井県	20		30	愛媛県	40	40
	宮城県	130		134	岐阜県	130		130	高知県	50	57
	秋田県	50		53	愛知県	150		162	計	200	208
	山形県	20		20	三重県	60	60	九州	福岡県	270	270
北	福島県	100		103	計	480	512		佐賀県	190	198
	計	350		361	近畿	滋賀県	30		30	長崎県	170
東京都	750	754		京都府		70	70		熊本県	150	152
関	茨城県	100		100		大阪府	310		311	大分県	60
	栃木県	70	70	兵庫県		270	270		宮崎県	150	152
	群馬県	60	62	奈良県		120	121		鹿児島県	110	120
	埼玉県	110	115	和歌山県	70	70	沖縄県		160	169	
	千葉県	140	141	計	870	872	計		1,260	1,297	
	神奈川県	270	300	中国	鳥取県	10	14		合計	6,040	6,224
	新潟県	180	185		島根県	30	36	回収期間 10月6日～11月21日(最終) (三重)(青森,静岡等)			
山梨県	50	52	岡山県		80	80					
長野県	60	60	広島県		300	303					
静岡県	230	230	山口県		40	48					
計	1,270	1,315	計	460	481						

運転練習方法、学科知識修得の方法等の実態を一般受験合格時におけるアンケート調査により、昭和55年9月中旬から10月下旬にかけて行った。調査票配付数と回収数は表1-1のとおりである。

なお、違反・事故の実態については、警察庁の運転者管理及び交通統計用資料を活用した。

第2章 一般受験者の現状

2-1 一般受験者

運転免許制度そのものは、本来、事故防止機能を持つものであり、特に、運転免許試験制度は、この安全運転能力の有無について判定し道路から危険な運転者を排除しようとするものである。

運転免許試験は、免許の種別ごとに、自動車等の運転に必要な適性、自動車等の運転に必要な技能、自動車等の運転に必要な知識について行われることになっているが、指定自動車教習所を卒業し、適法に発行された卒業証明書を有する者は、技能検定を受けた日から起算して1年以内であれば、自動車等の運転に必要な技能が免除されることとなっている。ところが、諸般の理由により、指定自動車教習所に入所せず、公安委員会が管理する試験場等において試験を受ける者がいる。この者をいわゆる一般受験者といい、その多くの者は、公安委員会の指定を受けていないいわゆる非指定自動車教習所や個人指導員あるいは知人、友人等から指導を受けてから受験しているのが現状である。

2-2 一般受験者の推移

運転免許保有者数は、昭和48年6月に3,000万人を突破し、さらに昭和54年6月には4,000万人を超えて、昭和55年12月末現在で4,300万383人となった。特に、最近は女性の免許保有者の増加が目立ち、最近3年間における女性の増加率(36.1%)は、男性の増加率(9.5%)の3.8倍となっており、その間における増加数においても女性(333万9,173人)が男性(263万8,288人)を上回っている。

普通免許の学科試験、技能試験の一般合格者数は、昭和52年をピークに年々減少傾向にあり、昭和53年中は、学科試験で-5,543人(-3.8%)、技能試験で-4,051人(-3.0%)、昭和54年中は、学科試験で-869人(-0.6%)、技能試験で-1,424人(-1.1%)、昭和55年中は、学科試験で-15,769人(-11.3%)、技能試験で-12,561人(-9.6%)となっている。この減少傾向は、最近の道路交通においては、複雑多岐にわたる情報の入手とこれに合った適切な運転操作が要求される結果、基礎から系統だった教育が受けられる指定自動車教習所へ入所を希望する者が増加したことにもよるが、一般受験者の主体である男性の免許保有率が高くなったことも原因のひとつであると考えられる。

表2-1 学科試験の一般合格者の年別推移

区 分 \ 年 別	51	52	53	54	55
第 1 種 免 許 合 格 者 数	889,393	1,137,226	1,181,926	1,007,152	1,007,564
増 減 数	—	247,833 (27.9)	44,700 (3.9)	174,774 (-14.8)	412 (0.04)
普 通 免 許 合 格 者 数	137,283	145,379	139,836	138,967	123,198
増 減 数	—	8,096 (5.9)	-5,543 (-3.8)	-869 (-0.6)	15,769 (-11.3)

表2-2 技能試験の一般合格者の年別推移

区 分 \ 年 別	51	52	53	54	55
第 1 種 免 許 合 格 者 数	242,037	247,573	240,319	244,265	220,413
増 減 数	—	5,536 (2.3)	-7,254 (-2.9)	3,946 (1.6)	-23,852 (-9.8)
普 通 免 許 合 格 者 数	129,454	136,929	132,878	131,454	118,893
増 減 数	—	7,475 (5.8)	-4,051 (-3.0)	-1,424 (-1.1)	-12,561 (-9.6)

表2-3 指定自動車教習所卒業者の年別推移

区 分 \ 年 別	51	52	53	54	55
第 1 種 免 許 卒 業 者 数	1,834,056	1,979,971	2,064,833	2,189,639	2,207,743
増 減 数	—	145,915 (8.0)	84,862 (4.3)	124,806 (6.0)	18,104 (0.8)
普 通 免 許 卒 業 者 数	1,594,519	1,731,088	1,786,712	1,871,102	1,852,709
増 減 数	—	136,569 (8.6)	55,624 (3.2)	84,390 (4.7)	-18,393 (-1.0)

第3章 初心運転者の事故と違反

3-1 調査対象

調査の対象は、昭和54年中（1月～12月）に普通免許を取得した、全初心運転者とし、各人の免許取得の日から1年間の事故と違反の状況を抽出した。

第3-1は、抽出者数の内訳である。

表3-1 抽出者数

種別	性別		計
	男	女	
指定教	1,136,205	960,989	2,097,194
非指定教	38,543	17,351	55,894
貸コース	15,772	3,546	19,318
その他	107,636	24,030	131,666
計	1,298,156	1,005,916	2,304,072

註 抽出の条件は、併記免許を含み、取消処分者を除いた

3-2 事故の実態

図3-1は、事故者率を練習区分別（指定教習所、非指定教習所、貸コース、その他）、性別、年齢別に示したものである。男性の指定教習所卒業者1,136,205人中人身事故を起した者は32,470人で、事故件数にすると傷害28,079件、死亡293件であった。事故者率は2.86%である。年齢別にみると、18～19歳の4.32%が最大で、年齢とともに順次下がり40歳以上では1.24%である。非指定教習所卒業者は38,543人で人身事故を起した者は1,308人で、事故件数にすると傷害1,120件、死亡14件である。事故者率は3.39%で指定教習所卒業者に比べ0.53%高い。年齢別にみると18～19歳の5.07%を最大に、指定教習所卒業者と同様に年齢とともに下がって、40歳以上では1.35%となっている。貸コースやその他の方法で練習した者も同様の傾向を示し、事故者率は、それぞれ3.02%と2.83%である。

女性の指定教習所卒業者960,989人中、人身事故を起した者は8,955人で、事故件数にすると傷害7,864件、死亡65件であった。

事故者率は0.93%である。年齢別にみると18～19歳が最大で1.25%であるが男性のような年齢と共に減少する傾向はなく、40歳以上が1.05%と大きく、25～29歳が0.77%で最小である。また年齢による差は男性程大きくはない。非指定教習所卒業者17,351人中人身事故を起した者は197人で事故件数にすると傷害174件、死亡0件であった。事故者率は1.14%で指定教習所卒業者に比べて0.21%高い。年齢別にみると18～19歳が最大で1.45%、30～39歳が0.77%で最小である。また年齢による差は、指定教習所卒業者同様、男性程大きくはない。

貸コースやその他の方法で練習した者の事故者率は、それぞれ1.07%、0.89%である。

図3-1 初心運転者（54年中の普通免許取得者）の1年目の事故者率

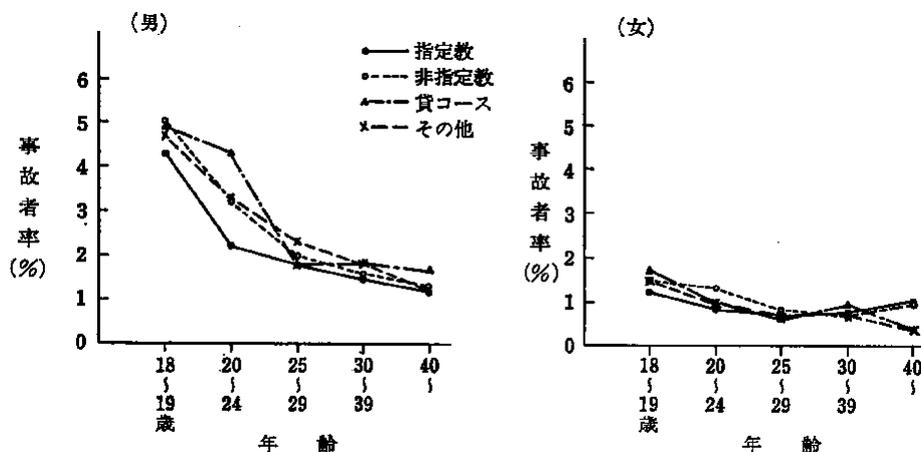
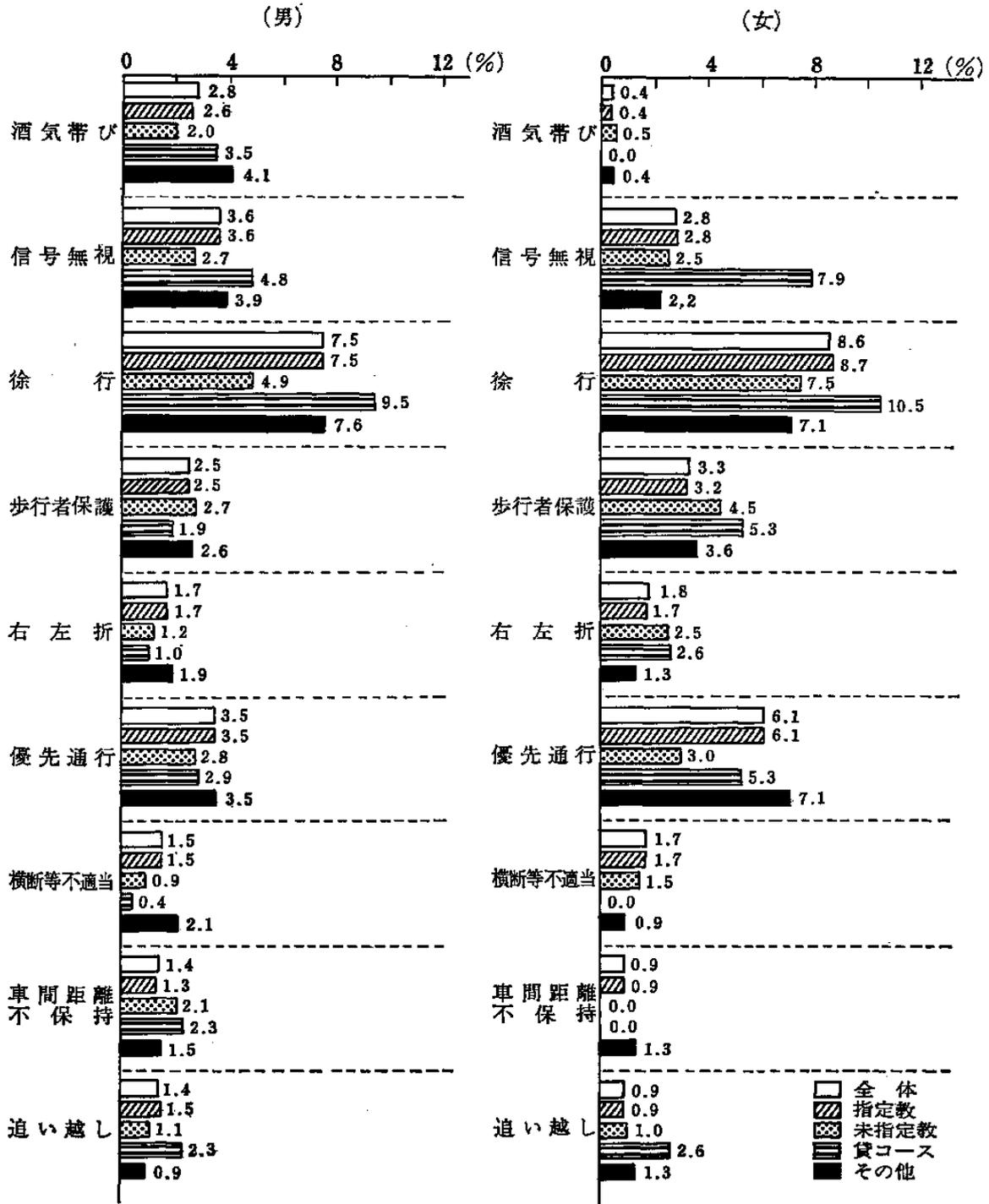


図3-2は、初回事象時の違反内容の構成を示したものである。事故時には違反コードが複数個つくことがある。（例えば酒気帯びと追い越し違反というように。）男性の全事故者37,306人に対して違反は38,960件で1人あたり1.04件である。また、女性の全事故者9,405人に対して違反は9,695件で1人あたり1.03件となる。内容的には安全運転義務違反が圧倒的に多く、男性の場合は58.9%、女性では56.2%である。図には安全運転義務違反とその他は示していない。男女共、徐行、優先通行、信号無視の違反が目立つ。また、男性では、酒気帯びが多く、女性では歩行者保護違反が多い。貸コースで練習した者については、男女共に信号無視、徐行追い越し等の違反が目立ち、路上における安全行動上のマナーの欠除がみられる。

図3-2 初回事故時の違反内容の構成率（重複）



3-3 違反の実態

図3-3は、前節と同様の方法で違反者率について示したものである。男性の指定教習所卒業生1,136,205人中、違反で取締られた者（以下違反者という）は413,459人で、件数にして697,290件であり、違反者率は36.4%、違反率は61.4%である。違反者率を年齢別にみると18～19歳の44.5%を最大に、25～29歳では若干増加するものの年齢と共に漸減し、40歳以上では21.1%となる。

非指定教習所卒業生38,543人中違反者は16,186人で、件数にして28,619件、違反者率42.0%、違反率74.3%で、いずれも指定教習所卒業生よりも高い。違反者率を年齢別にみると18～19歳の46.5%を最大に、年齢とともに順次下がり、40歳以上で25.4%となる。貸コースやその他の方法で練習した者も同様の傾向を示し、違反者率はそれぞれ42.2%、42.7%である。

女性の違反は、男性のような年齢による明確な傾向はみられない。指定教習所卒業生960,989人中、違反者は105,838人で、件数にして130,095件であり、違反者率は11.0%、違反率は13.5%である。

非指定教習所卒業生17,351人中違反者は2,291人で件数にして2,819件、違反者率は13.2%違反率は16.3%である。いずれも指定教習所卒業生よりも高い。

貸コースで練習した者の違反者率は13.6%、その他の方法で練習した者の違反者率は11.3%である。

図3-3 初心運転者（54年中の普通免許取得者）の1年目の違反者率

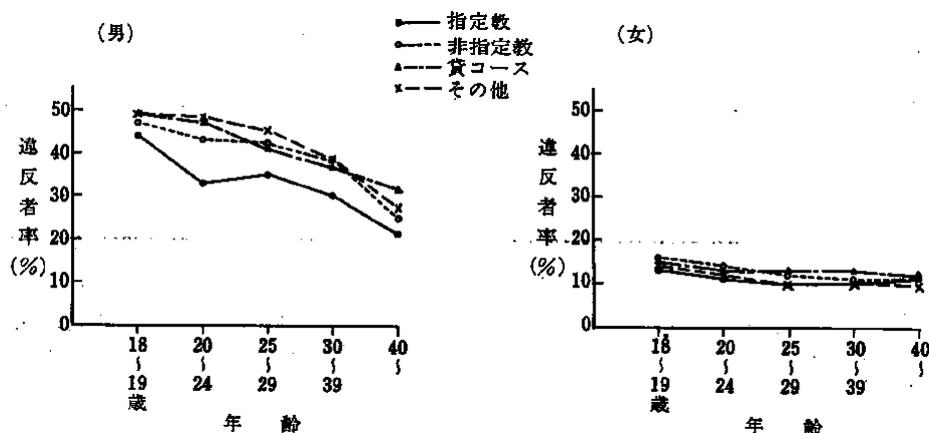


図3-4は、1年間に3回以上の違反をした者の年齢別の割合を示したもので、全違反者の傾向と同様である。

男性の場合、3回以上の違反者率は指定教習所卒業者6.0%、非指定教習所卒業者7.8%、貸コース7.9%、その他が8.5%である。

女性の場合は、それぞれ0.4%、0.5%、0.8%、0.5%である。

図3-5は、初回違反の内容の構成を示したものである。違反の場合も、事故時と同様に違反コードが複数個つくことがある。男性の全違反者数482,209人に対して違反コードは489,800件で1人あたり1.02件である。

また、女性の全違反者数111,318人に対して違反は112,038件で、1人あたり1.01件となる。内容的には、速度違反が目立って多く、男性の場合は26.9%、女性が21.5%である。全体に男女の傾向はほぼ等しく、男女とも通行禁止、徐行等の違反が多い。

図3-4 初心運転者（54年中の普通免許取得者）の1年目の3回以上違反者率

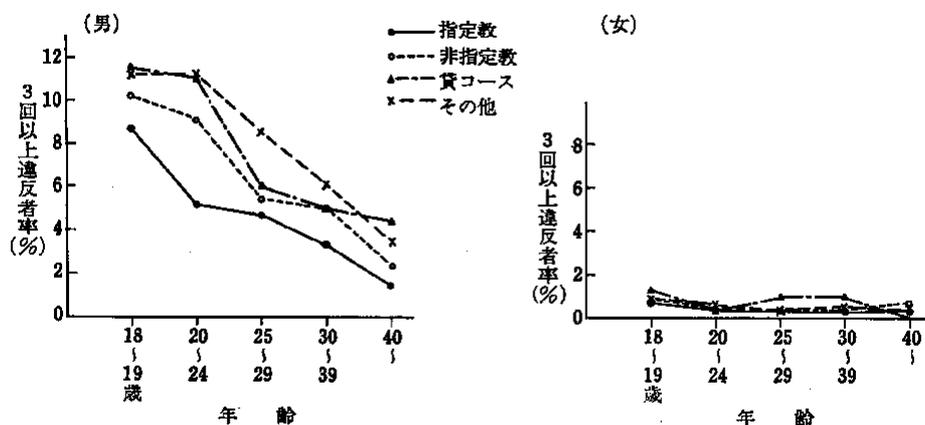
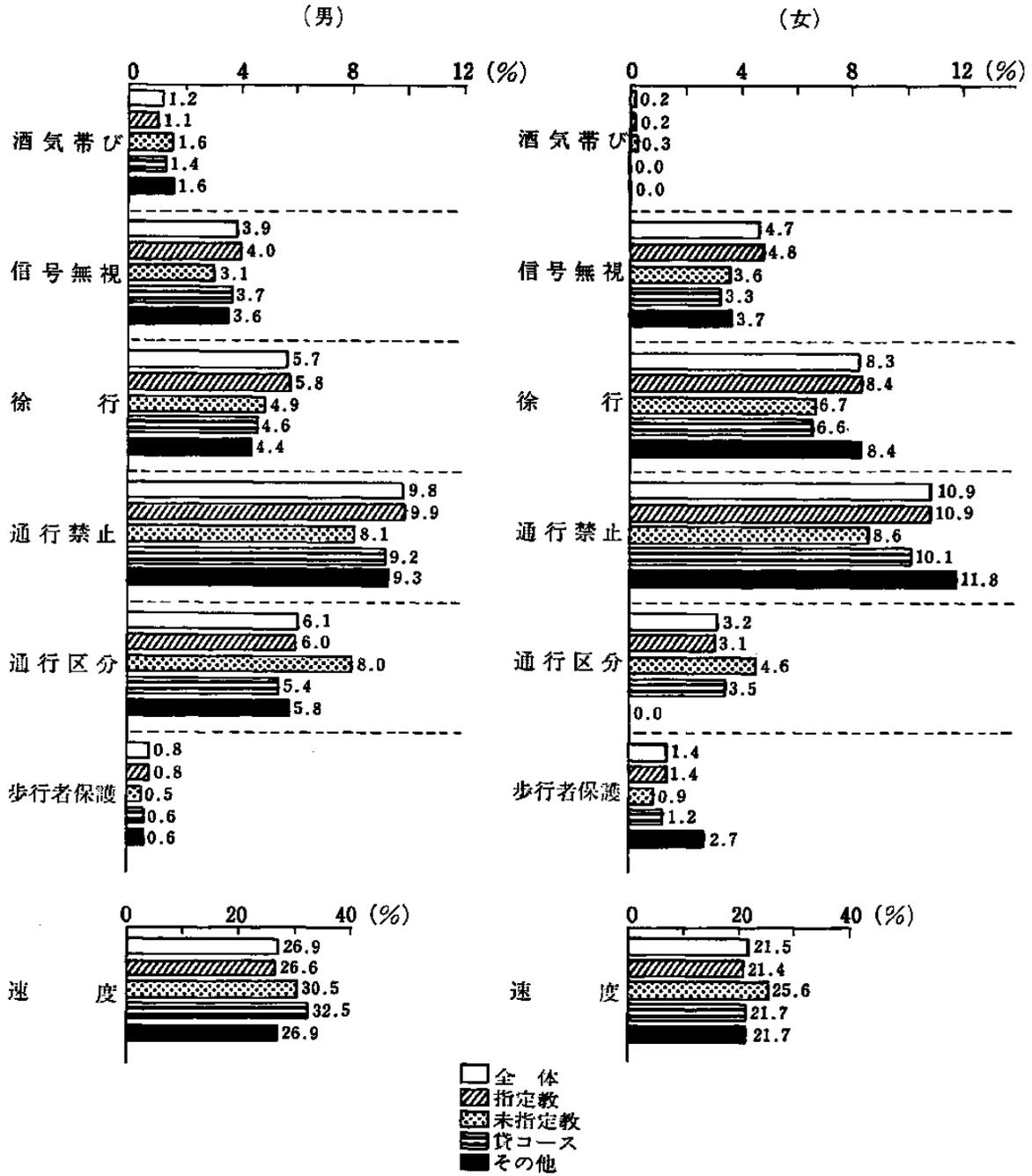


図3-5 初回違反の内容構成率（重複）



3-4 取消処分の実態

運転免許取消処分をなされた者は、男性は4,733人、女性は83人である。

図3-6は、取消しをされた原因の構成を男性について示したもので、違反が約60～70%、傷害事故が約20～30%、死亡事故が約3～6%である。

図3-7は、その年齢別構成で、どの原因においても若年者が多いが目立つ。

図3-6 取消処分の原因構成率

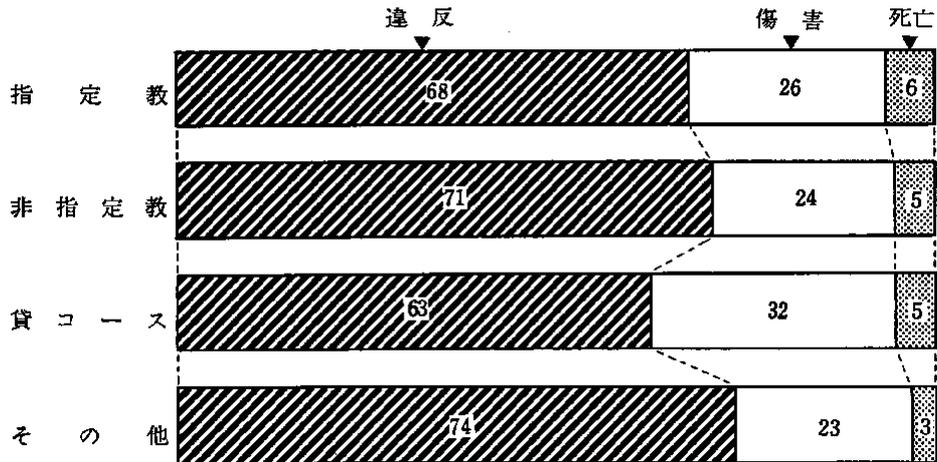
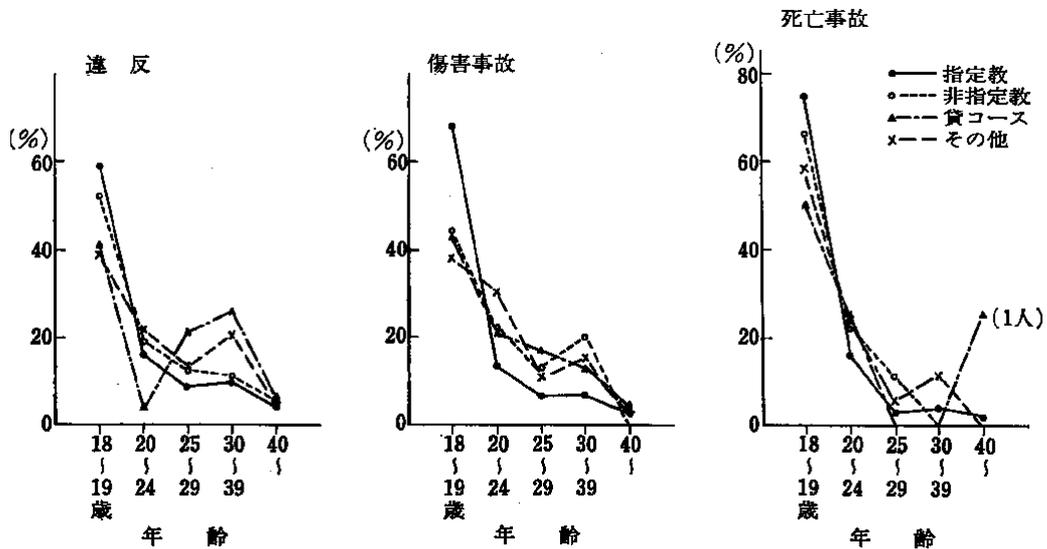


図3-7 取消原因の年齢別構成 (男)



3-5 事故と違反の関係

初心運転者の事故と違反の関係を指定教習所卒業者について示したのが表3-2である。無事故無違反者は98.6%である。事故1回の者についてみると無違反のグループでは1.3%、違反1回のグループで3.1%というように以下順次違反の回数が多いグループ程事故者の割合が多くなっている。事故2回の者についても同様の傾向がみられる。

表3-3は、非指定教習所、貸コース、その他の方法で練習した者全部の事故と違反の関係を示している。この場合も前述の傾向がみられる。

表3-2 違反回数と事故回数の関係（指定教）

違反 \ 事故	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回以上	計
0 回	1,556,584 98.6	21,080 1.3	231 0.0	2 0.0	0 0.0	0 0.0	1,577,897 100.0
1 回	325,050 96.9	10,299 3.1	222 0.1	3 0.0	0 0.0	0 0.0	335,574 100.0
2 回	106,518 95.5	4,858 4.4	132 0.1	4 0.0	0 0.0	0 0.0	111,512 100.0
3 回	40,203 94.3	2,368 5.6	78 0.2	3 0.0	1 0.0	0 0.0	42,653 100.0
4 回	15,940 93.4	1,081 6.3	41 0.2	2 0.0	0 0.0	0 0.0	17,064 100.0
5 回	6,640 92.8	489 6.8	28 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7,157 100.0
6 回以上	4,834 90.6	478 9.0	24 0.4	1 0.0	0 0.0	0 0.0	5,337 100.0
合計	2,055,769 98.0	40,653 1.9	756 0.0	15 0.0	1 0.0	0 0.0	2,097,194 100.0

表3-3 違反回数と事故回数の関係（非指定教等）

違反 \ 事故	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回以上	計
0 回	130,488 98.4	2,115 1.6	43 0.0	2 0.0	0 0.0	0 0.0	132,648 100.0
1 回	41,305 96.6	1,422 3.3	29 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42,756 100.0
2 回	17,025 95.6	772 4.3	8 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17,805 100.0
3 回	7,295 94.2	439 5.7	12 0.2	2 0.0	0 0.0	0 0.0	7,748 100.0
4 回	3,109 93.1	226 6.8	6 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3,341 100.0
5 回	1,300 92.1	106 7.5	4 0.3	1 0.1	0 0.0	0 0.0	1,411 100.0
6 回以上	1,070 91.5	94 8.0	5 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1,169 100.0
合計	201,592 97.4	5,174 2.5	107 0.1	5 0.0	0 0.0	0 0.0	206,878 100.0

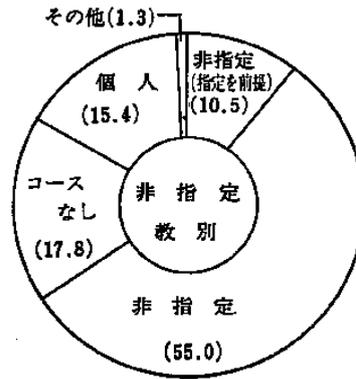
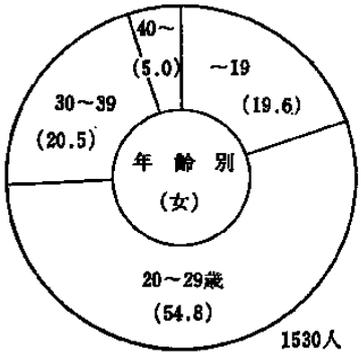
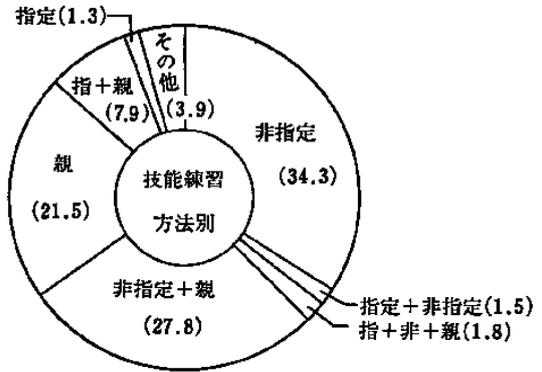
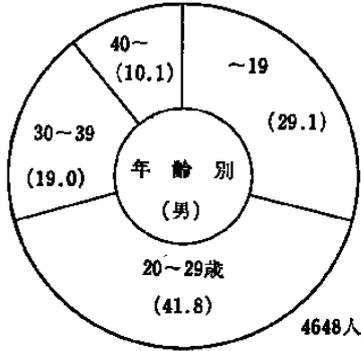
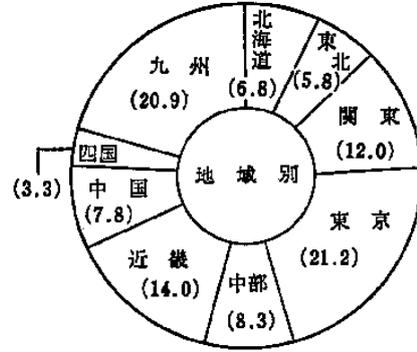
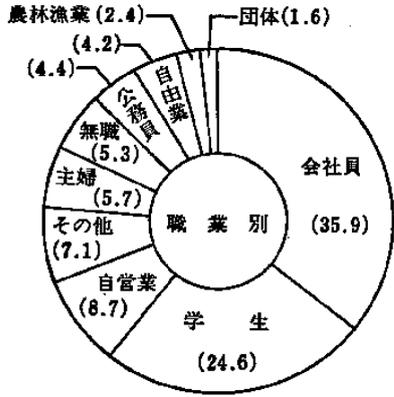
第4章 アンケート調査結果

4-1 集計方法

アンケート調査を実施した結果6,224人の調査票を回収したが、そのうち有効に使用できるものは6,178サンプルであった。その内訳を図4-1に示す。

集計は技能練習方法に主眼をおき、非指定教習所のみで指導を受けた者、指定教習所と非指定教習所で指導を受けた者、指定教習所と非指定教習所と親兄弟・友人等で指導を受けた者、非指定教習所と親兄弟等で指導を受けた者、親兄弟・友人等のみで指導を受けた者、指定教習所と親兄弟・友人等で指導を受けた者、指定教習所のみで指導を受けた者と7種類に区分しとりまとめた、また、練習方法別とは区分方法をかえ、非指定教習所の種類に着目して、非指定教習所で指定を前提とした所とその他の所、コースを持っていない所、個人指導員の4種に区分しとりまとめた。

図4-1 調査回答者の内訳 (%) (調査人数6,178人)



4-2 性別・年齢別・職業別・地方別の実態

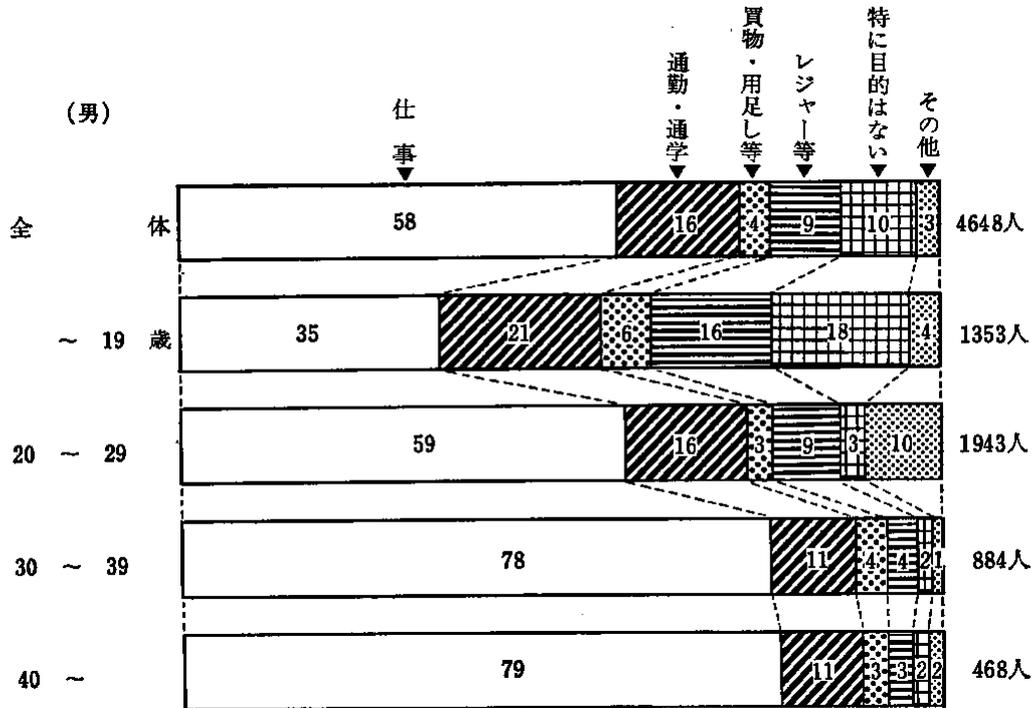
(1) 性別・年齢別の実態

免許の取得目的

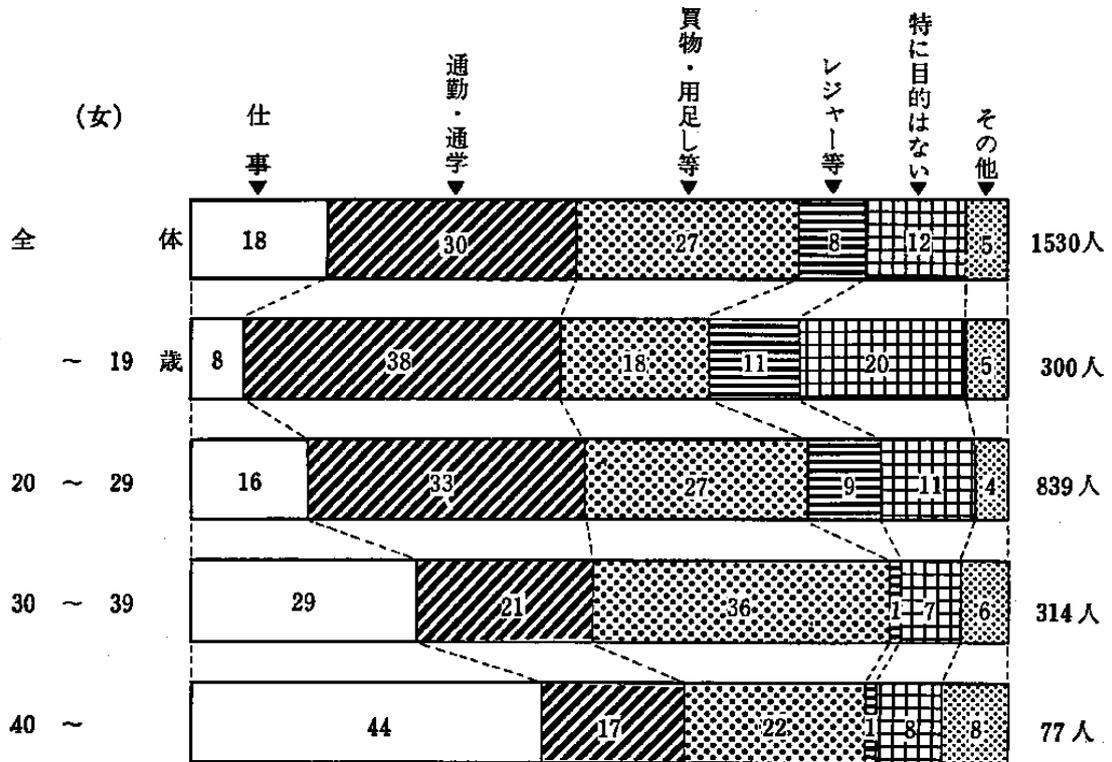
普通免許を取得する主な目的は男性では「仕事」が多く58%である。その割合は30歳代、40歳代が特に多く78~79%である。18~19歳では「通勤通学」「特に目的はない」がそれぞれ16%、10%となっている。

女性では「通勤通学」が多く30%、次いで「買物・用足し等」が27%と多い。18~19歳では「通勤通学」が38%と多いが、30歳代、40歳代では「仕事」がそれぞれ29%、44%と多い。「買物・用足し等」は30歳代に多く36%である。

問1 あなたが、今回普通免許をとる主な目的は次のうちどれですか。（1つだけ○印をつけてください。）



問1 あなたが、今回普通免許をとる主な目的は次のうちどれですか。（1つだけ○印をつけてください。）

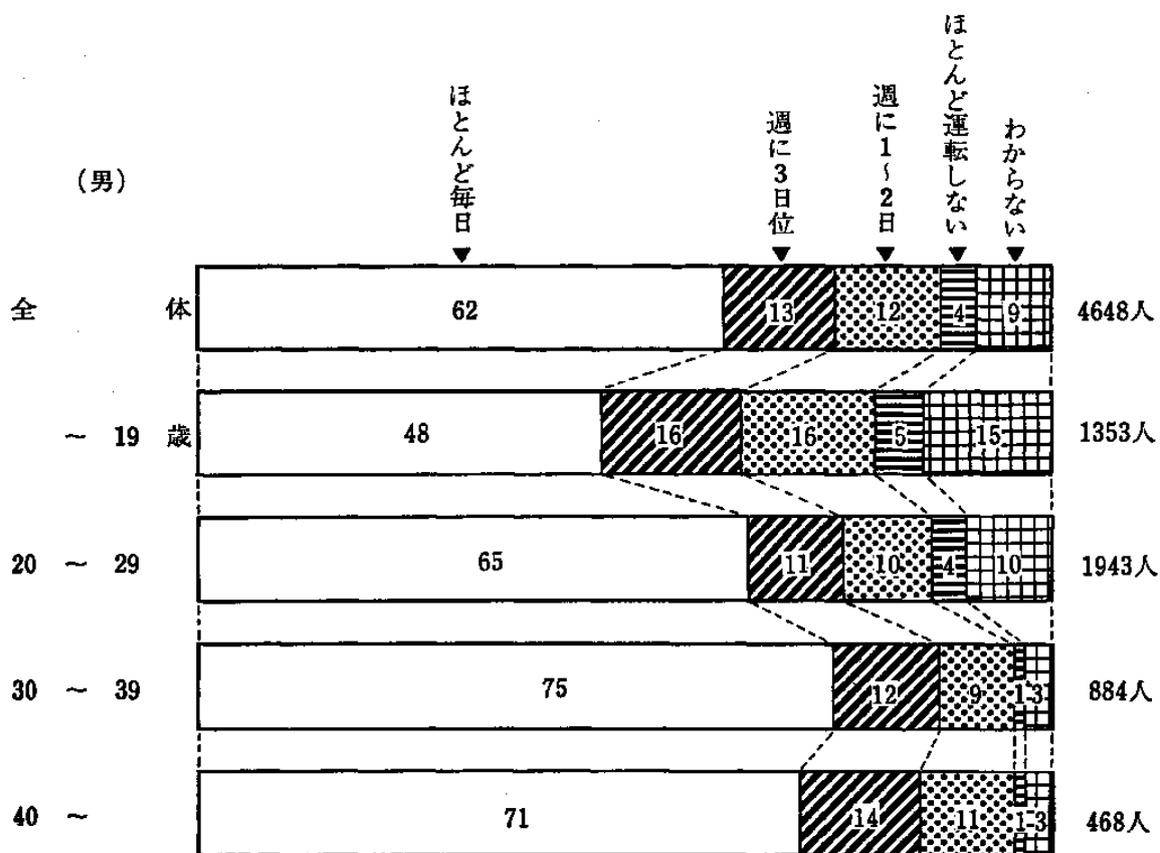


運転頻度

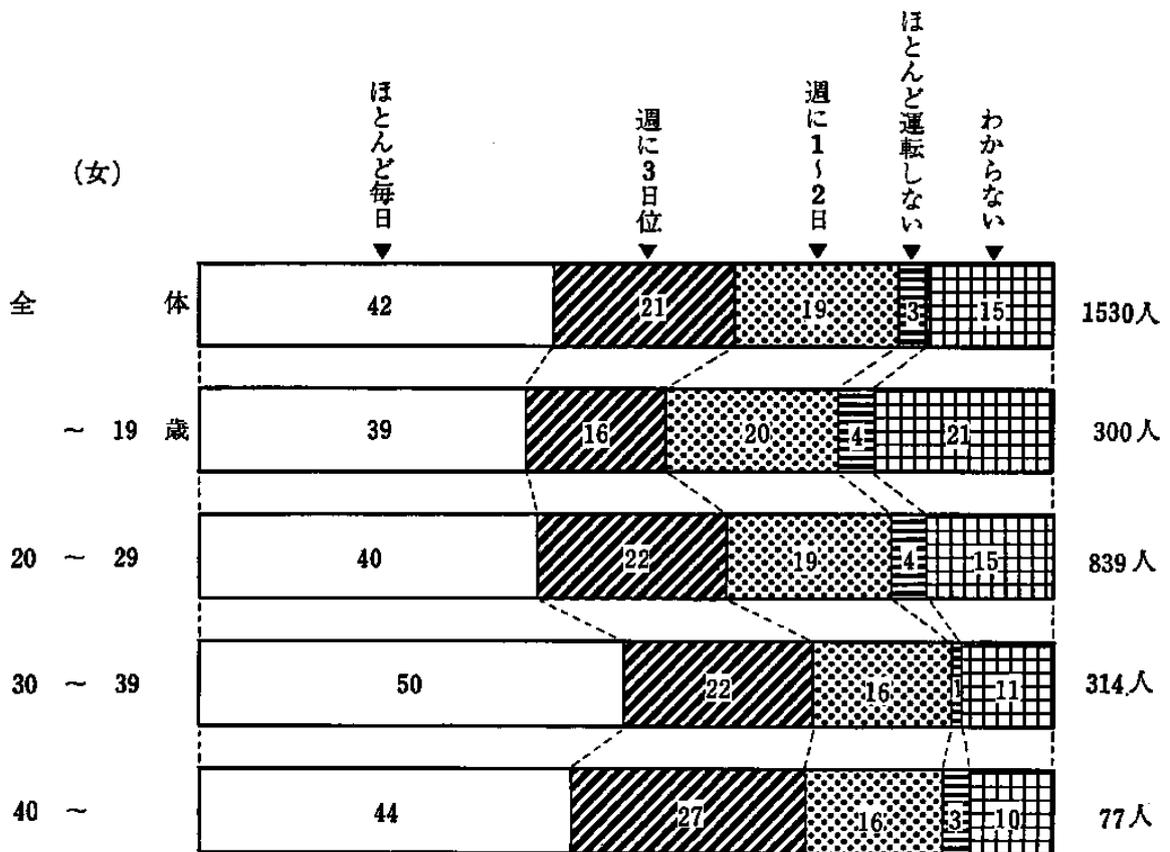
車の運転頻度は、男性では「ほとんど毎日」が62%である。18～19歳では「ほとんど毎日」は48%であり、「わからない」と答えた者が15%もある。30歳代では「ほとんど毎日」が75%もある。

女性では「ほとんど毎日」は男性に比べて少なく42%である。「わからない」と答えた者は15%ある。30歳代では「ほとんど毎日」が50%と多い。

問2 あなたは、今後普通自動車をどれ位運転される予定ですか。



問2 あなたは、今後普通自動車をどれ位運転される予定ですか。

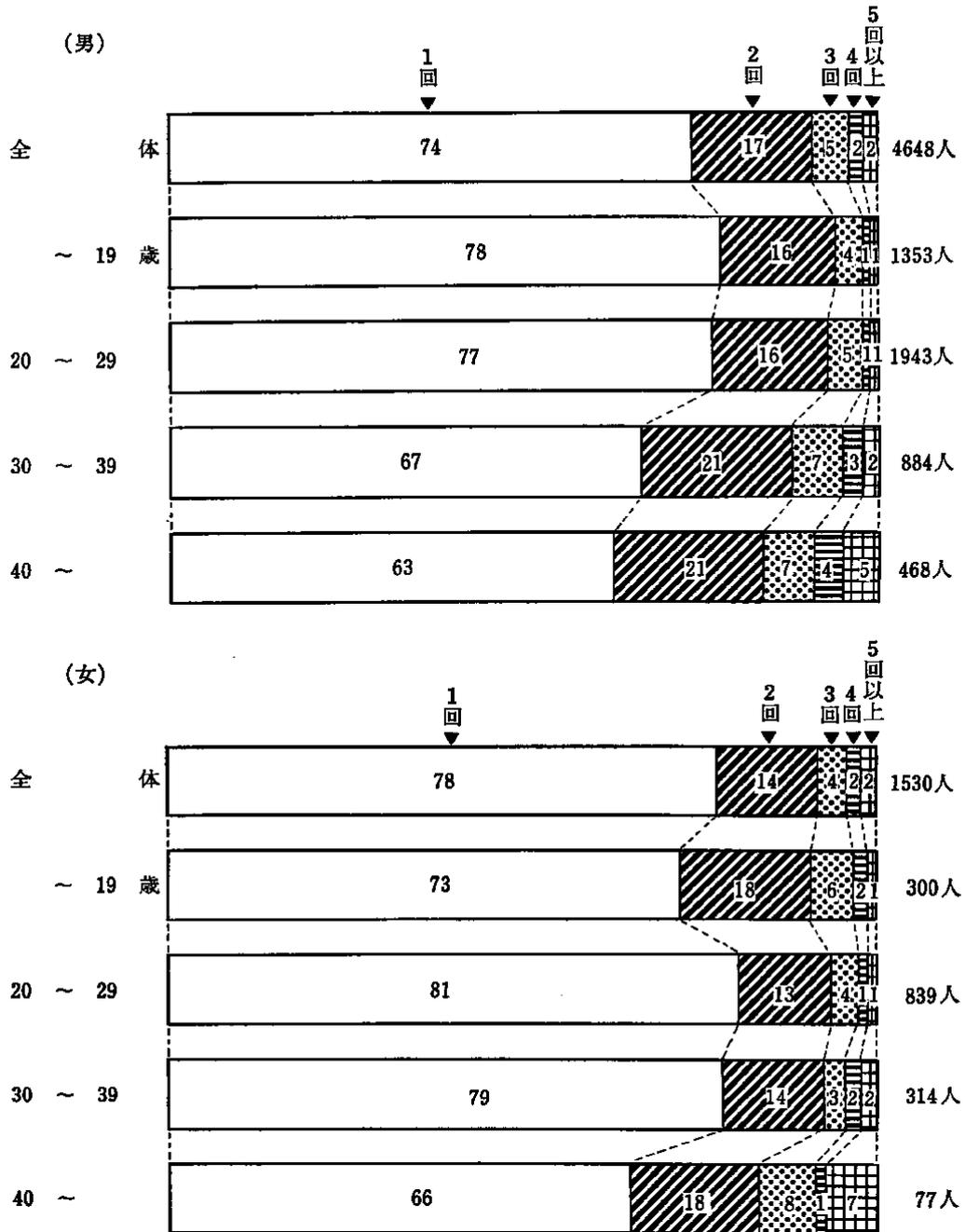


仮免学科試験の受験回数

仮免許の学科試験回数は、男性は「1回」が74%である。18～19歳は「1回」が78%であるが年齢が増すにつれて下がり、40歳代では63%となる。3回以上は9%である。

女性は「1回」が78%で、20歳代が81%、30歳代が79%と男性と異った傾向を示す。

問10 仮免許の学科試験に合格するまでの受験回数は？

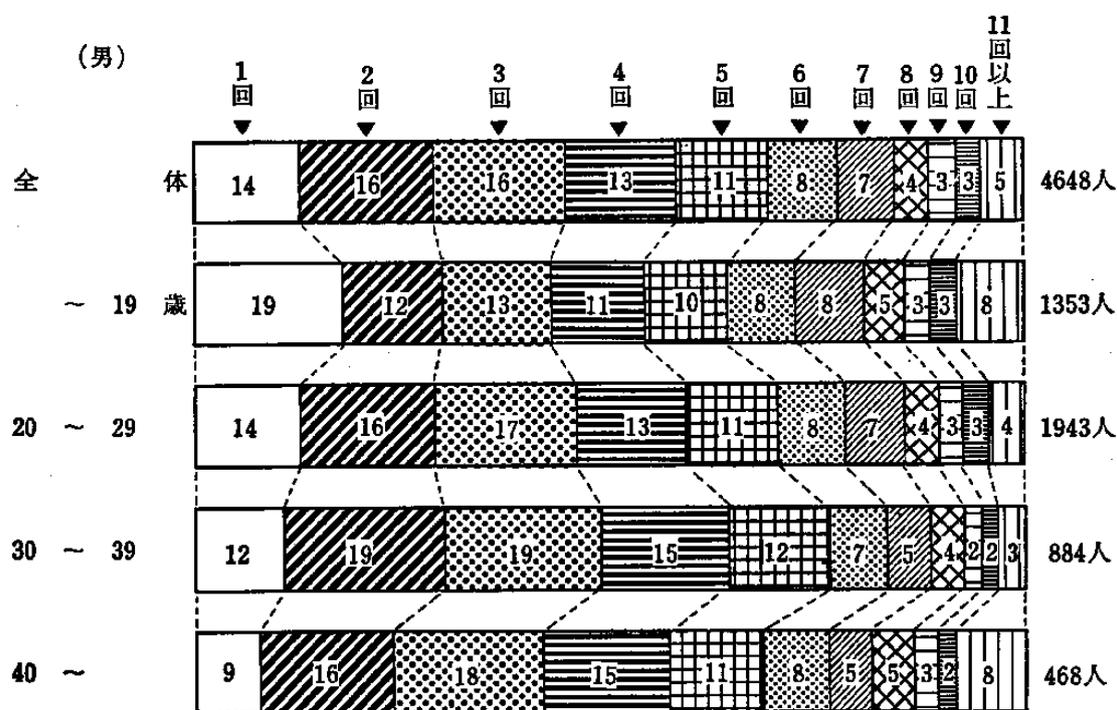


仮免技能試験の受験回数

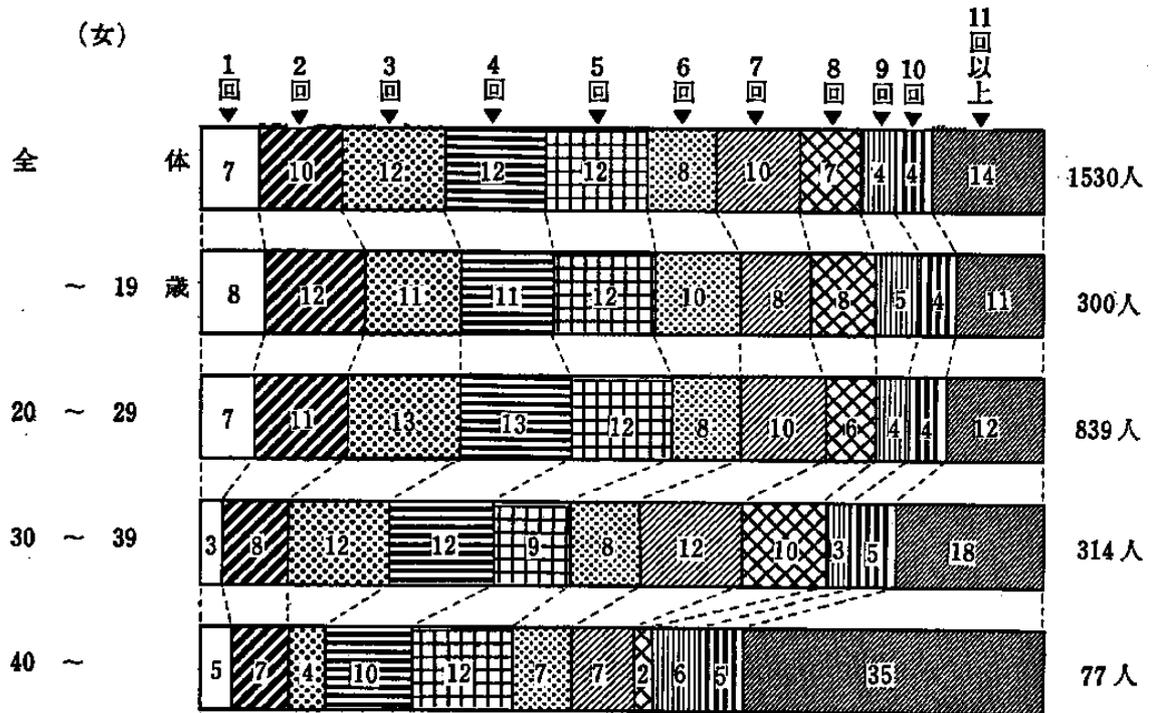
仮免許技能試験の受験回数は、男性は59%の者が4回以内である。1回で合格する者は18～19歳で19%であるが、年齢が増すにつれ順次下がり、40歳以上では9%となる。4回以内の者について考察すると、18～19歳が55%、20～29歳が60%、30～39歳が65%と逆の傾向を示す。

女性の場合は4回以内は41%で男性より少ない。年齢別では20～29歳の4回以内が44%で最も成績がよいが、年齢が増すとともに減少し、40歳以上では26%となる。

問11 仮免許の技能試験に合格するまでの受験回数は（公認の教習所で修了検定を受けた人はその回数）？



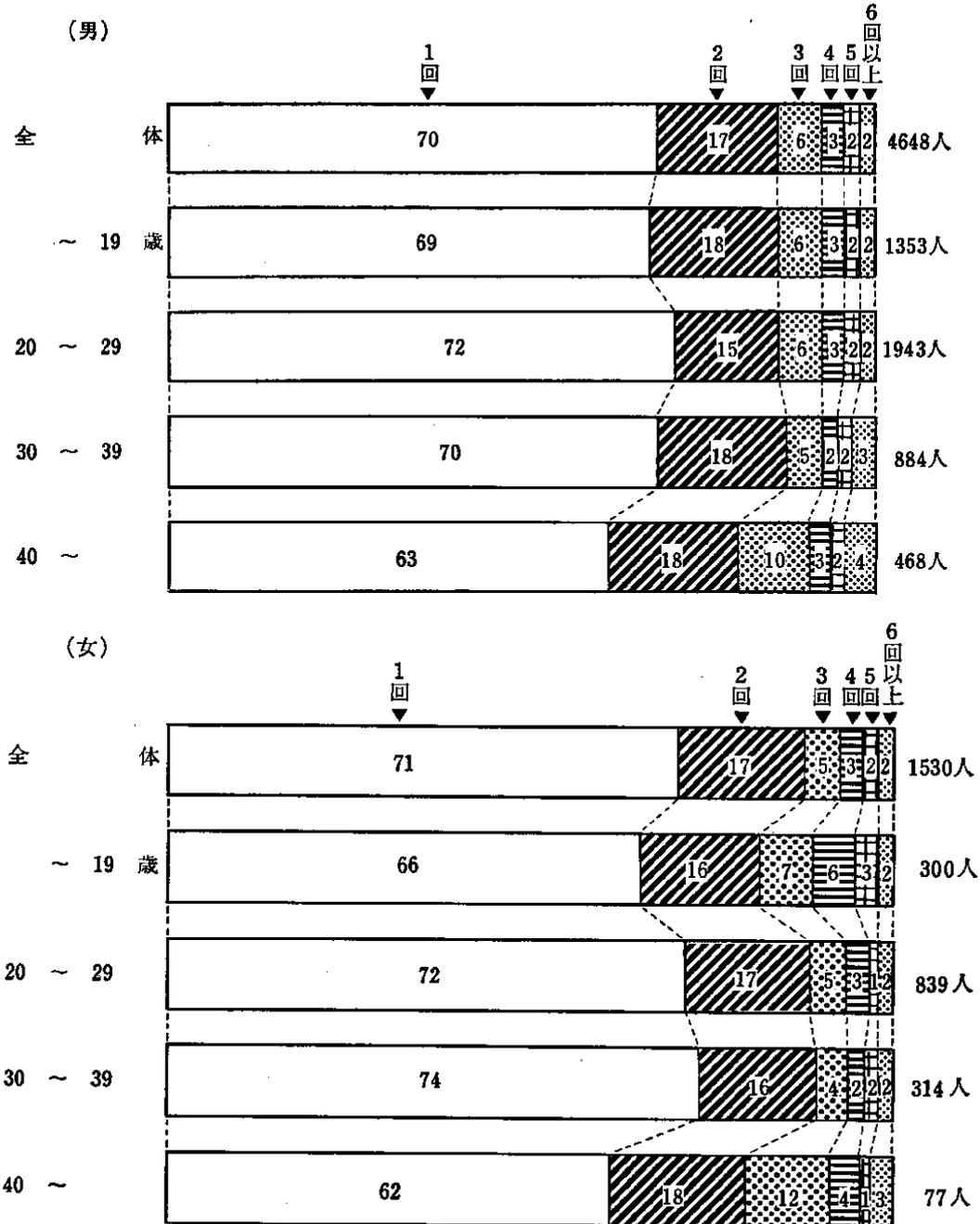
問11 仮免許の技能試験に合格するまでの受験回数は（公認の教習所で修了検定を受けた人はその回数）？



本免許学科試験の受験回数

本免許の学科試験受験回数は、男性、女性ともほぼ同一で約70%の者が「1回」で合格している。

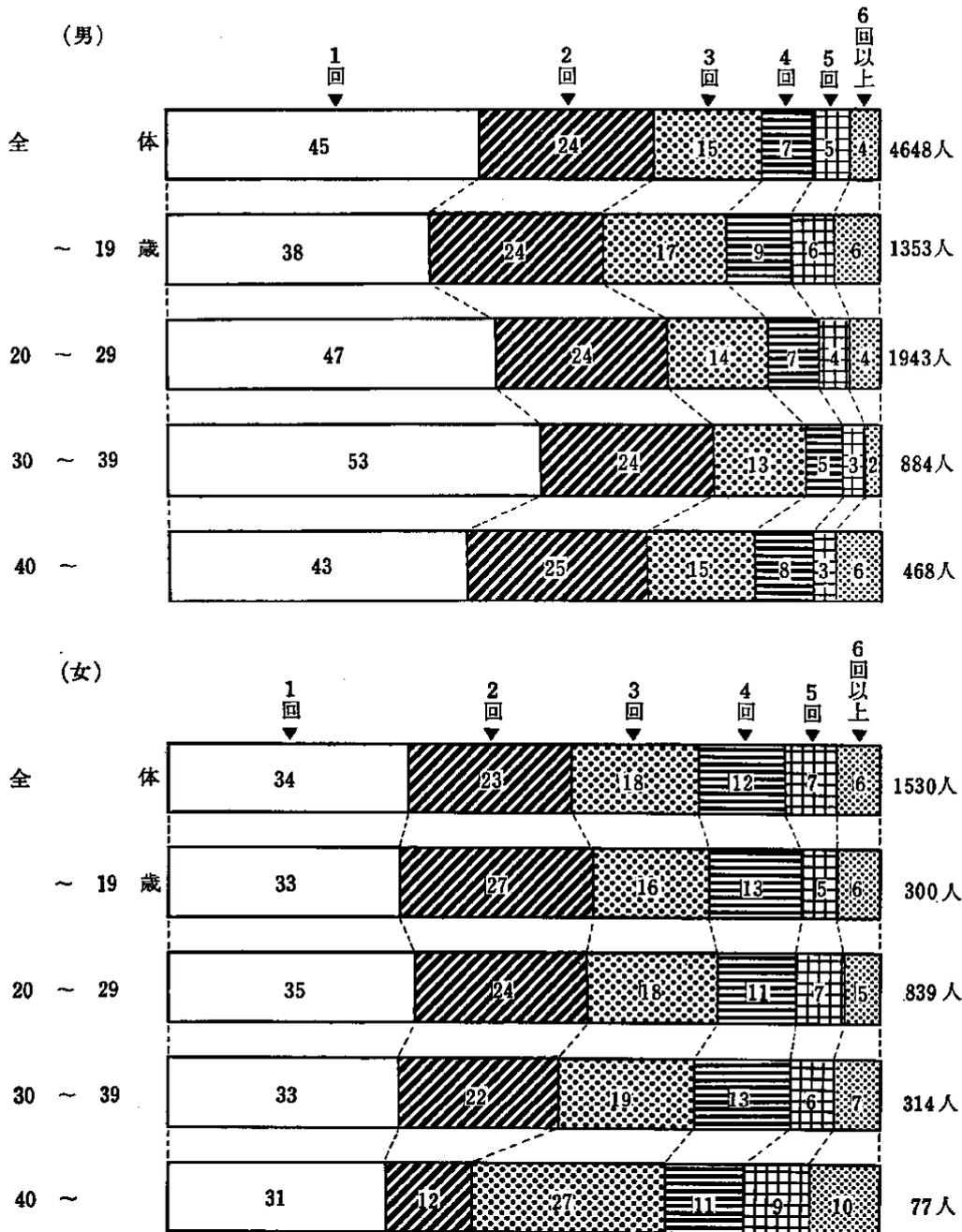
問12 本免許の学科試験に合格するまでの受験回数は？



本免許技能試験の受験回数

本免許の技能試験受験回数は、男性は「1回」が45%、「2回」以内が69%であり、30歳代が最も成績がよい。女性は「1回」が34%、「2回」以内が57%で年齢が増すにつれて順次減少している。

問13 本免許の技能試験に合格するまでの受験回数は？

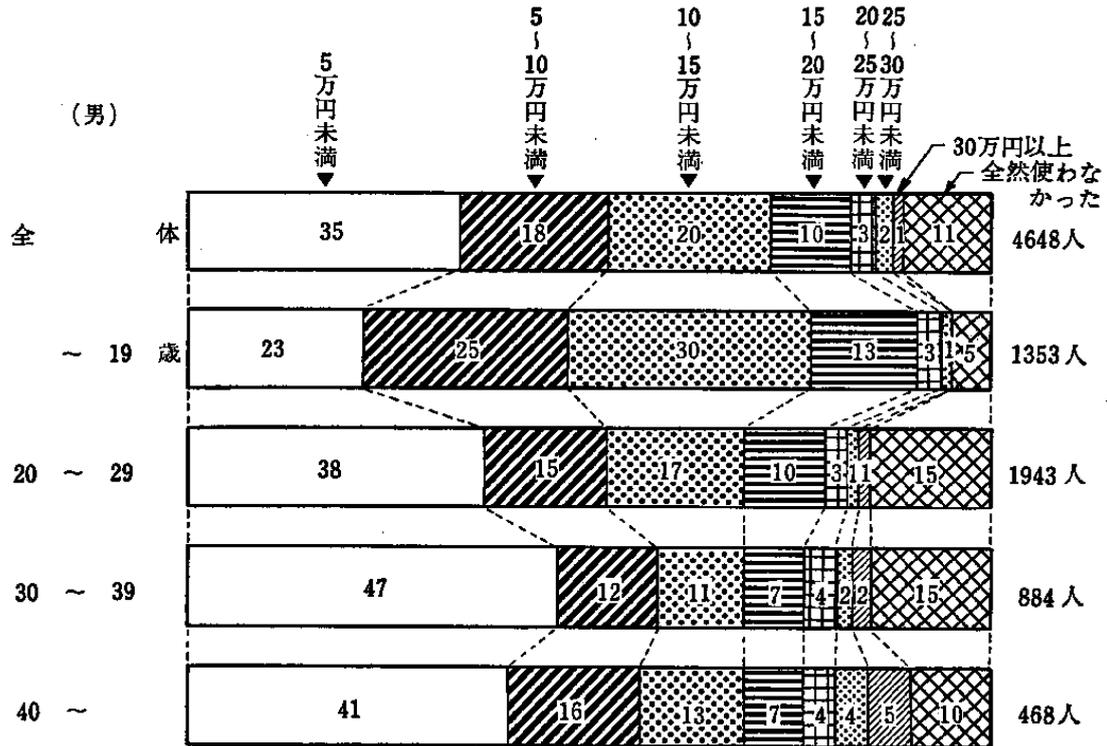


免許取得に要した費用

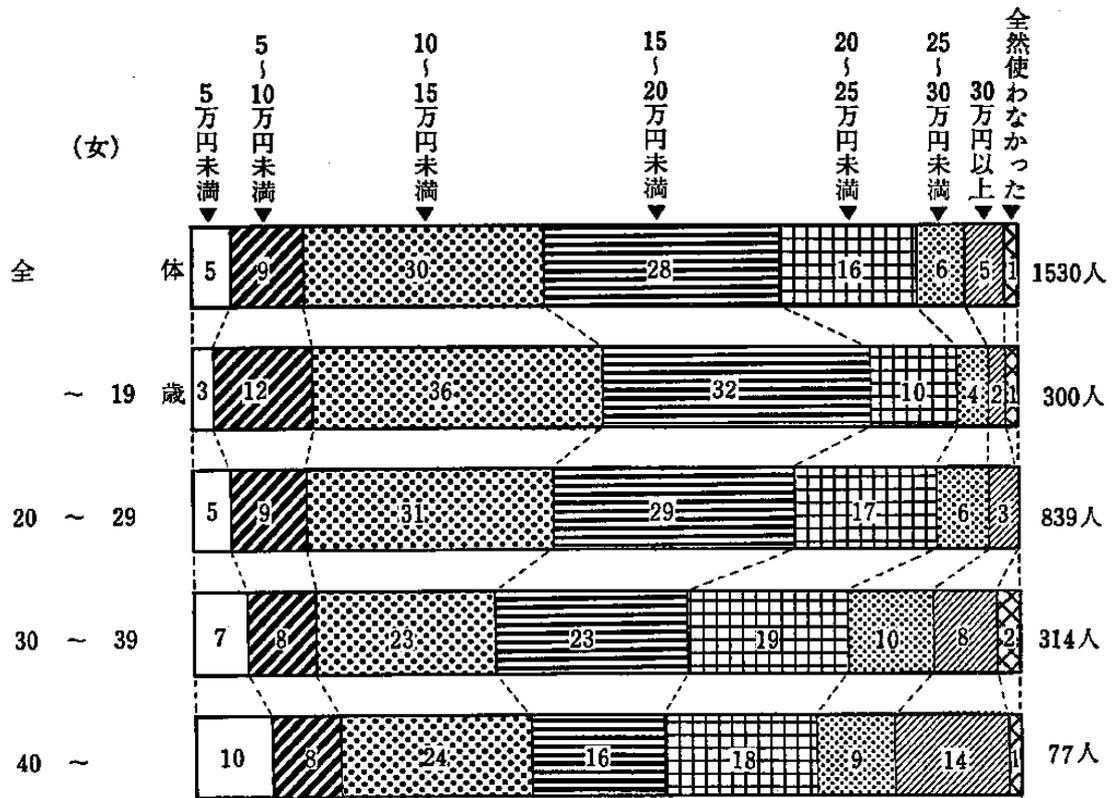
男性は5万円以内が35%である。18～19歳は23%と意外に少ないが、15万円未満で比較すると78%である。

女性は5万円以内が5%である。18～19歳は3%と少ないが、15万円未満で比較すると男性と同様に51%と多い。

問14 あなたが、今日までに使った費用はどれ位ですか（交通費、試験手数料等は除く）



問14 あなたが、今日までに使った費用はどれ位ですか（交通費、試験手数料等は除く）

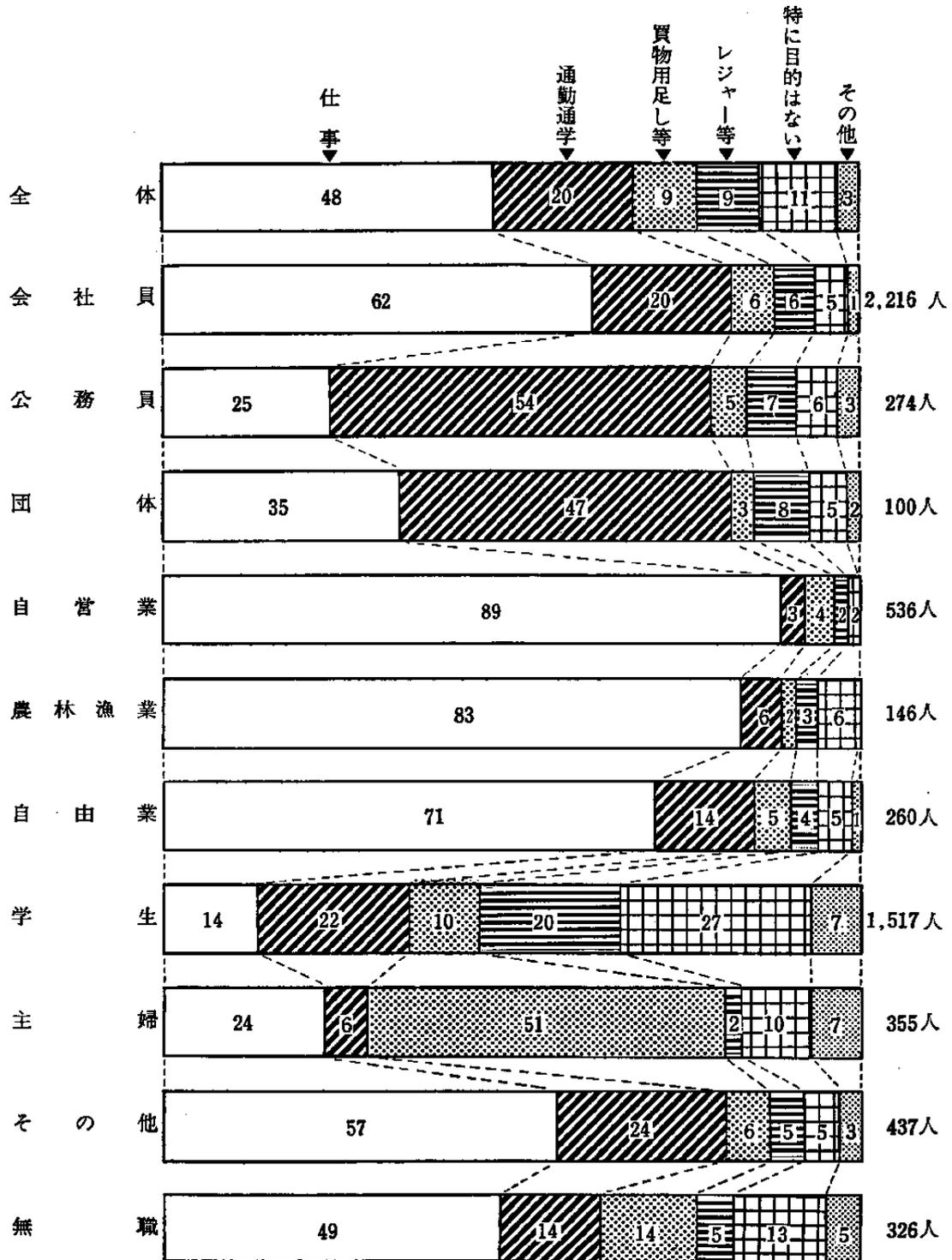


(2) 職業別の実態

免許の取得目的

普通免許を取得する主な目的のうち「仕事」と回答したのは、自営業、農林漁業、自由業に多く、それぞれ89%、83%、71%である。「通勤通学」と回答したのは公務員、団体職員に多く、それぞれ54%、47%である。「買物・用足し等」は主婦に多く51%である。また、学生のうち27%は特に目的をもっていない。

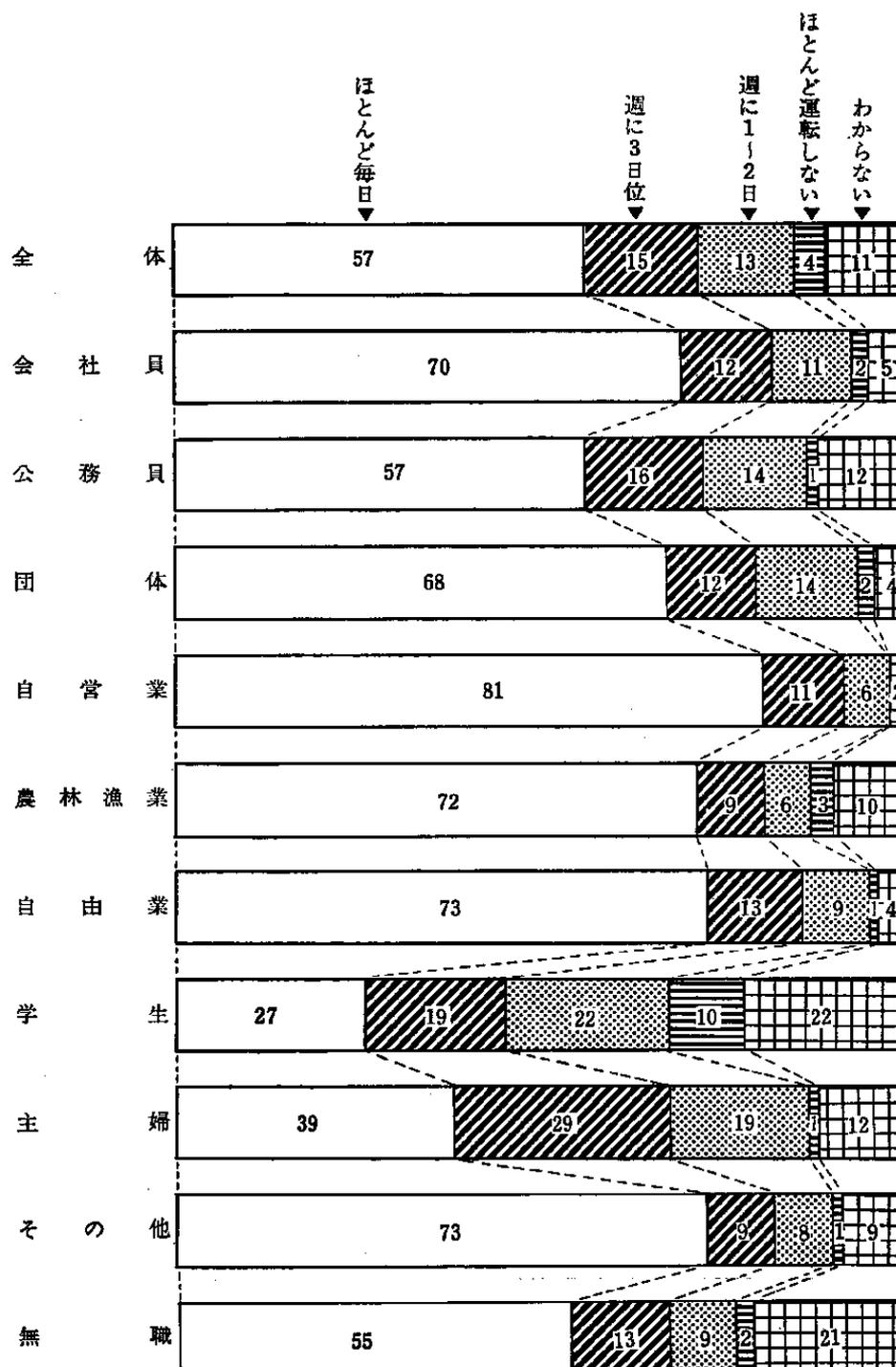
問1 あなたが、今回普通免許をとる主な目的は次のうちどれですか。（1つだけ○印をつけてください。）



運転頻度

車の運転ひん度は「ほとんど毎日」と回答したのは自営業、自由業、農林漁業等に多くそれぞれ81%、73%、72%である。

問2 あなたは、今後普通自動車をどれ位運転される予定ですか。

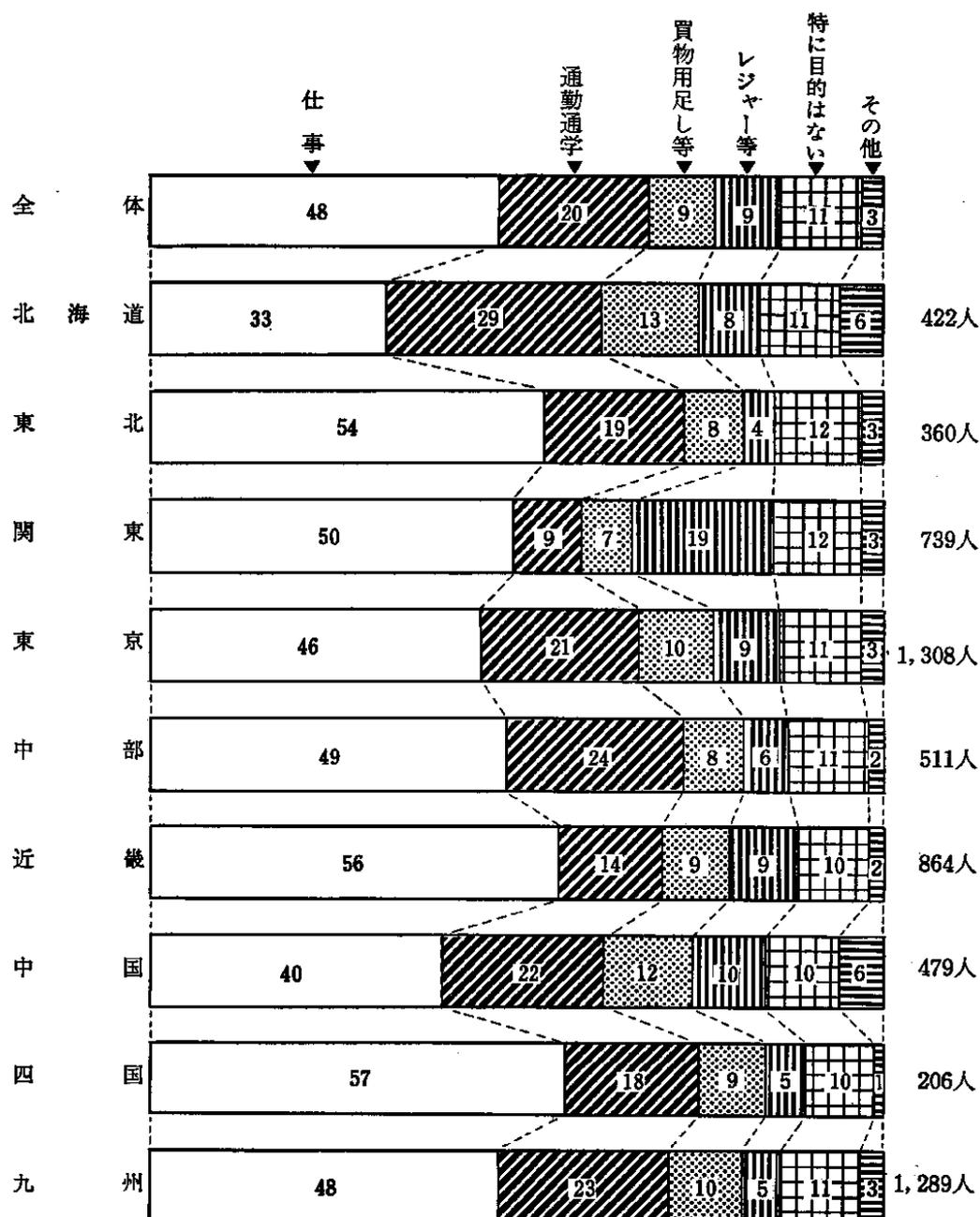


(3) 地方別の実態

免許取得目的

普通免許取得の主な目的は「仕事」と回答した率が高いのは四国、近畿、東北で、それぞれ57%、56%、54%である。「通勤通学」は北海道が多く29%である。「レジャー等」は関東が多く19%である。

問1 あなたが、今回普通免許をとる主な目的は次のうちどれですか。(1つだけ○印をつけてください。)

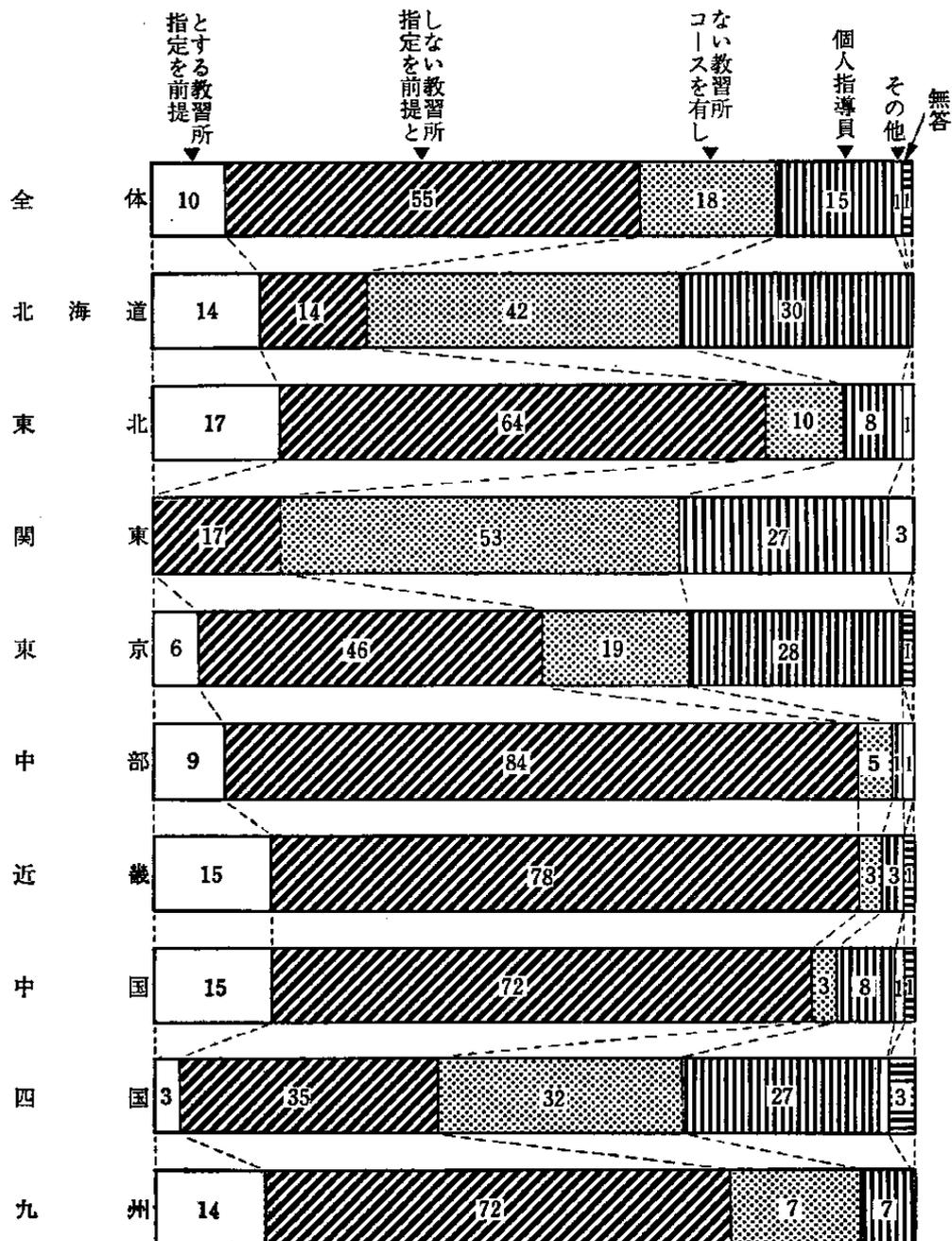


教習所の種別

非指定教習所または個人指導員の種類で「コースを有しない教習所」の多いのは、関東、北海道、四国に多くそれぞれ53%、42%、32%である。個人指導員は北海道、東京、関東、四国に多くそれぞれ30%、28%、27%、27%である。

今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために、公安委員会から公認されていない教習所又は個人指導員から運転の指導を受けたことが「ある」と答えた人だけが記入してください。

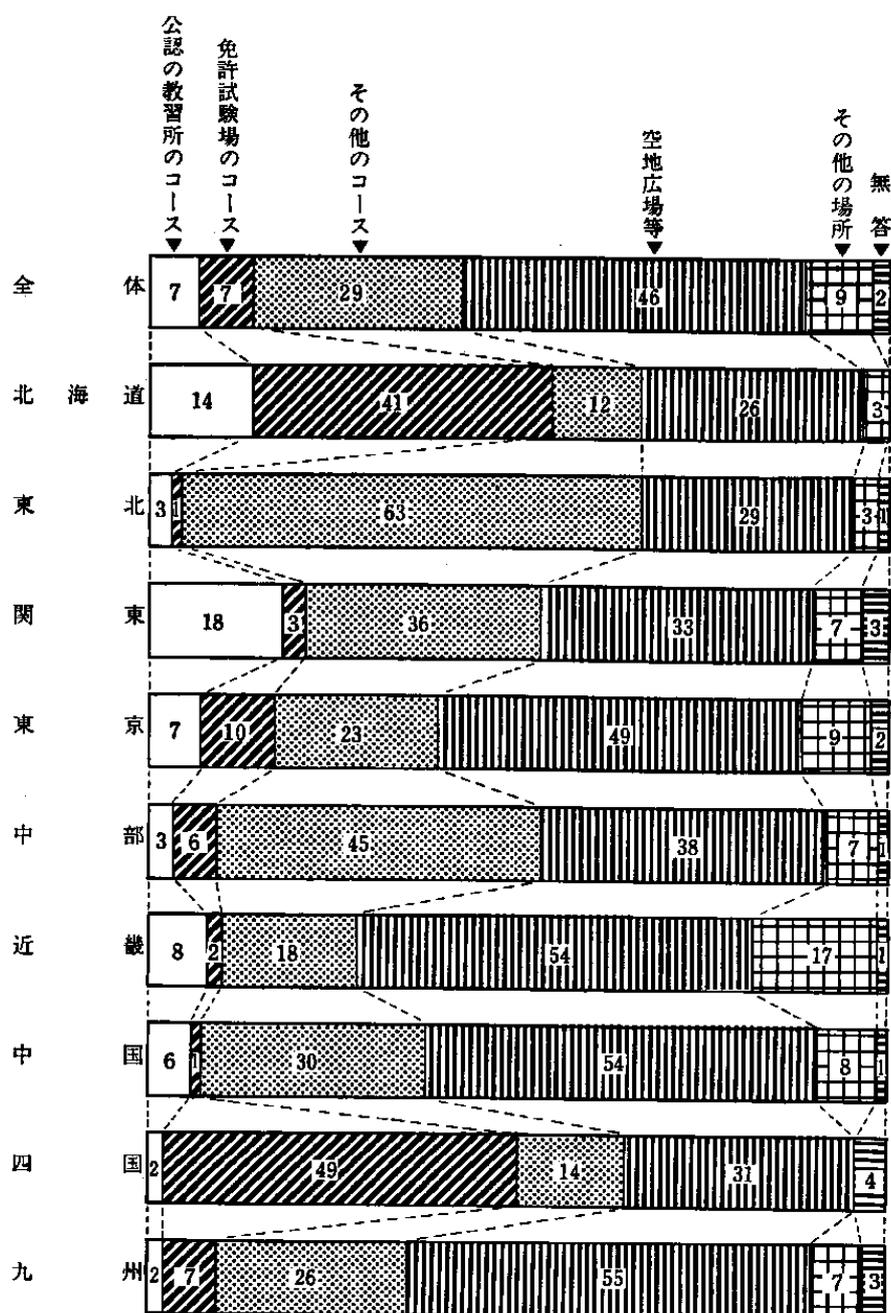
問6-1 その教習所又は個人指導員の種類は？



運転練習場所

親兄弟・友人等に技能指導を受けた時の練習場所は「空地広場」が多く、全体で46%であるが特に九州、中国、近畿に多く、それぞれ55%、54%、54%である。東北地方では「その他のコース」が多く63%、「免許試験場のコース」を使用したのは四国、北海道に多くそれぞれ49%、41%である。

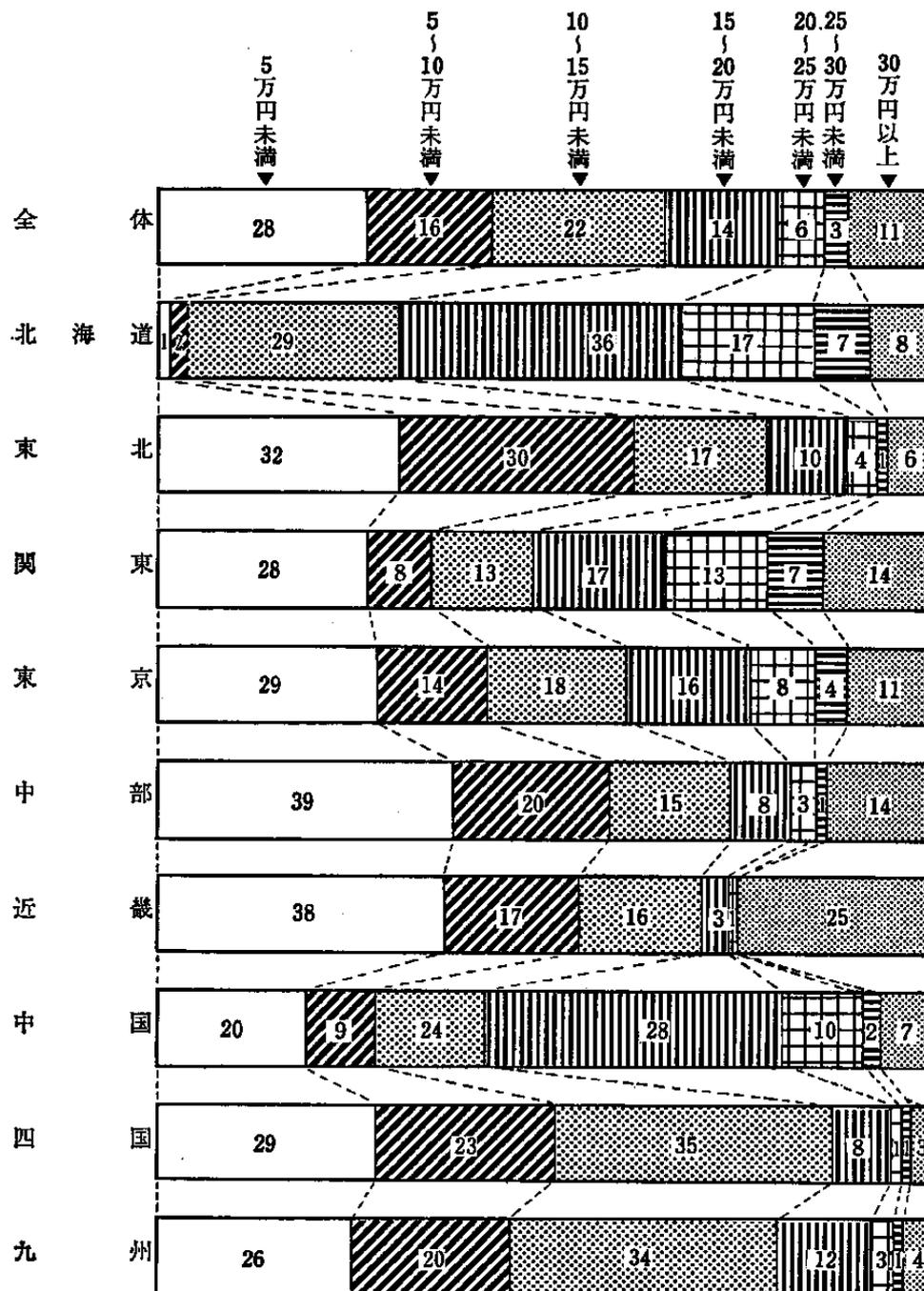
問7-2-1 親兄弟友人等に技能指導を受けた時の主な練習場所は？（1つだけ○印をつけてください。）



免許取得に要した費用

費用は、「10万円未満」の者は東北、中部に多く、それぞれ62%、59%である。「15万円未満」で比較すると、四国、九州、東北が多く、それぞれ87%、80%、79%である。

問14 あなたが、今日までに使った費用はどれ位ですか（交通費、試験手数料等は除く）



4-3 技能練習方法別の実態

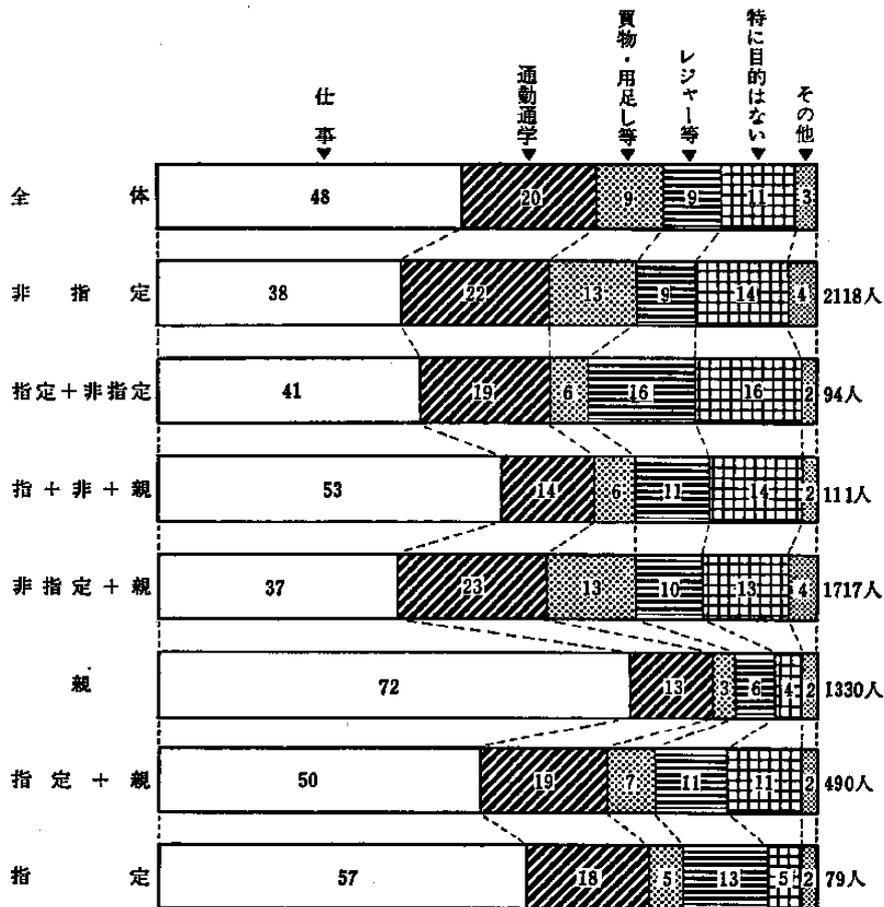
本節では調査票の問5（指定教習所）、問6（非指定教習所及び個人指導員）、及び問7（親・兄弟・友人）の技能指導を受けた回答から、次の7種類に分類し集計を行なった。

- ① 非指定教習所のみ
- ② 指定教習所+非指定教習所
- ③ 指定教習所+非指定教習所+親兄弟・友人
- ④ 非指定教習所+親兄弟・友人
- ⑤ 親兄弟・友人のみ
- ⑥ 指定教習所+親兄弟・友人
- ⑦ 指定教習所のみ

免許取得目的

技能練習方法について回答した者は5,939人である。普通免許を取得する主な目的は「仕事」が最も多く、全体で48%であるが、親兄弟・友人等に指導を受けた者は特に多く、72%が「仕事」と答えている。

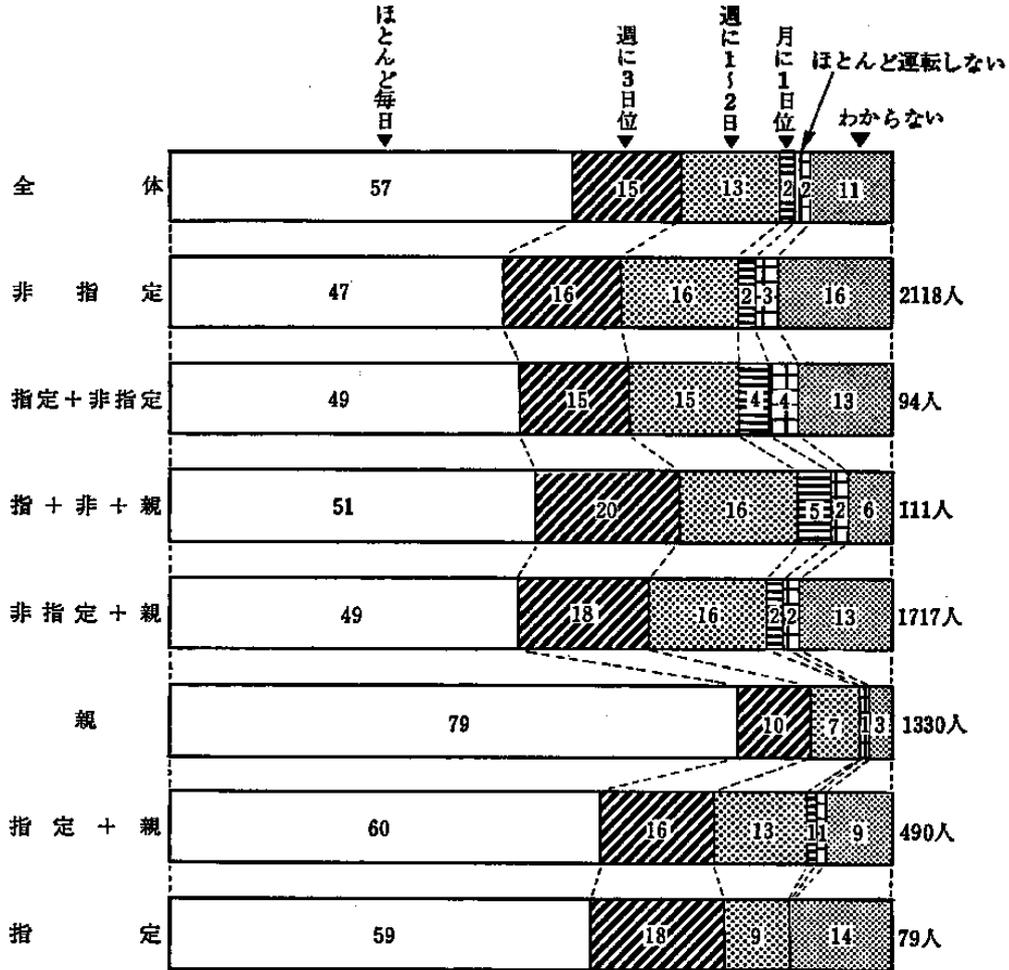
問1 あなたが、今回普通免許をとる主な目的は次のうちどれですか。（1つだけ○印をつけてください。）



運転頻度

運転頻度は「ほとんど毎日」が全体で57%である。親兄弟・友人等に指導を受けた者は特に多く79%が「ほとんど毎日」と答えている。

問2 あなたは、今後普通自動車をどれ位運転される予定ですか。



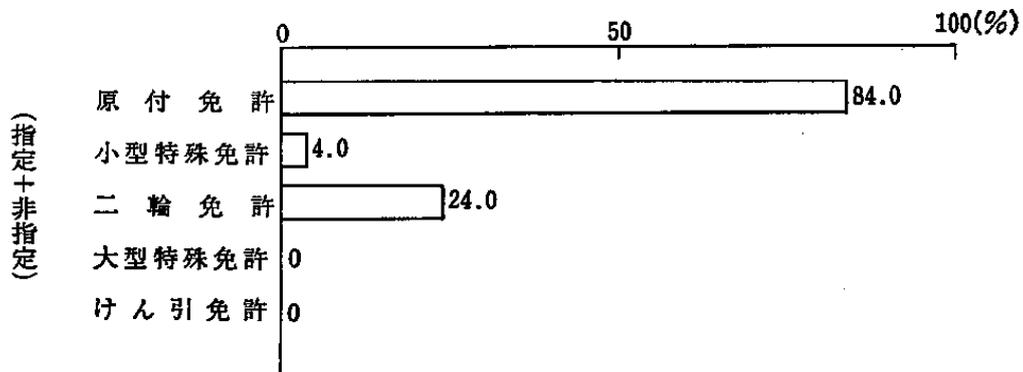
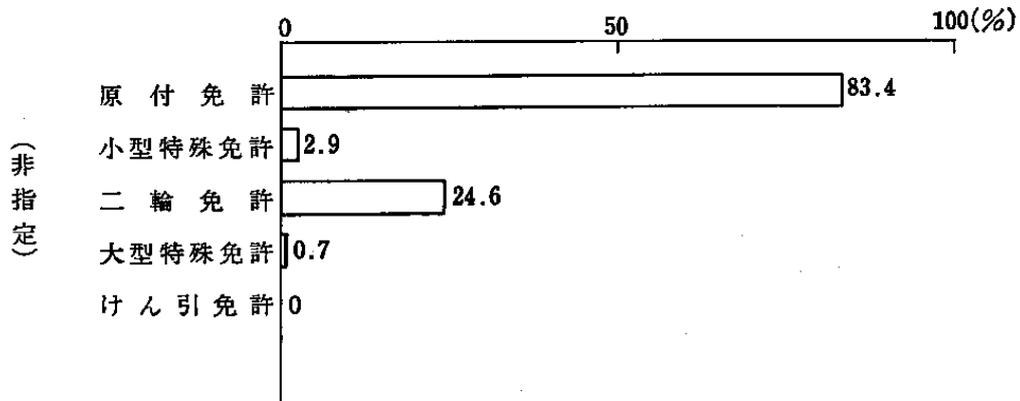
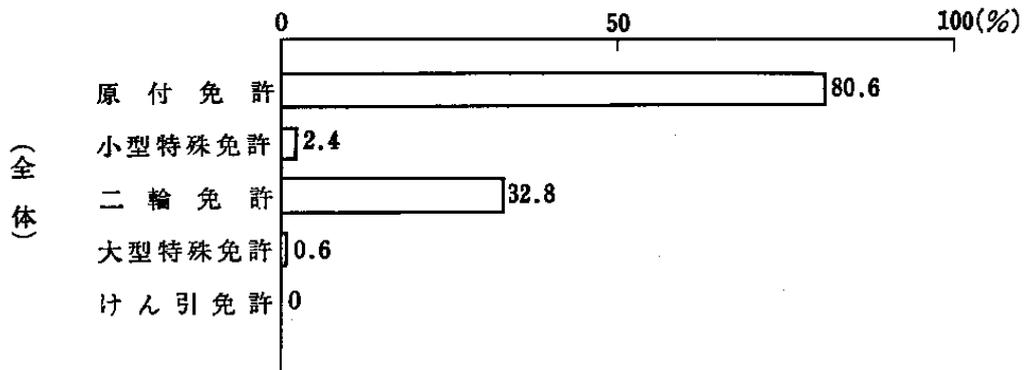
現有免許の種類

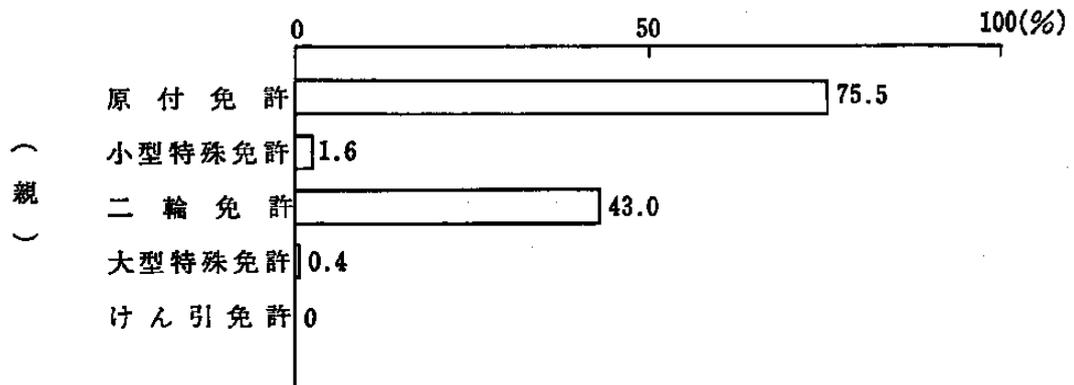
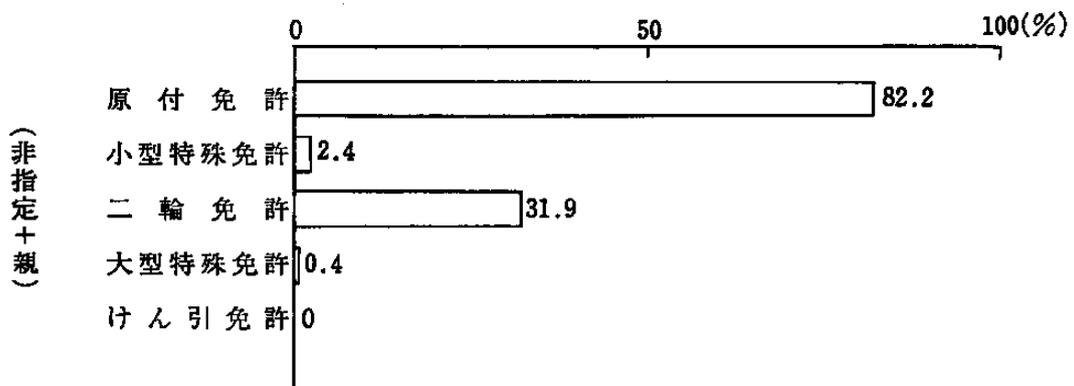
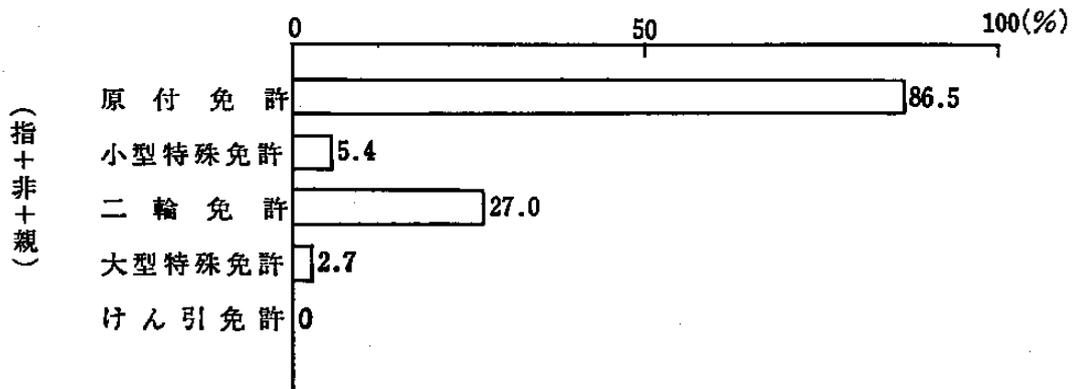
現在何等かの免許を持っていると回答したのは5,939人中1,628人で、27.4%である。

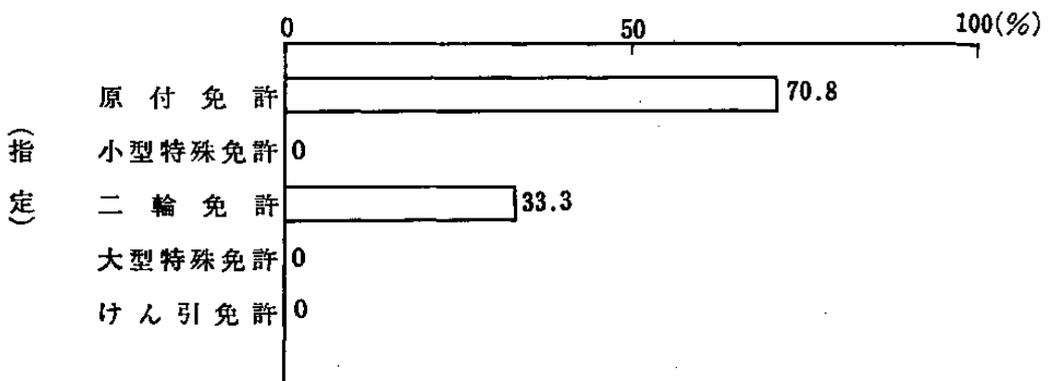
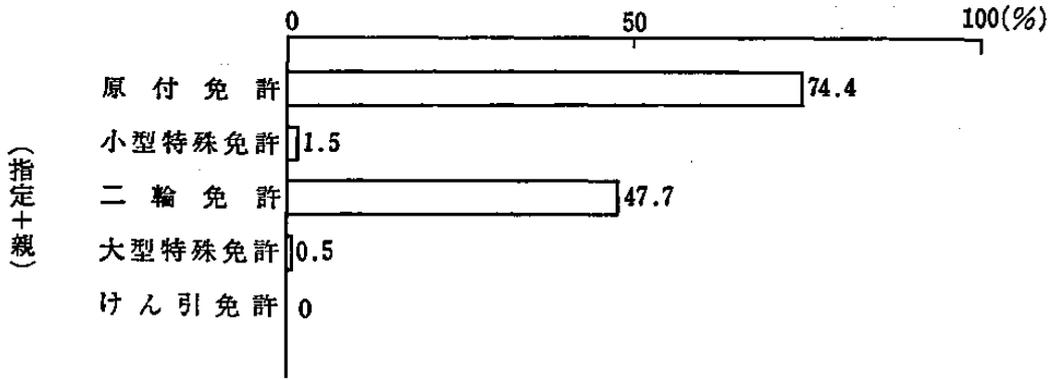
現有免許の種類は「原付免許」が多く、次いで「二輪免許」である。親兄弟・友人等に指導を受けた者は特に二輪免許の構成率が高く、親兄弟・友人等と指定教習所に指導を受けた者が47.7%、親兄弟・友人等のみに指導を受けた者は43.0%である。

現在何等かの運転免許を「持っている」と答えた人だけが記入してください。(1,628人)

問3-1 その免許の種類は？(持っている全部の免許に○印をつけてください。)







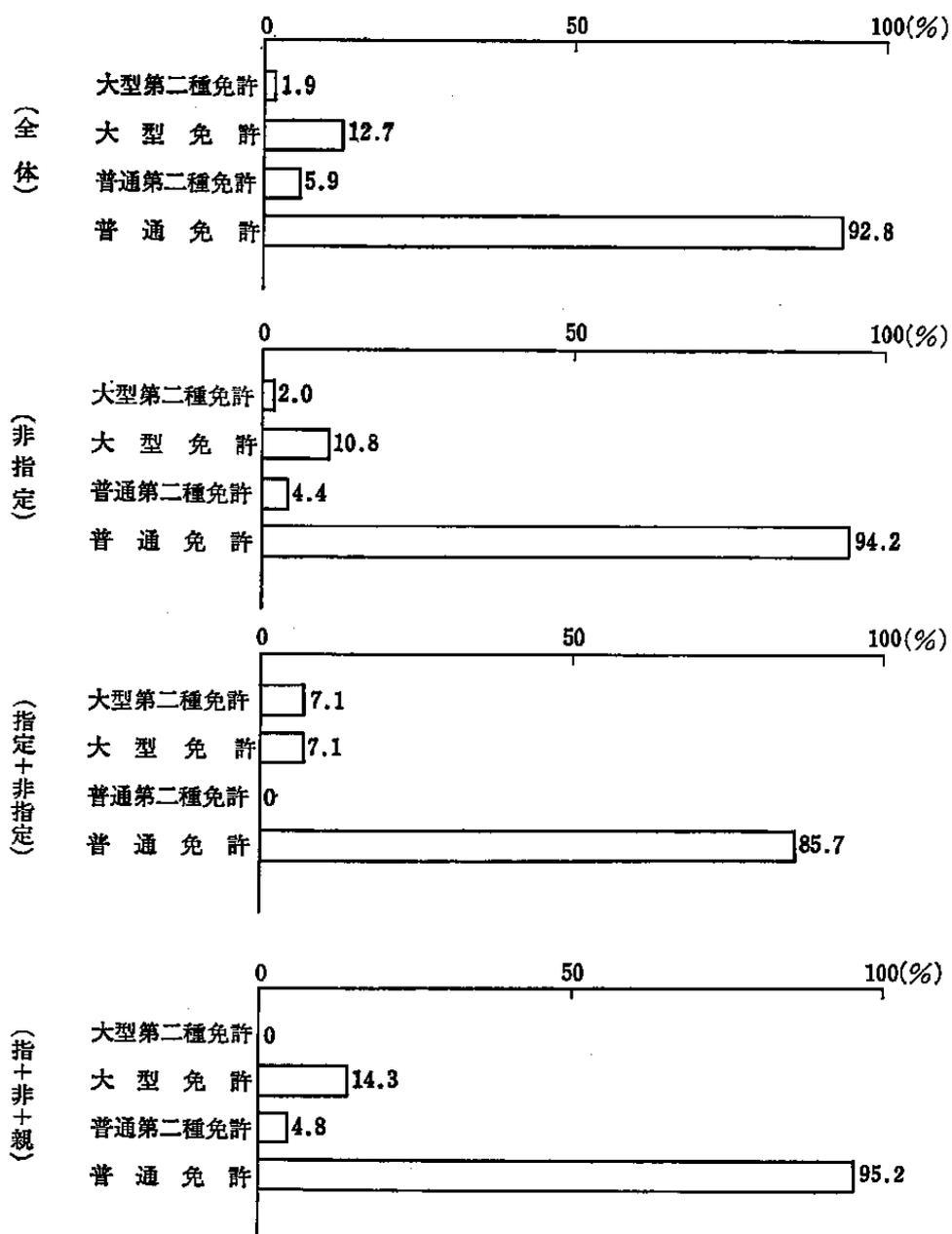
過去の取得免許の種類

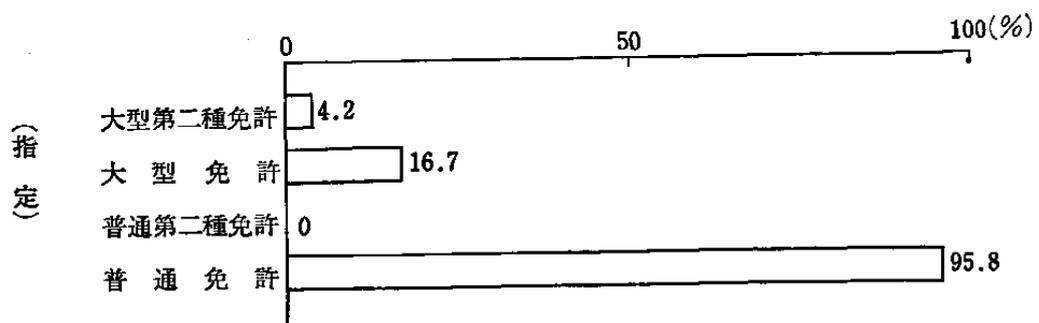
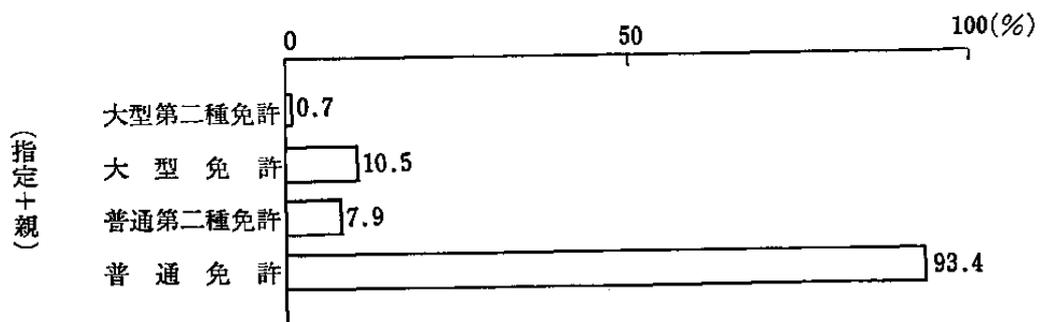
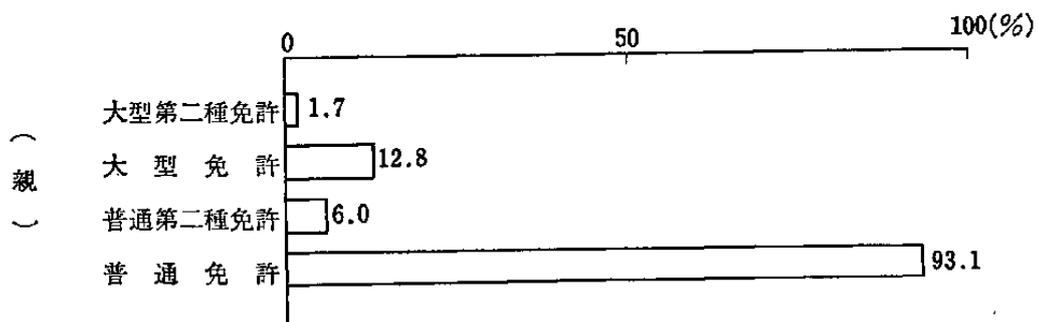
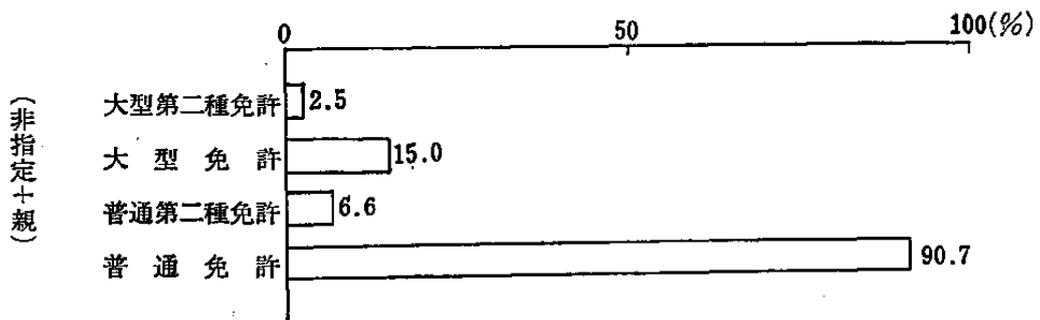
過去に普通自動車を運転することができる免許を持っていた者は5,939人中1,860人で31.3%である。

過去の免許の種類は普通免許が多く、全体で92.8%である。大型免許を持っていた者は12.7%である。練習方法別には大きな差異はない。

過去に普通自動車を運転することができる免許を持っていたことが「ある」と答えた人だけが記入してください。(1,860人)

問4-1 その免許の種類は？(持っていた全部の免許に○印をつけてください。)

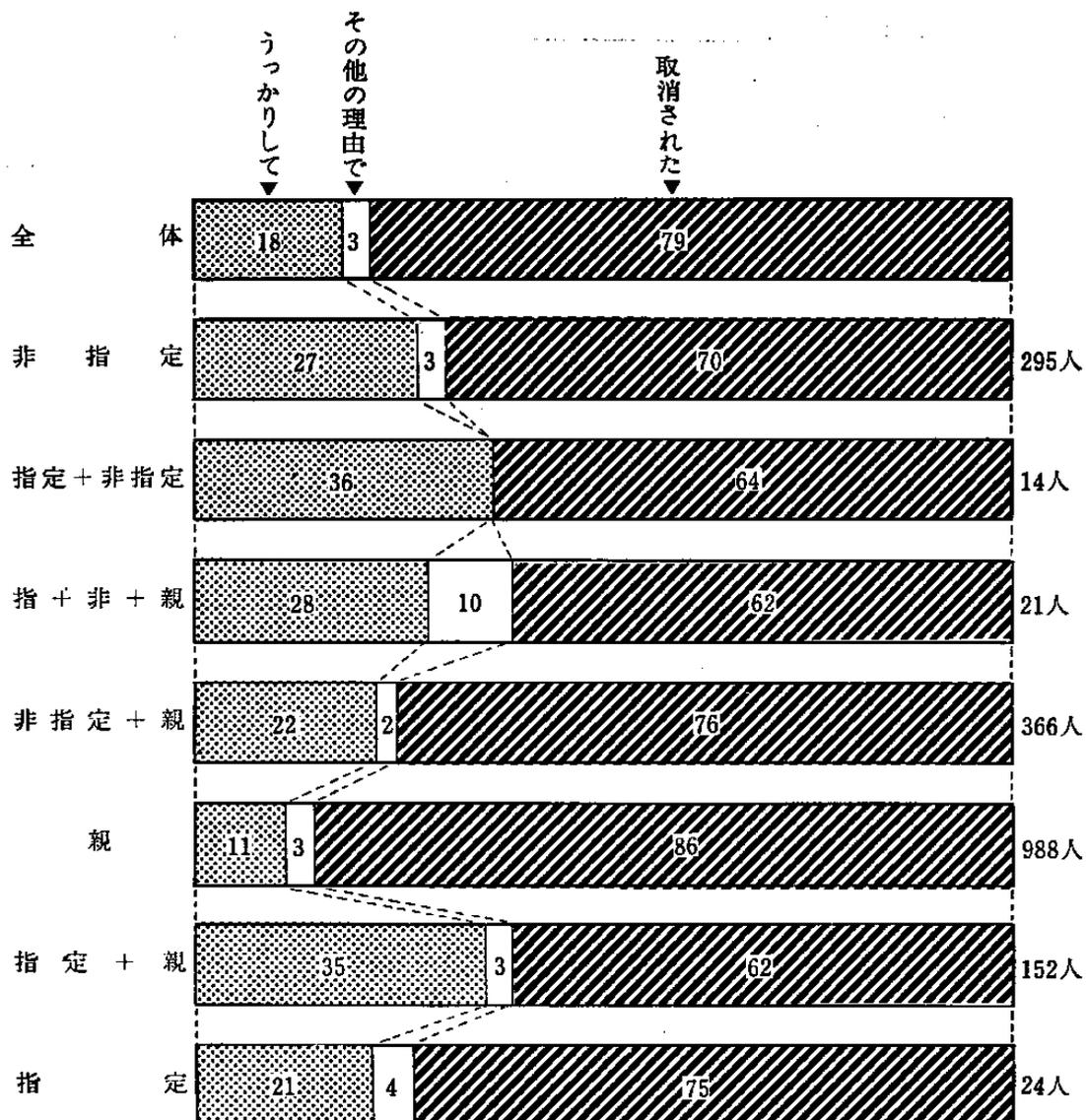




免許の失効理由

過去の免許を失った理由は、取消された者が多く、全体で79%、今回親兄弟・友人等に指導を受けた者が特に多く86%である。

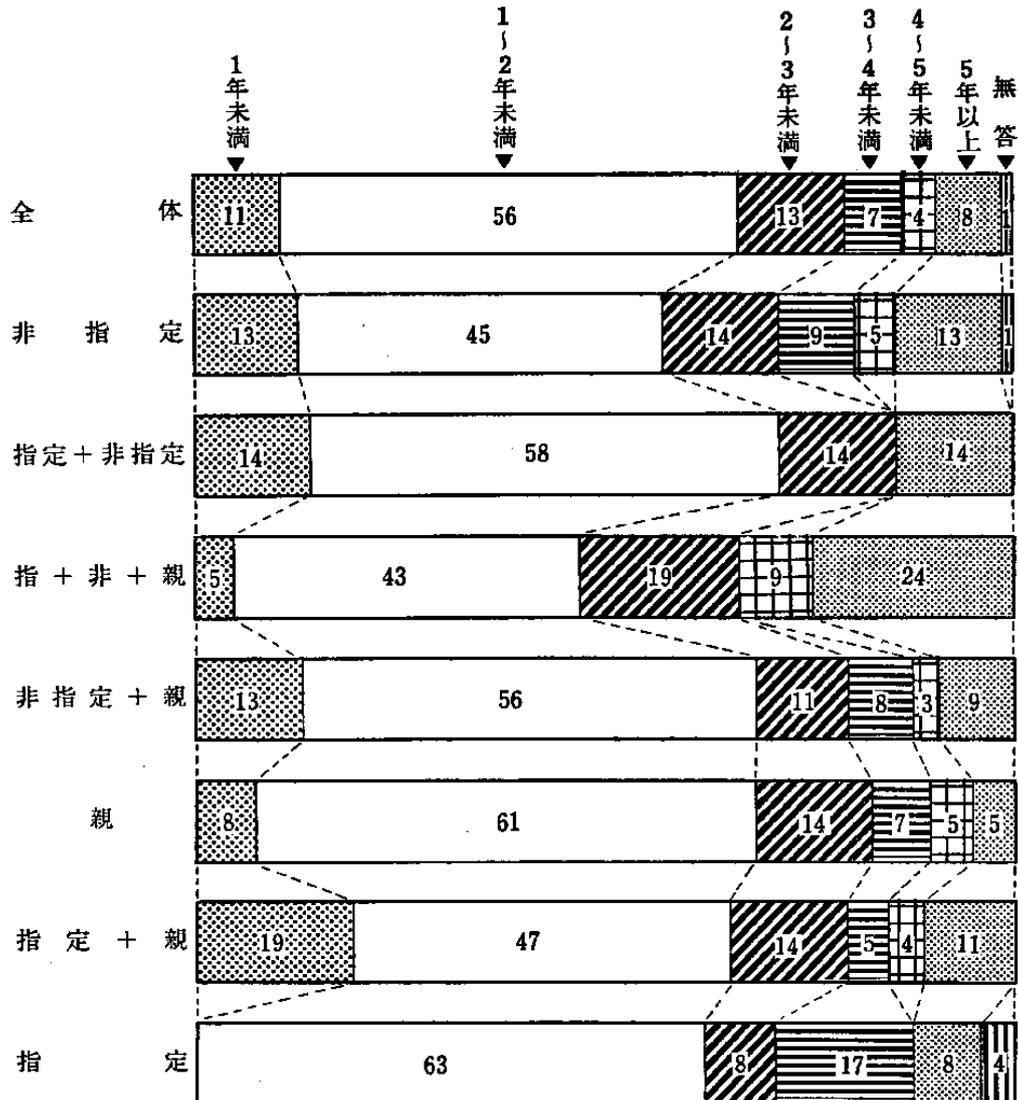
問4-2 その免許を失効させた理由は？



失効後再取得までの期間

過去の免許を失効してアンケート回答時までの期間は「1年以上2年未満」が多く全体で56%である。指定教習所みの者は63%、親兄弟・友人等に指導を受けた者は61%である。

問4-3 その免許が失効してから今日までの期間は？



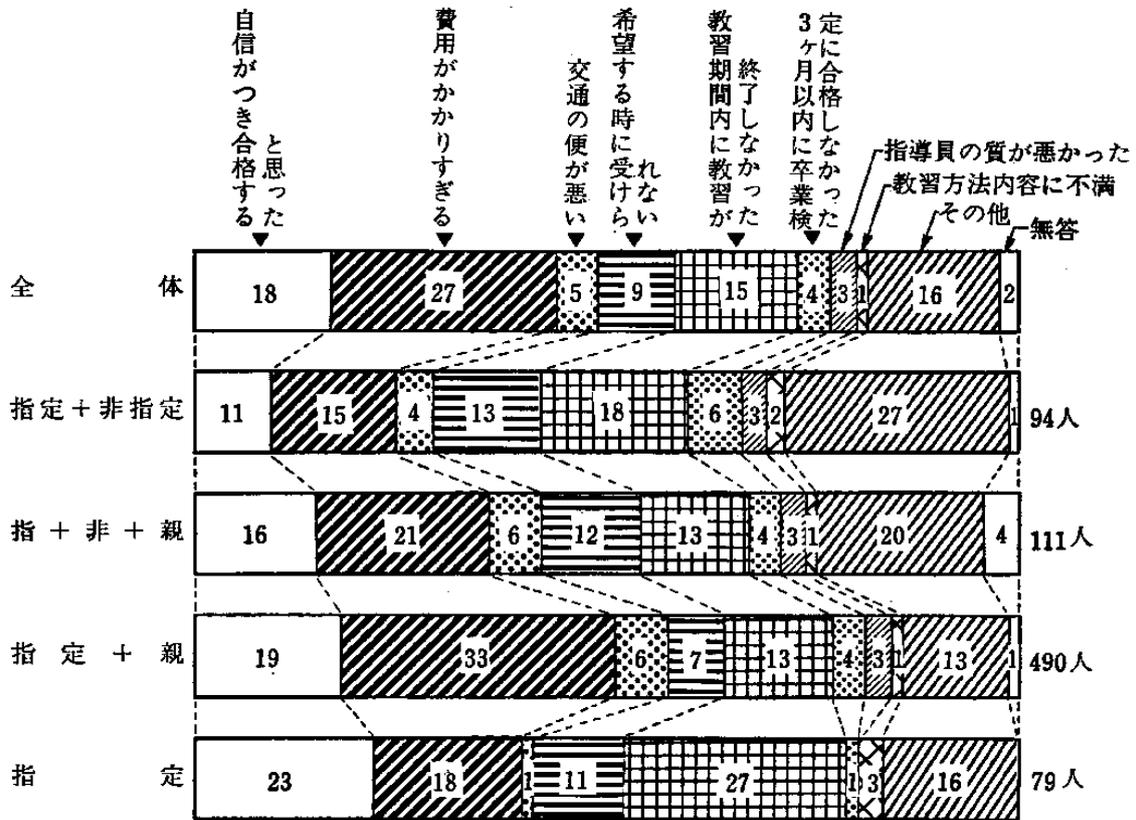
指定教習所を中途退所した理由

指定教習所で指導を受けたことがある人は5,939人中774人で13.0%である。

指定教習所を卒業しなかった理由は、「自信が付き合格すると思った」者が全体では18%、指定教習所のみで指導を受けた者は23%である。「費用がかかり過ぎる」と回答した者は、全体では27%で、指定教習所と親兄弟・友人等に指導を受けた者が33%と多い。指定教習所のみで指導を受けた者では27%が「教習期間中に教習が終了しなかった」と答えている。

今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために、公安委員会公認の教習所で運転の指導を受けたことが「ある」と答えた人だけが記入してください。

問5-1 その教習所を卒業しなかった主な理由は？（1つだけ○印をつけてください。）

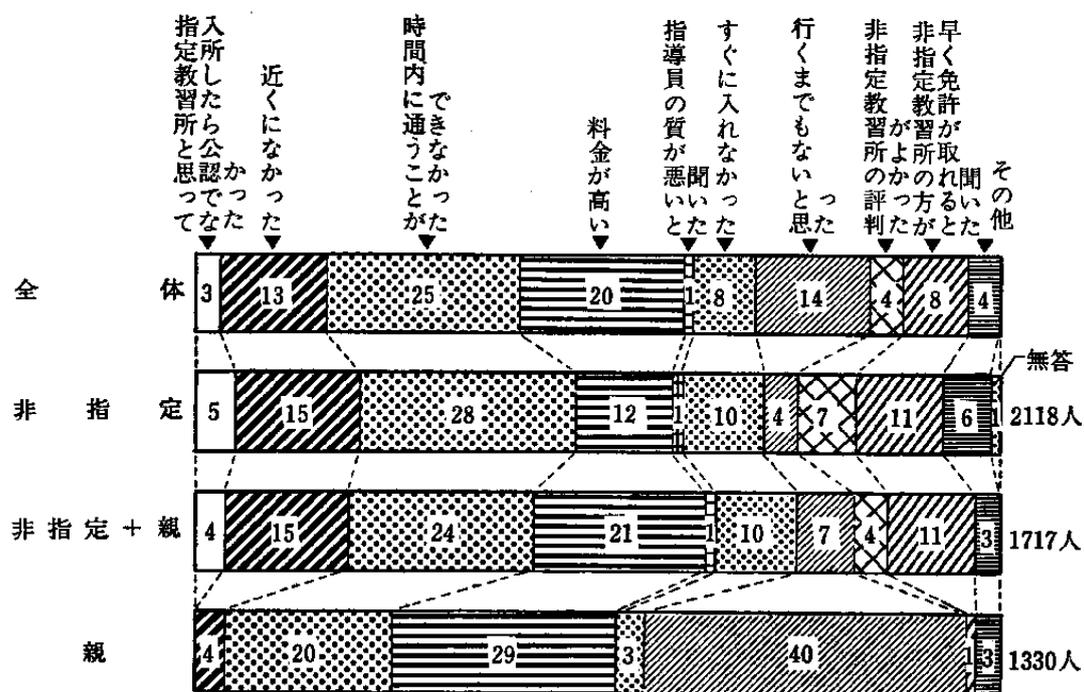


指定教習所に入所しなかった理由

指定教習所で指導を受けた事がないと回答した者は5,939人中5,165人であるが、受けなかつた主な理由は、「時間的に通うことができなかった」が全体で25%、「料金が高い」とした者が20%である。親兄弟・友人等に指導を受けた者は40%が「行くまでもないと思った」と答えている。

今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために、公安委員会公認の教習所で運転の指導を受けたことが「ない」と答えた人だけが記入してください。

問5-3 公認の教習所で指導を受けなかつた主な理由は？（1つだけ○印をつけてください。）



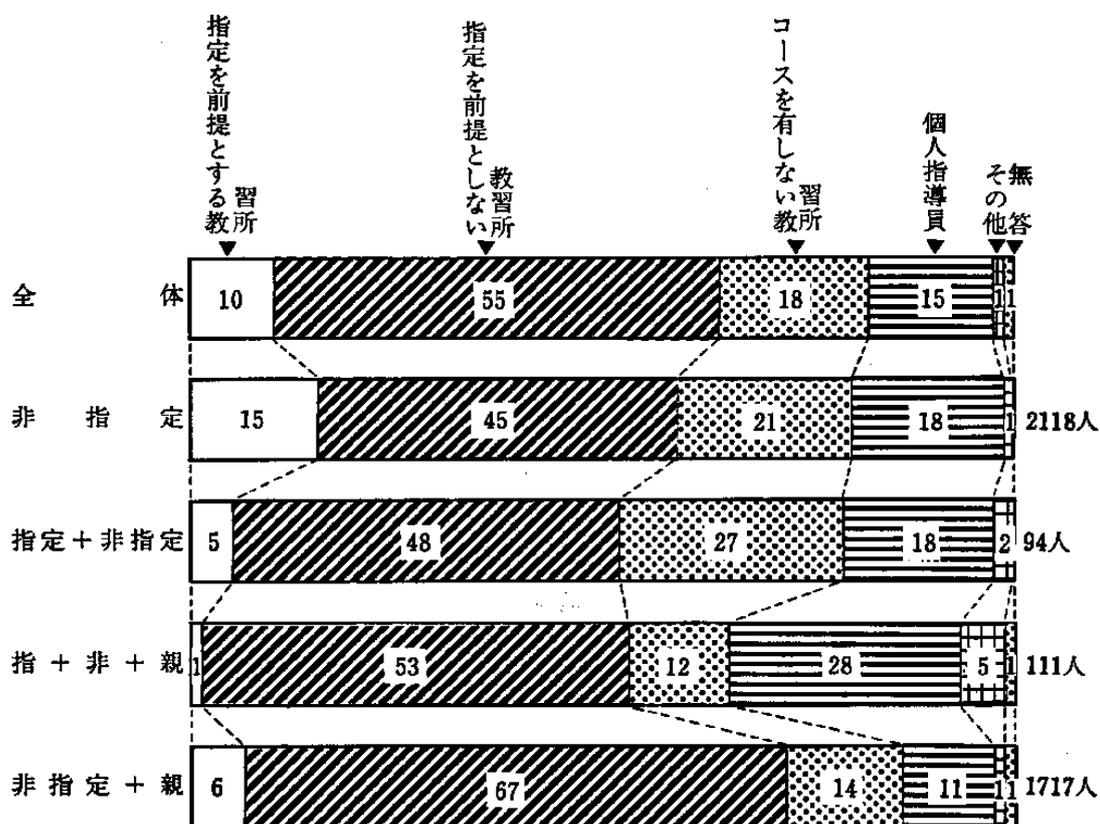
指導を受けた非指定教習所の種類

非指定教習所又は個人指導員から指導を受けた者は、5,939人中4,030人で68%である。

指導を受けた非指定教習所の種類を、現在非指定であるが「将来指定を受けることを前提としている教習所」、「非指定教習所」、「コースを有しない教習所」、まったく1人でやっている「個人指導員」の4種類に区分して集計したところ、「非指定教習所」が最も多く55%である。非指定教習所と親兄弟・友人等に指導を受けた者は特に「非指定教習所」に行った者が多く67%である。

今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために、公安委員会から公認されていない教習所又は個人指導員から運転の指導を受けたことが「ある」と答えた人だけ記入してください。

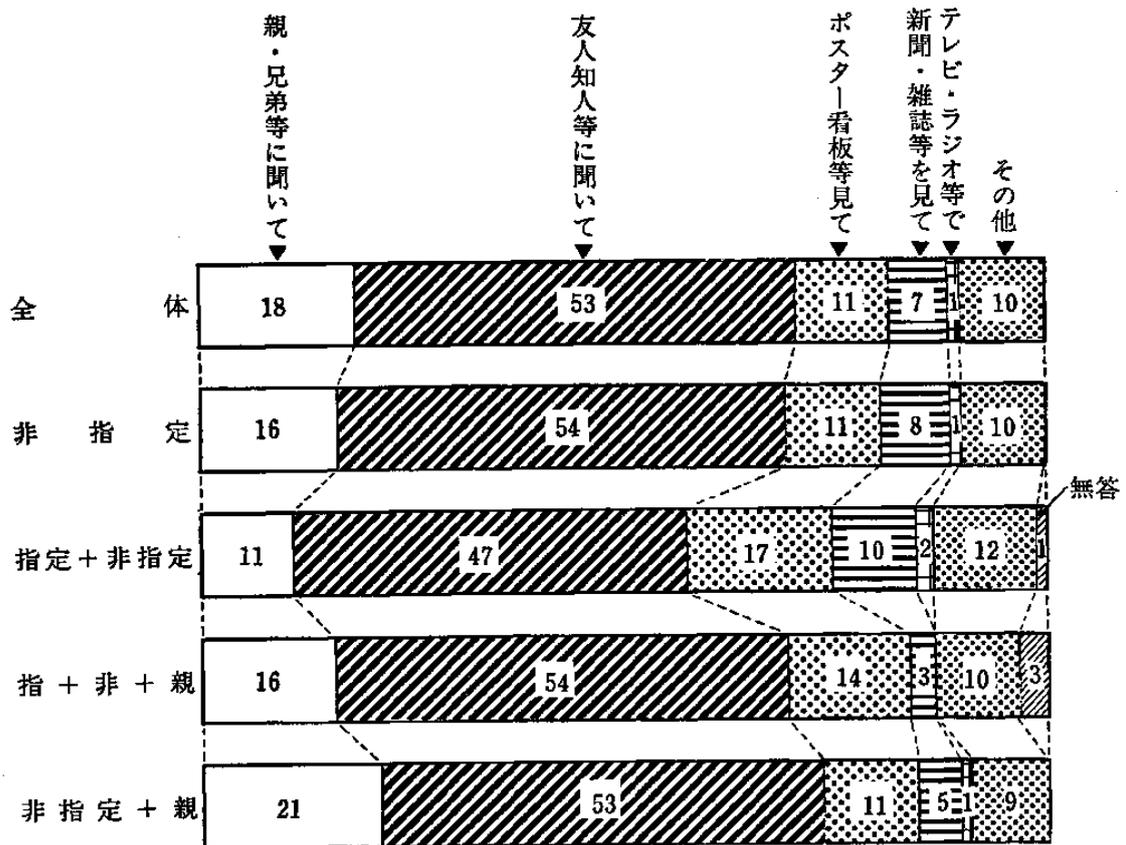
問6-1 その教習所又は個人指導員は？



指導を受けた教習所の認知媒体

非指定教習所を知った方法は「友人・知人等に聞いて」が最も多く、全体で53%である。

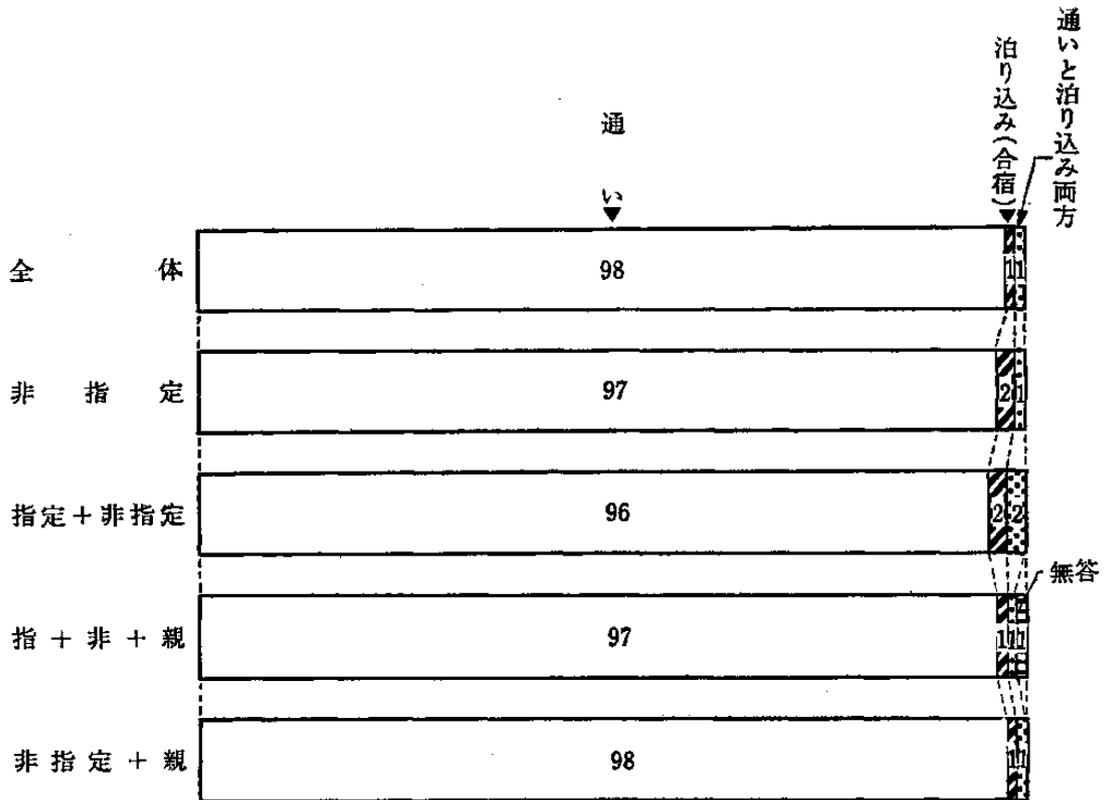
問6-2 あなたが指導を受けた教習所（個人指導員）を知ったのは？（1つだけ○印をつけてください）



合宿教習

合宿した者は少なく、通いがほとんどで全体で98%である。

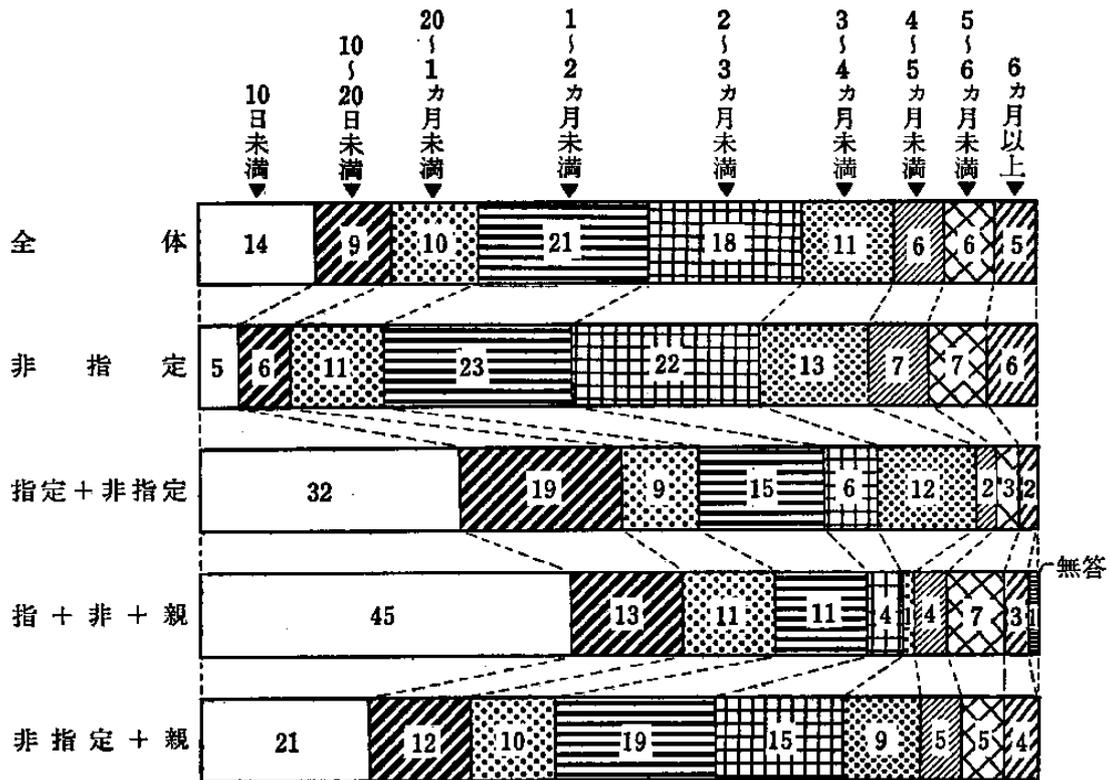
問6-3 指導を受けたのは通いでしたか、それとも泊り込み（合宿）でしたか？



指導を受けた期間

指導を受けた期間は、全体で「2ヶ月未満」が54%である。「6ヶ月以上」かかった者も5%いる。指定教習所と非指定教習所と親兄弟・友人等の三者に指導を受けた者は10日未満が45%と多い。

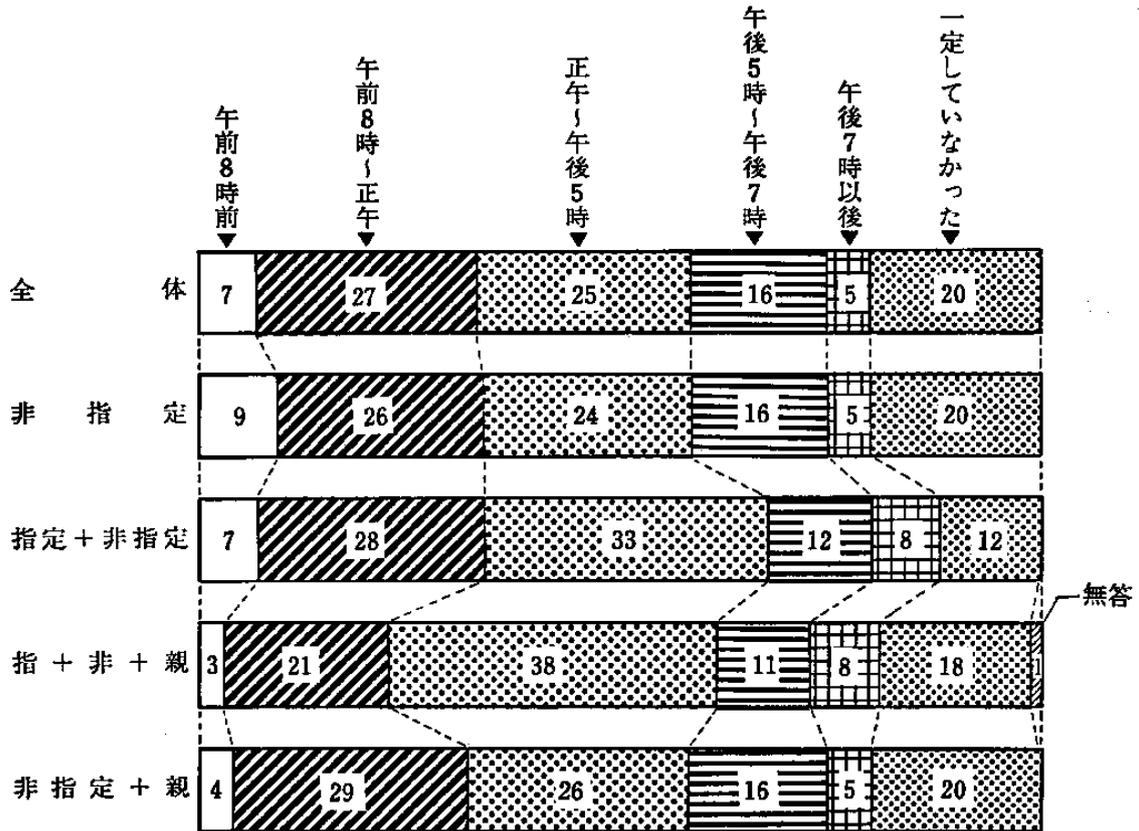
問6-4 指導を受けた期間は？（指導を受けはじめた日から受けなくなった日までの期間）



指導を受けた時間帯

指導を受けた時間帯は、全体では午前8時～正午が27%、正午～午後5時が25%である。

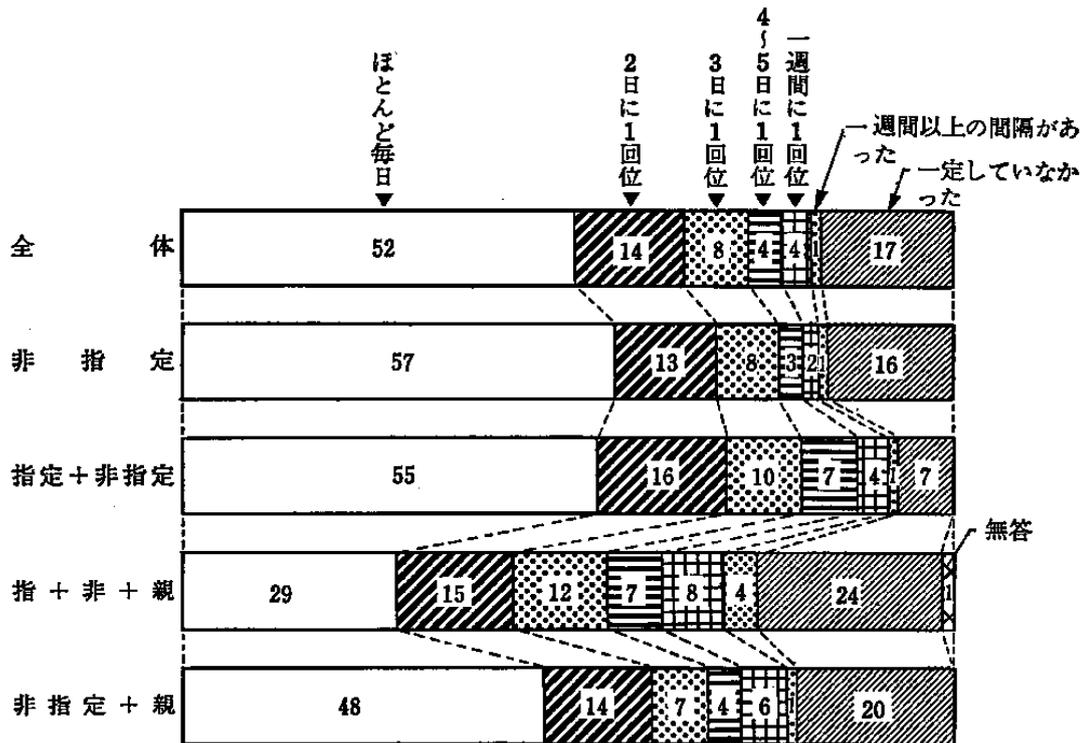
問6-5 指導を受けた主な時間帯は？（1つだけ○印をつけてください。）



指導を受けた間隔

指導を受けた間隔は、「ほとんど毎日」が全体では52%である。指定教習所と非指定教習所と親兄弟・友人等の三者で指導を受けた者は「一定していなかった」と答えたのが24%もある。

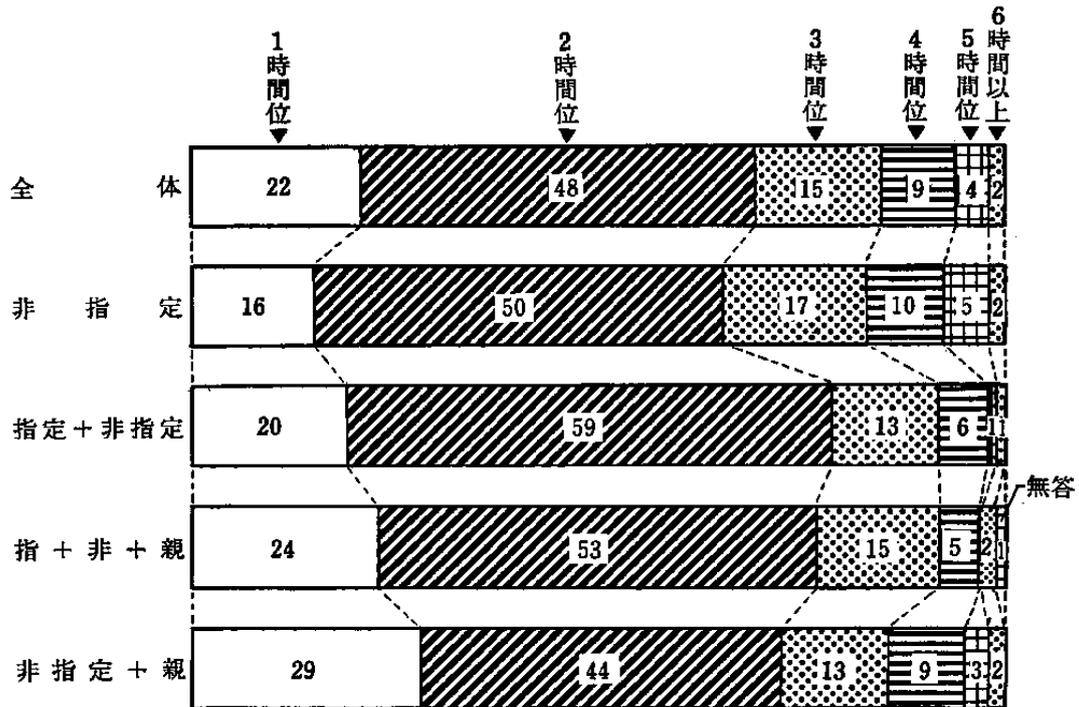
問6-6 指導を受けた間隔は？（1つだけ○印をつけてください。）



指導を受けた1日の最大時間

1日でもっとも多く指導を受けた時間数は「2時間位」が最も多く全体で48%である。「1時間位」は非指定教習所と親兄弟・友人等に指導を受けた者に多く29%である。

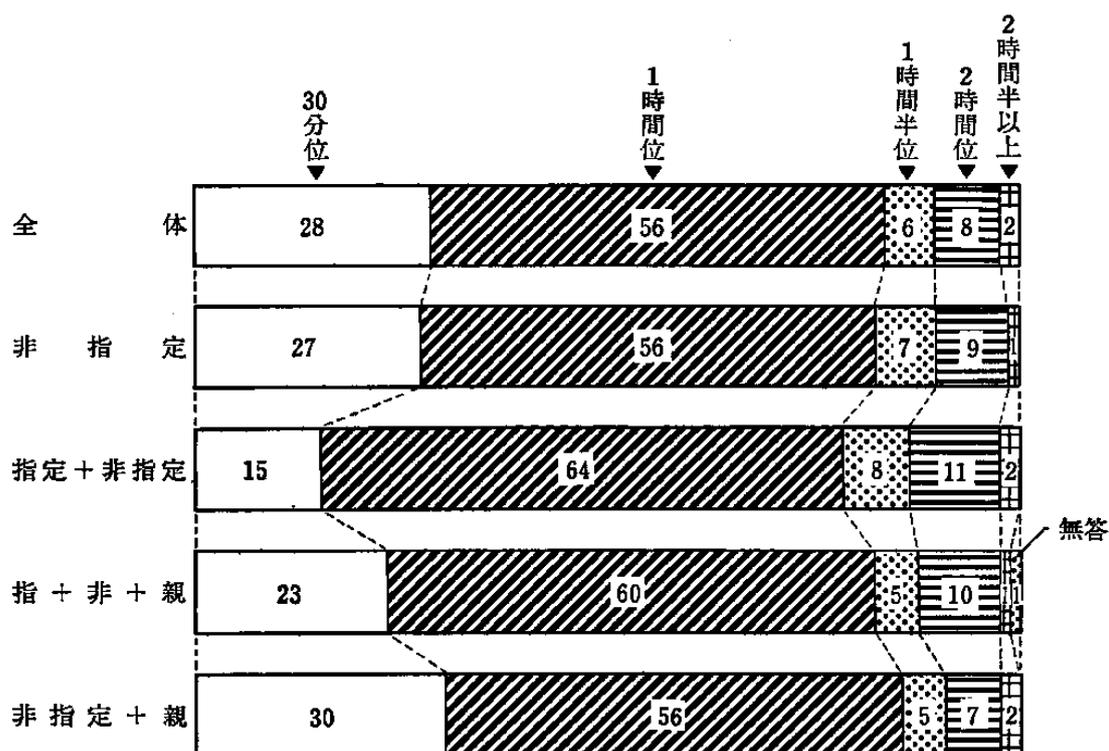
問6-7 1日でもっとも多く指導を受けたときの時間数は？



指導を受けた1日の最小時間

1日で一番少なかったときの時間数は「1時間位」が最も多く、全体で56%である。指定教習所と非指定教習所の両方で指導を受けた者では「1時間位」が64%と多い。非指定教習所と親兄弟・友人の両者から指導を受けた者は「30分位」の者も多く30%であった。

問6-8 1日で一番少なかったときの時間数は？

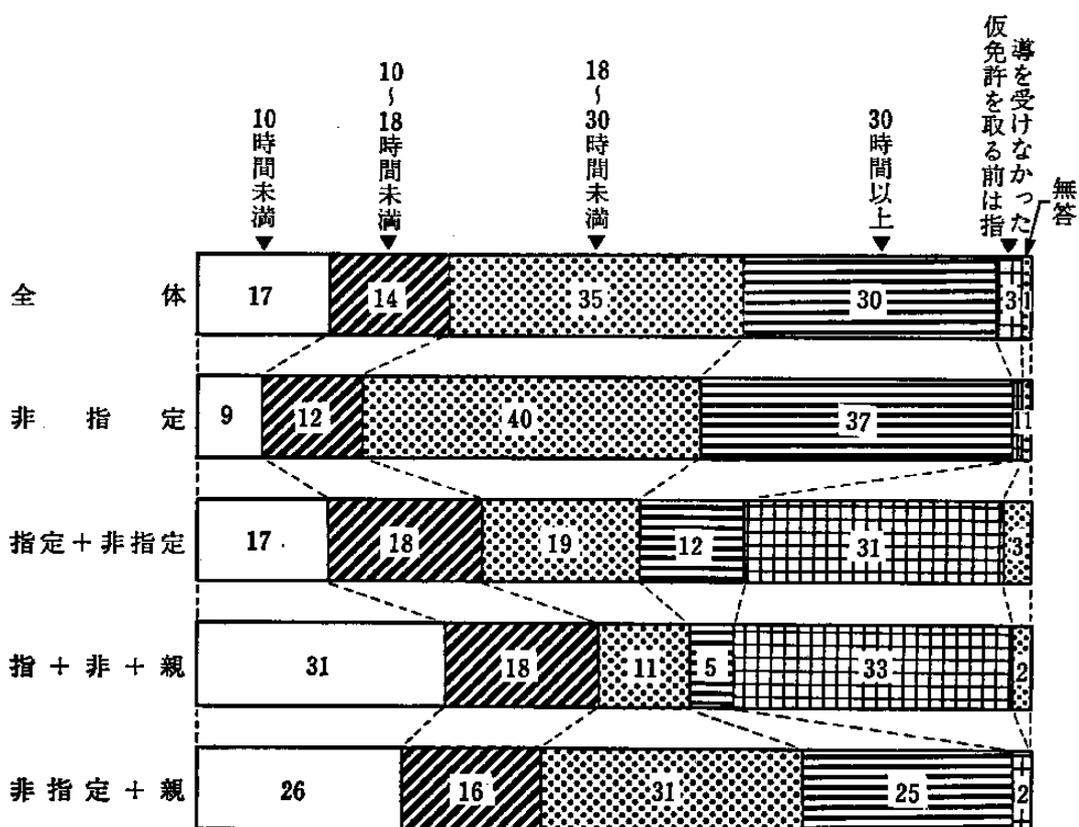


仮免許取得までに指導を受けた時間数

仮免許を取るまでに非指定教習所から指導を受けた時間数は「30時間」未満が全体では66%である。

練習方法別では、指定教習所と非指定教習所の両方で指導を受けた者の「30時間」未満は54%と若干少い。

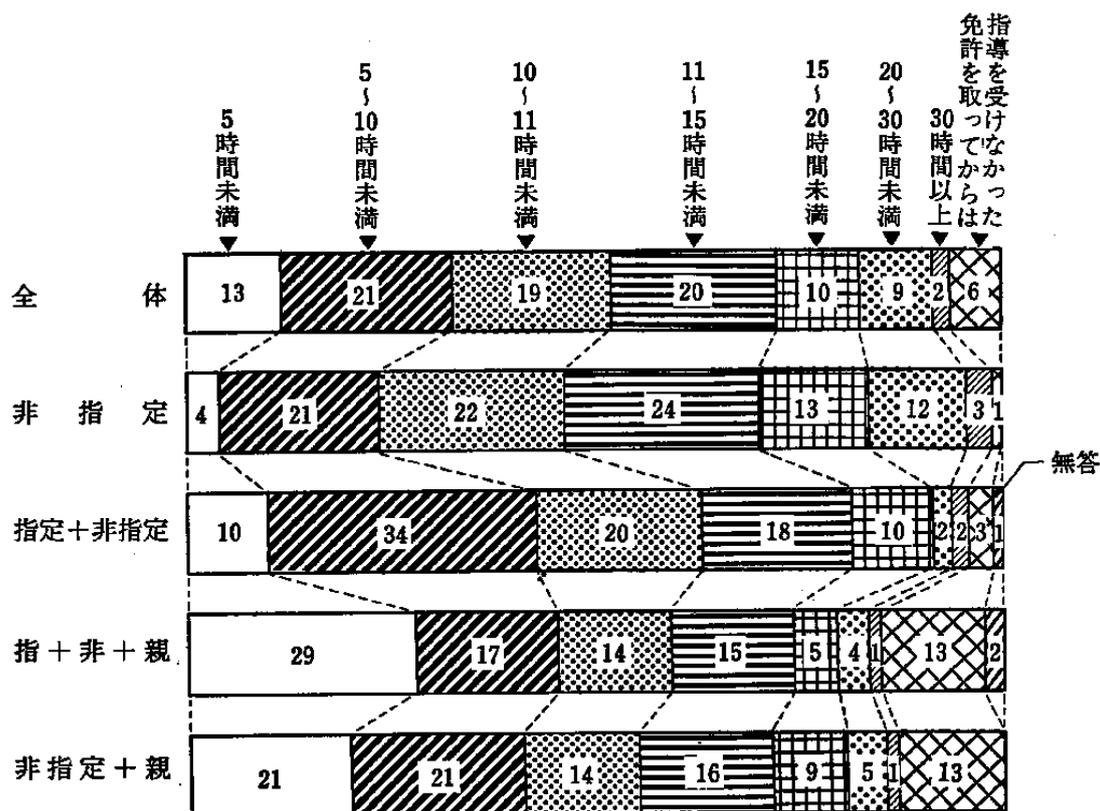
問6-9 仮免許を取るまでに公認されていない教習所又は個人指導員から指導を受けた時間数は？



仮免許取得後、指導を受けた時間数

仮免許を取った後に非指定教習所から指導を受けた時間数は、「11時間」未満は全体で53%である。指定教習所と非指定教習所の両方で指導を受けた者の「11時間」未満は64%で、仮免許を取るまでの進捗と取った後の進捗は逆現象となっている。

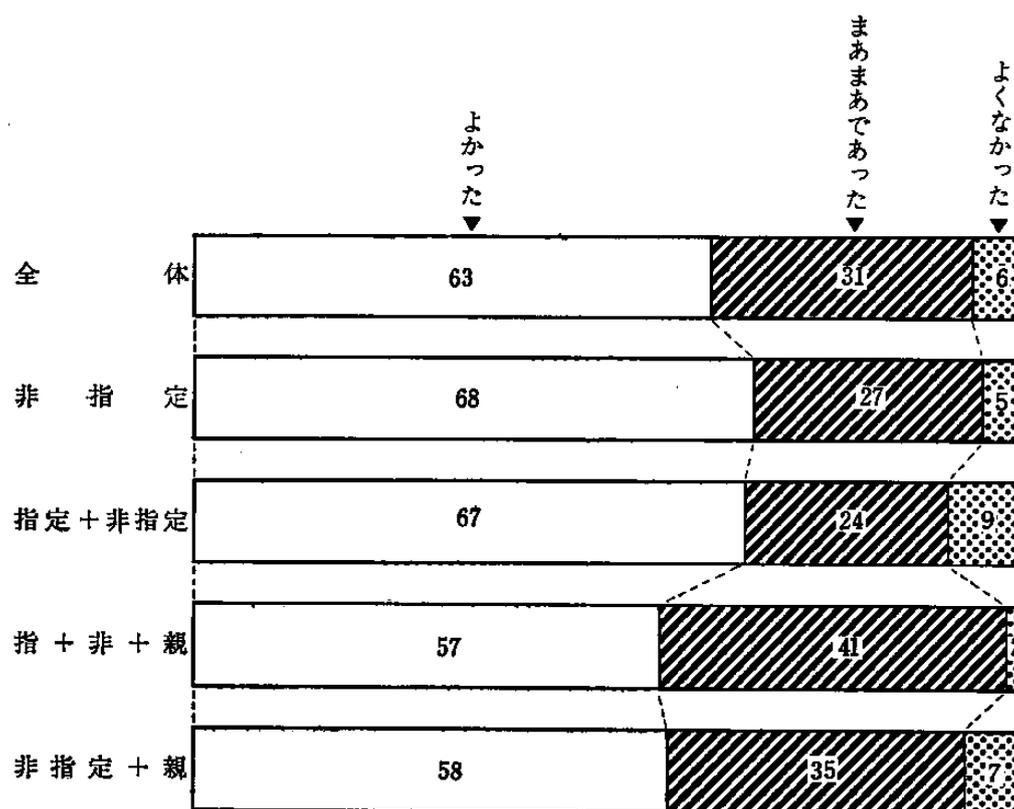
問6-10 仮免許を取った後に公認されていない教習所又は個人指導員から指導を受けた時間数は？



指導員の教え方

指導員の教え方が「よかった」と答えた者は全体で63%で、「まあまあであった」まで加えると94%となる。非指定教習所のみで指導を受けた者は「よかった」と答えた率が高く68%である。

問6-11 指導員の教え方は？

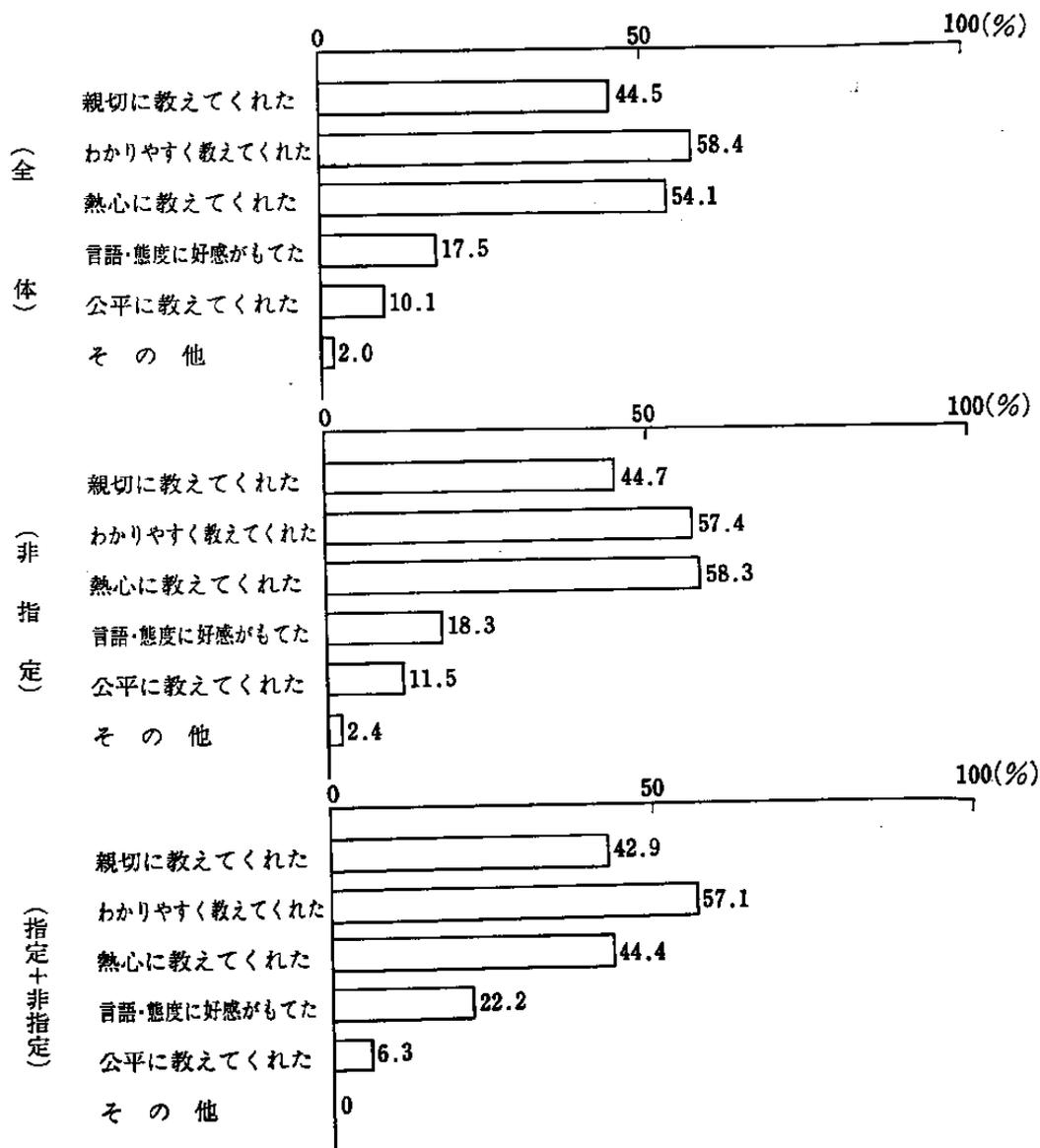


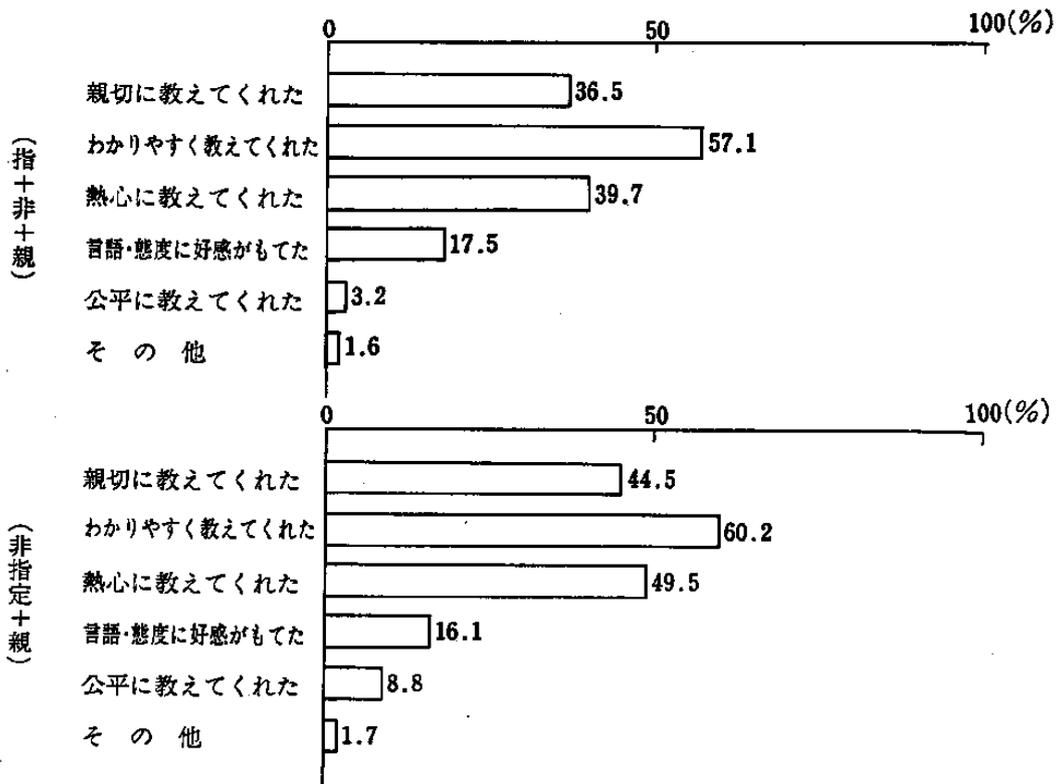
指導員の教え方のよかった理由

よかったと答えた2,555人について、その理由をまとめると、全体では「わかりやすく教えてくれた」が最も多く58.4%である。次いで「熱心に教えてくれた」が54.1%である。

指導員の教え方が「よかった」と答えた人だけが記入してください。(2,555人)

問6-11-1 その理由は？(あてはまるものにもいくつでも○印をつけてください。)

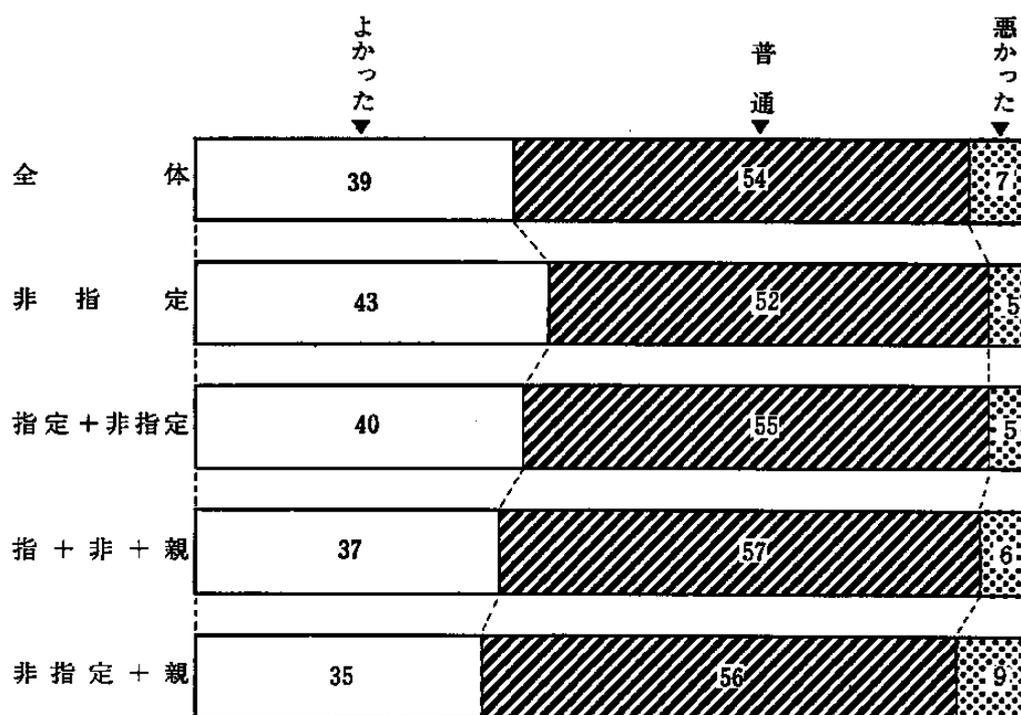




教習車両の整備状況

教習車両の整備状況は、「よかった」が39%で、「普通」を加えると93%は満足しているようである。非指定教習所と親兄弟・友人に指導を受けた者は、「悪かった」と答えた者が一番多く9%である。

問6-12 教習車両の整備状況は？

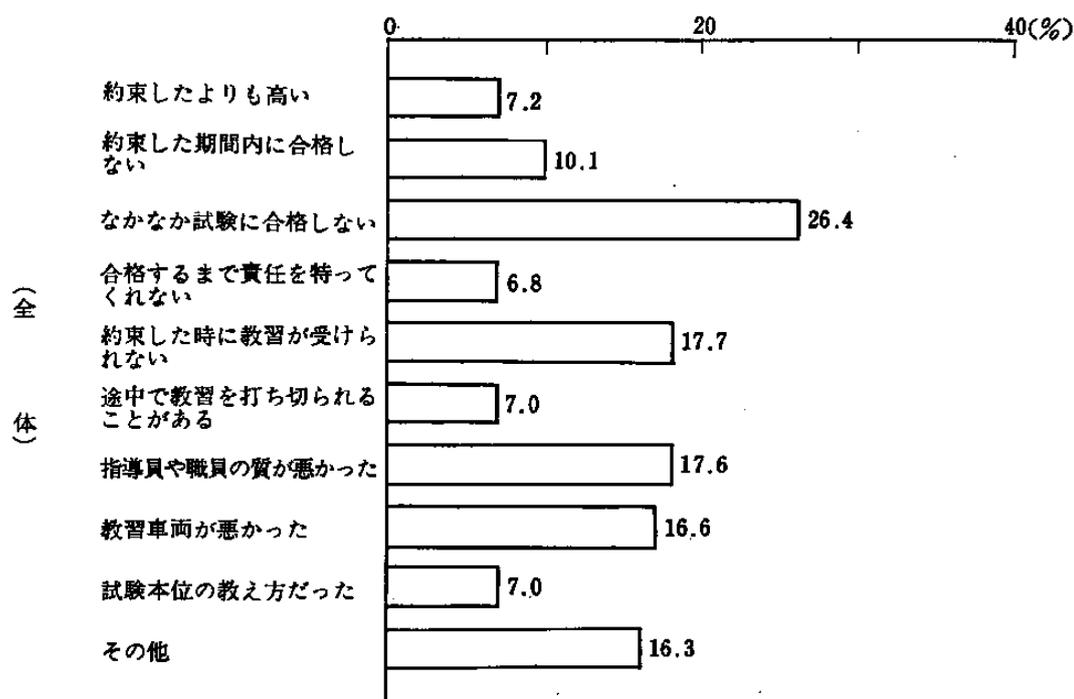


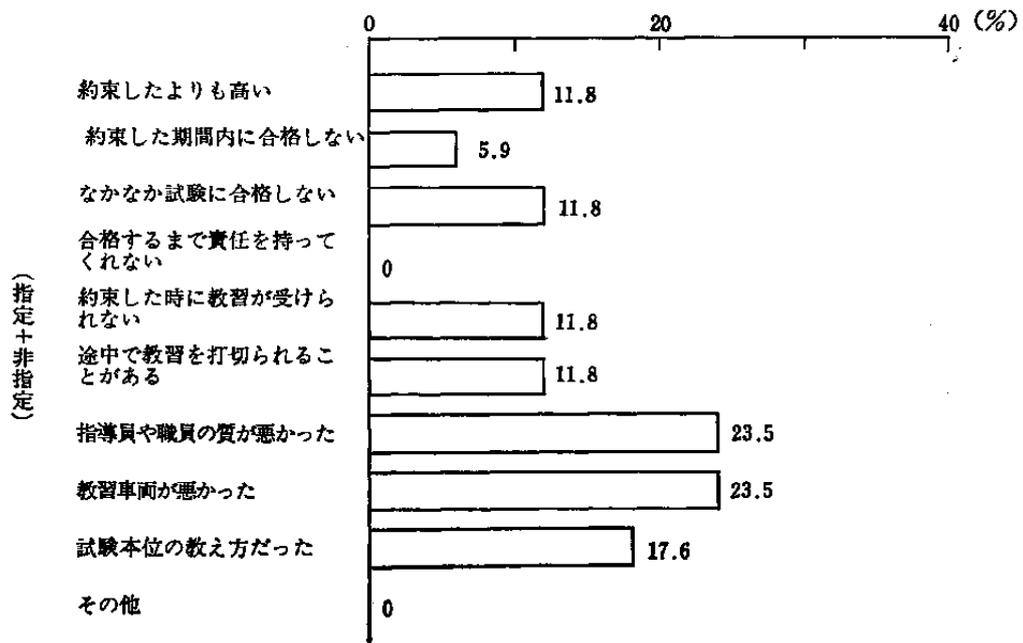
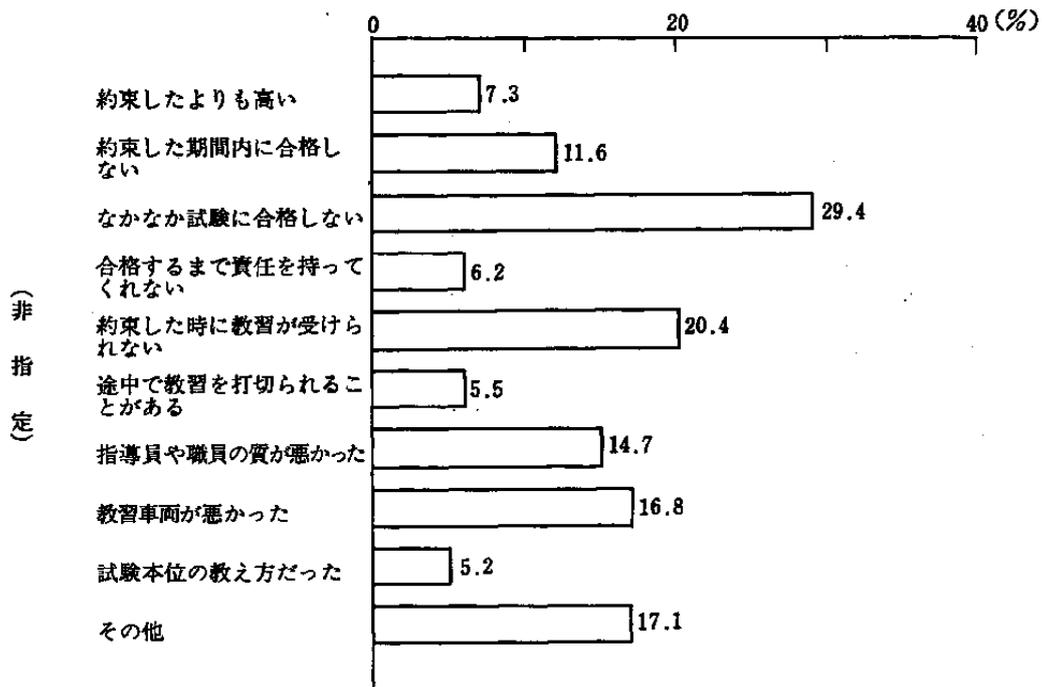
非指定教習所に対する不満

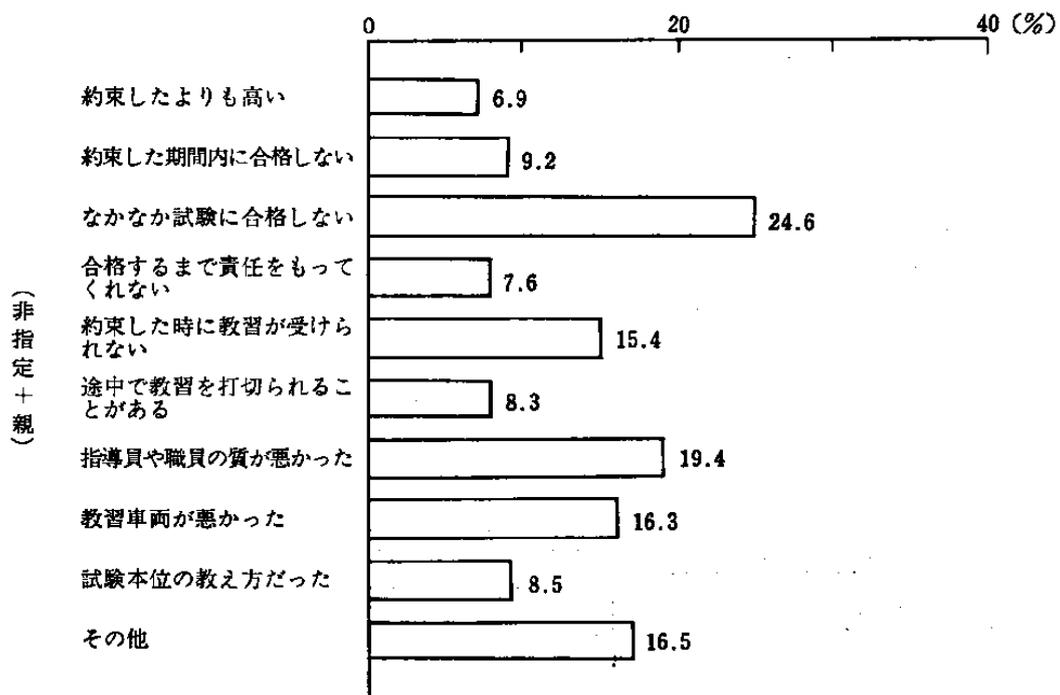
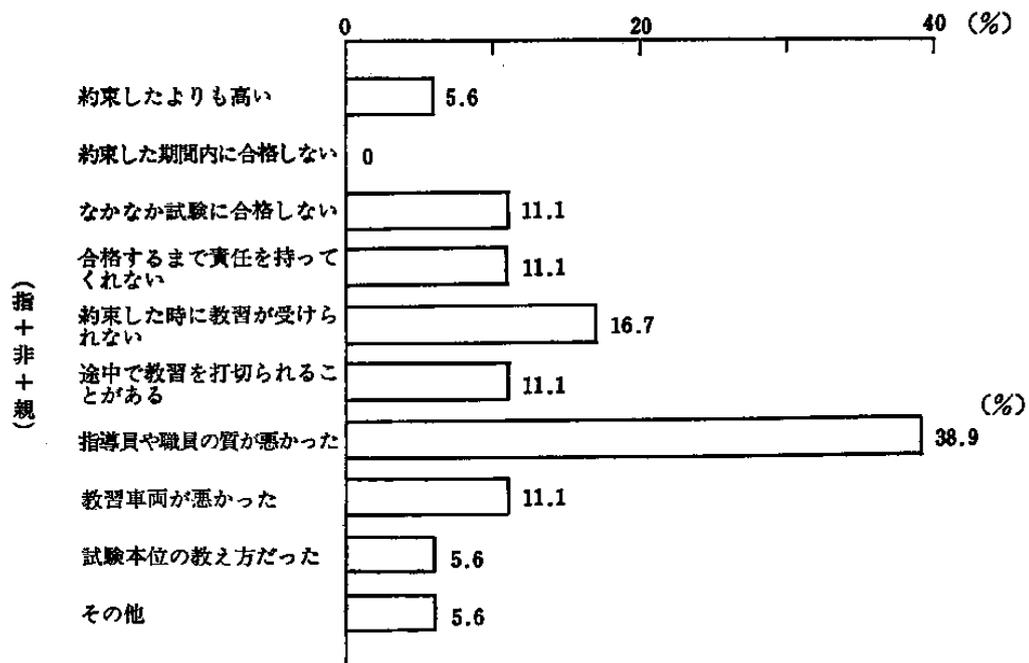
非指定教習所に不満を持っている880人についてその理由をまとめると、全体では「なかなか試験に合格しない」が26.4%、「約束した時間に教習が受けられない」が17.6%、「指導員や職員の質が悪かった」が17.6%である。

非指定教習所のみで指導を受けた者は、「なかなか試験に合格しない」が最も多く29.4%である。指定教習所と非指定教習所の両方で指導を受けた者は「指導員や職員の質が悪かった」と「教習車両が悪かった」が同率で23.5%である。指定教習所と非指定教習所の両方で指導を受けた者は「指導員や職員の質が悪かった」が最も多く38.9%である。指導を受けた教習所又は個人指導員に対し不満を持ったことが「ある」と答えた人だけが記入してください。(880人)

問6-13-1 その理由は？(あてはまるものにもいくつかでも○印をつけてください。)





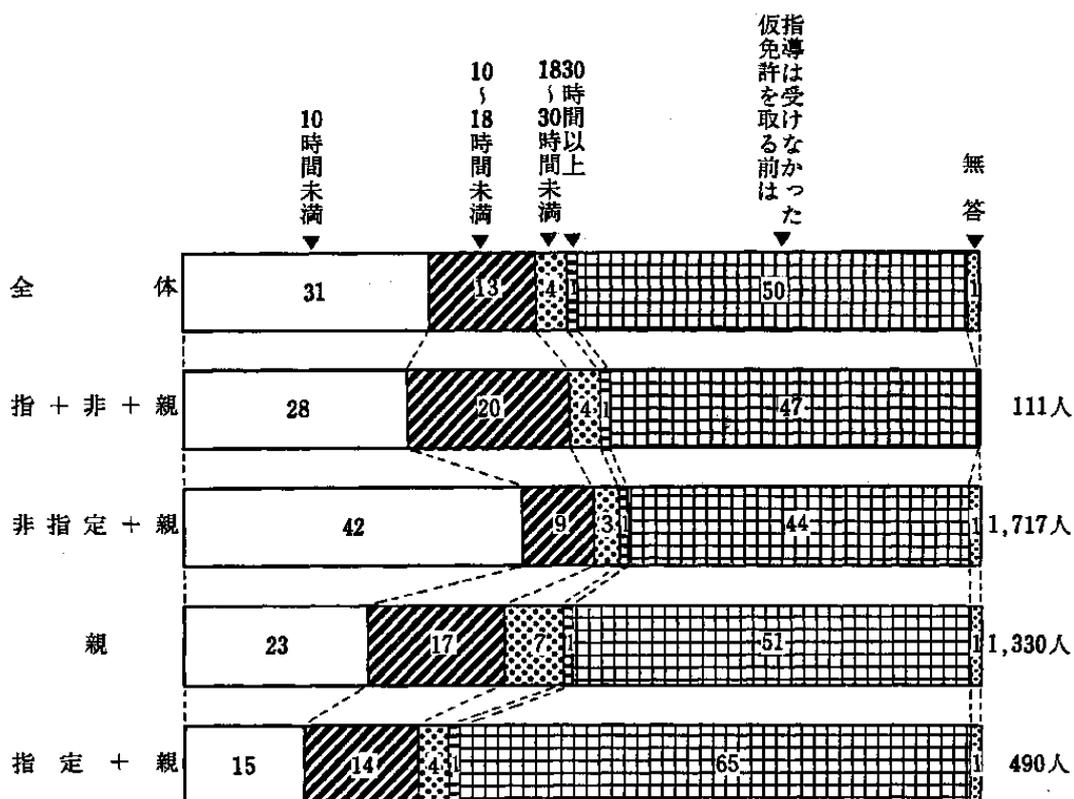


仮免許取得までに親兄弟・友人等に指導を受けた時間数

親兄弟・友人等から運転の実地指導を受けたことがある者は3,648人で61.4%である。仮免許を取るまでに親兄弟・友人等に指導を受けなかった者は全体では50%あり、指定教習所と親兄弟・友人等に指導を受けた者では特に受けなかった者が多く65%である。

今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために、親・兄弟・友人等から運転の実地指導を受けたことが「ある」と答えた人だけ記入してください。

問7-2 仮免許を取るまでに親兄弟・友人等に指導を受けた時間数は？

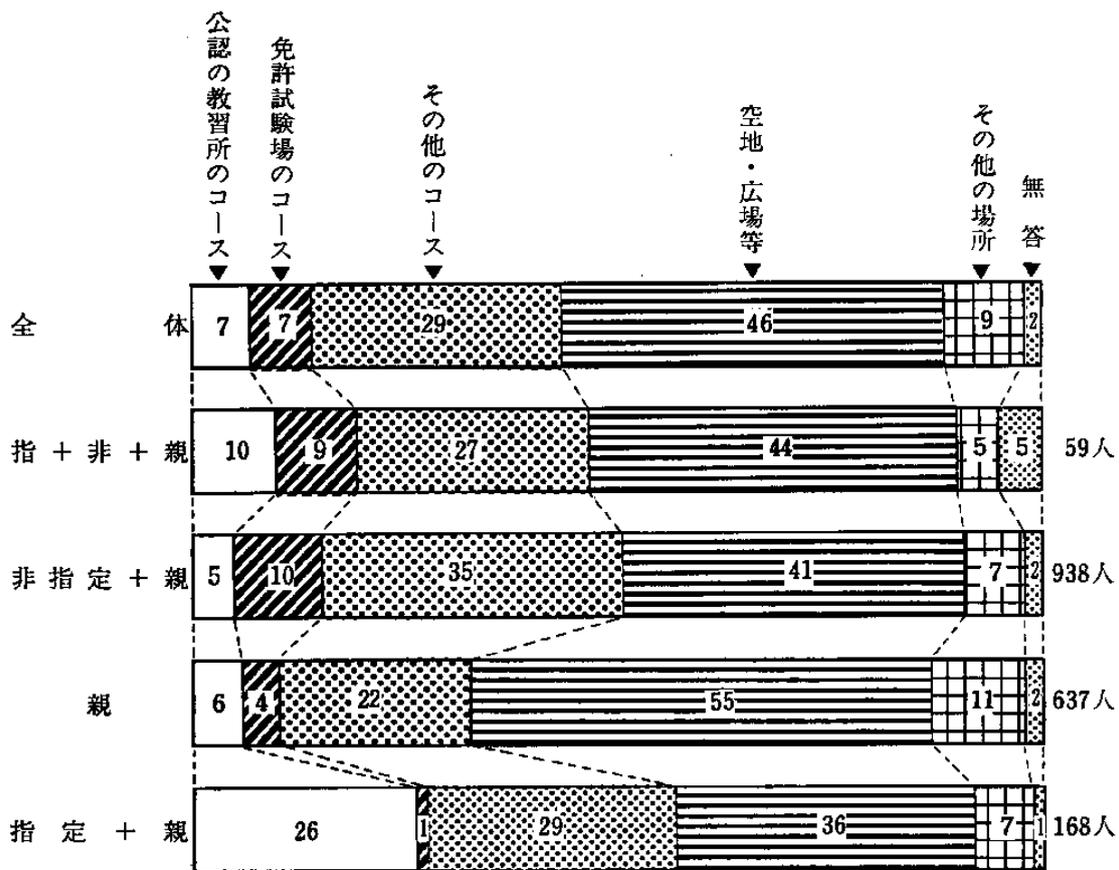


仮免許取得までの練習場所

仮免許を取るまでに親兄弟・知人等に指導を受けなかった者を除く1,802人の主な練習場所は、「空地・広場等」が最も多く46%、特に親兄弟・友人等にのみ指導を受けた者は55%が「空地・広場」を使用している。

問7-2-1 仮免許を取るまでの主な練習場所は？（1つだけ○印をつけてください。）

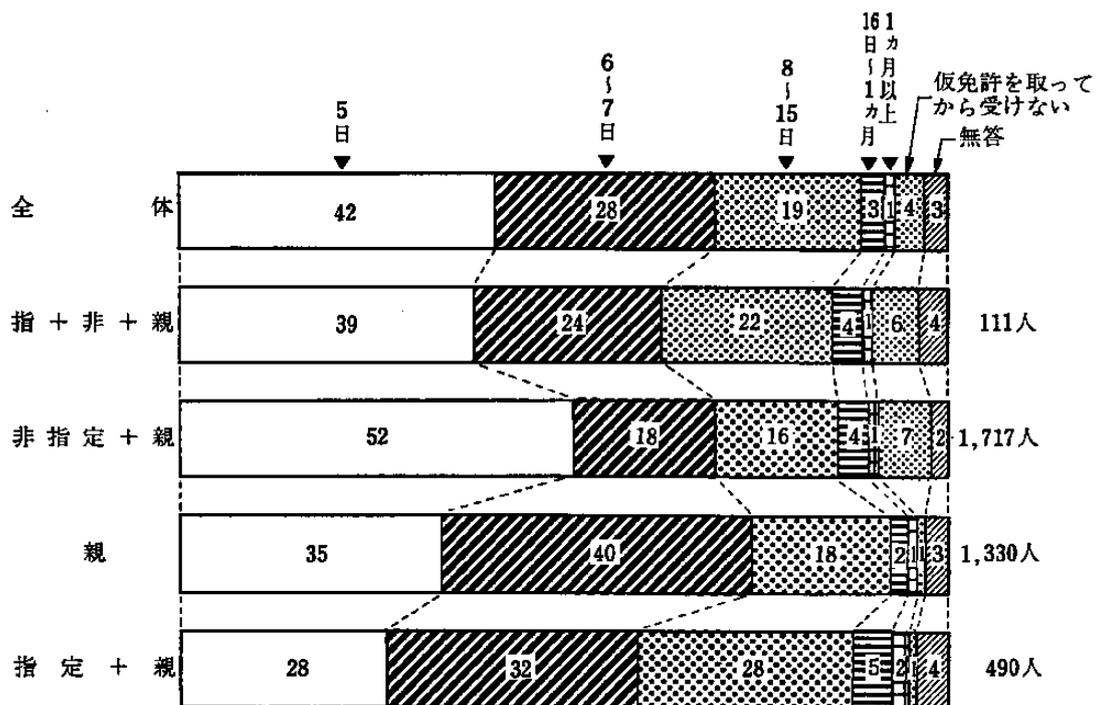
(1,802人)



仮免許取縛後の路上教習日数

仮免許を取った後、親兄弟・友人等に指導を受けた日数は、全体では「5日」が42%である。非指定教習所と親兄弟・友人等の両者に指導を受けた者は「5日」が52%となっている。

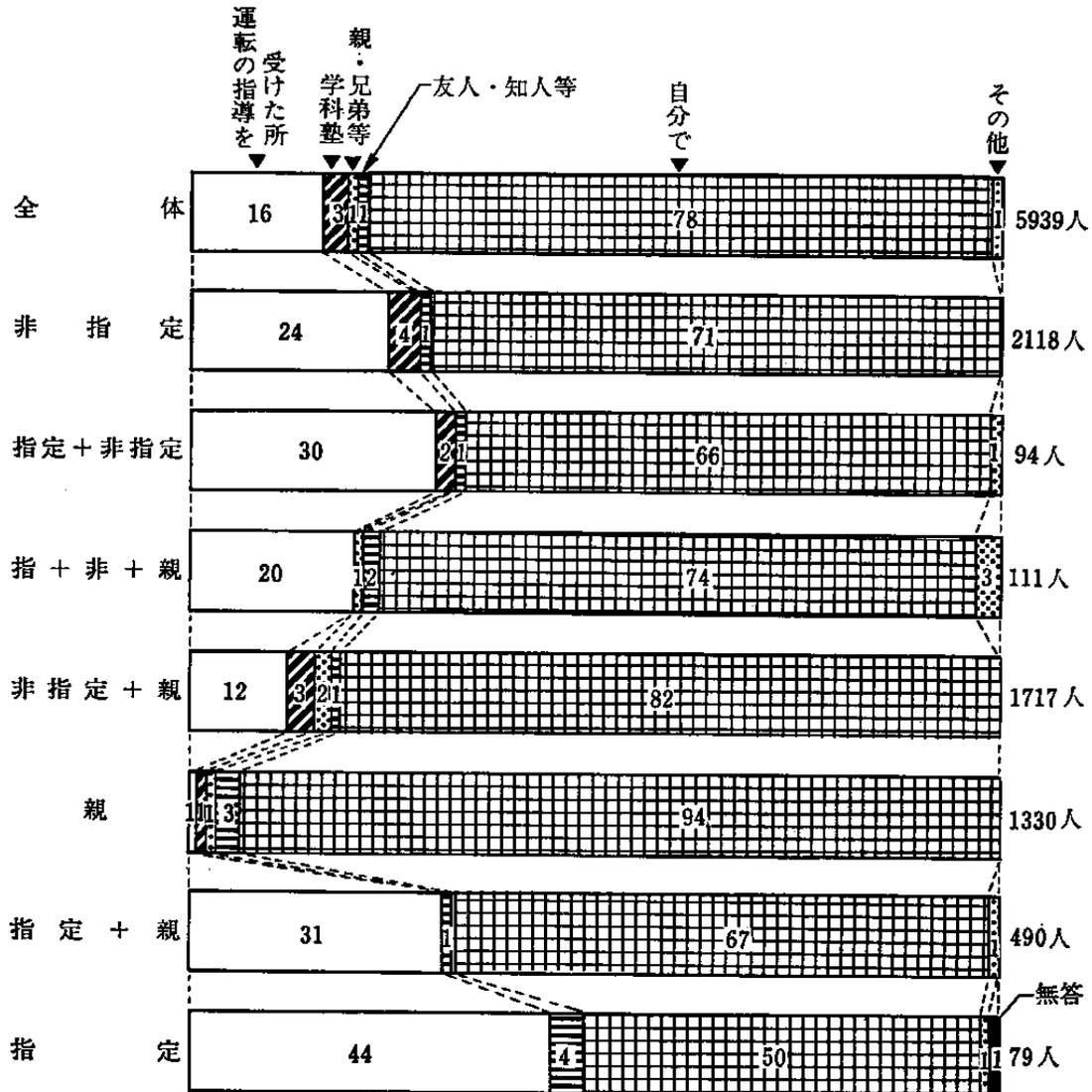
問7-3 仮免許を取った後、路上で親兄弟・友人等に指導を受けた日数は？



学科の勉強方法

学科の勉強は「自分で」が全体では78%であり、特に親兄弟・友人等にのみ指導を受けた者については「自分で」が94%となっている。

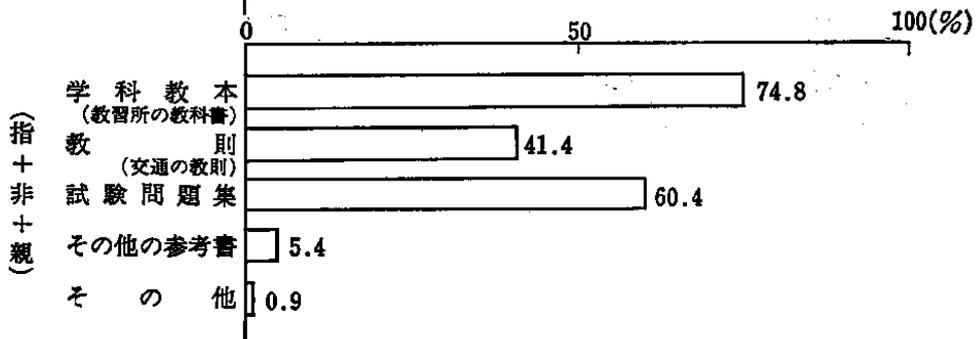
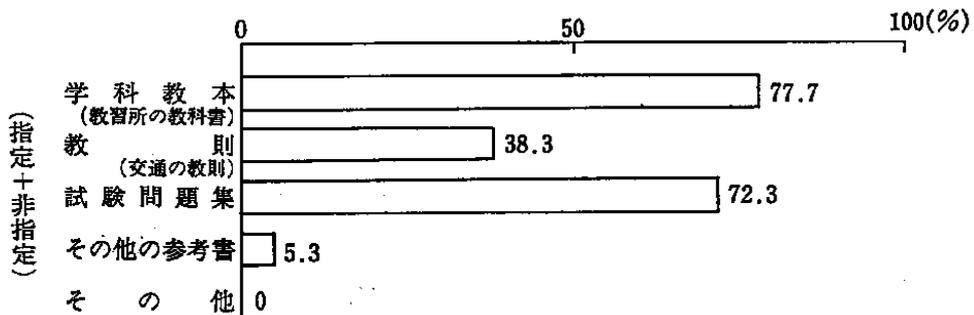
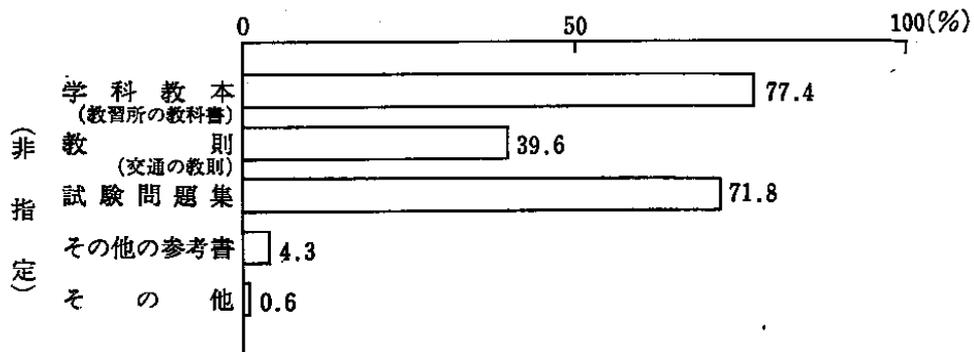
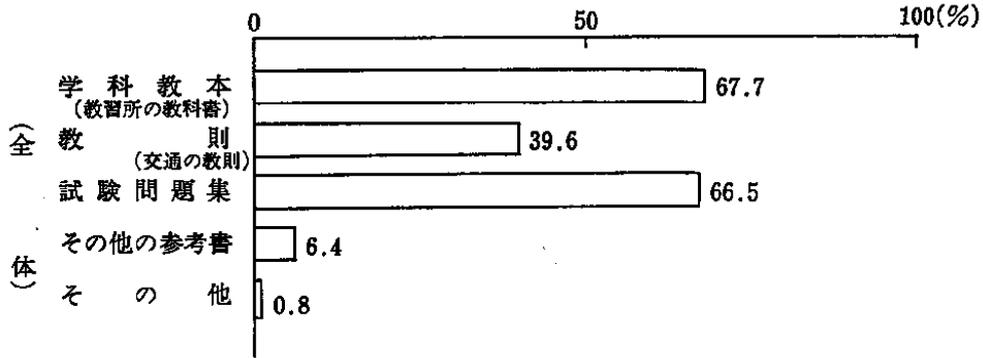
問8 学科の勉強は主としてどのような方法でしたか。(1つだけ○印をつけてください。)

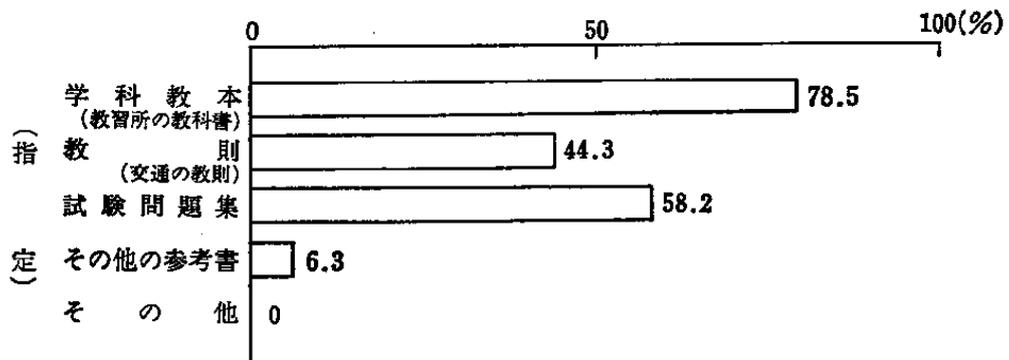
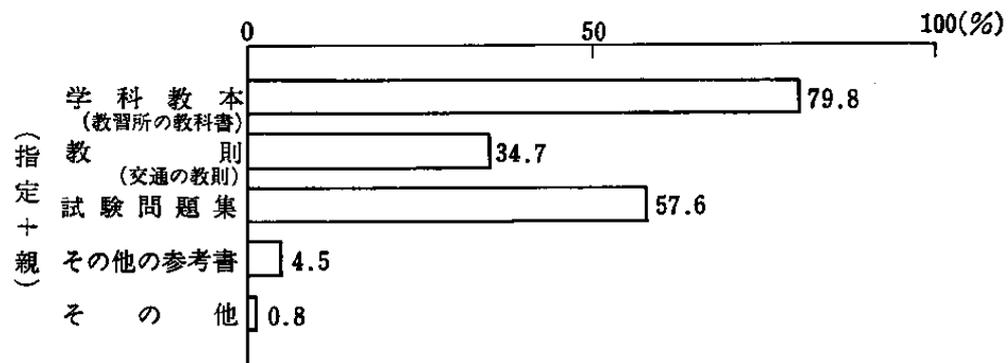
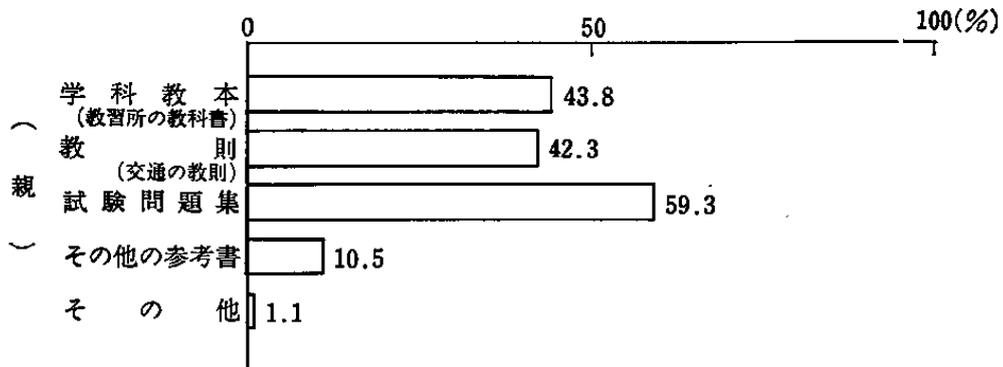
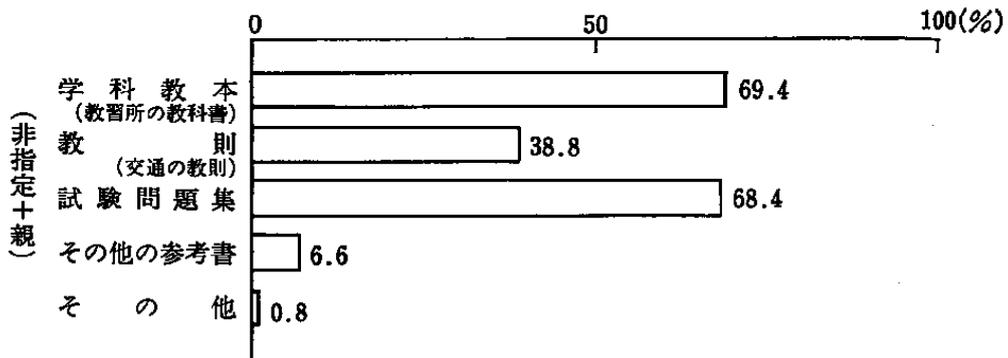


学科試験のための参考書

学科の勉強に使った参考書は、学科教本、試験問題集、交通の教則の順に多い。

問9 学科の勉強に使った参考書は、次のうちのどれですか（あてはまるものに、いくつでも○印をつけてください）（5,939人）

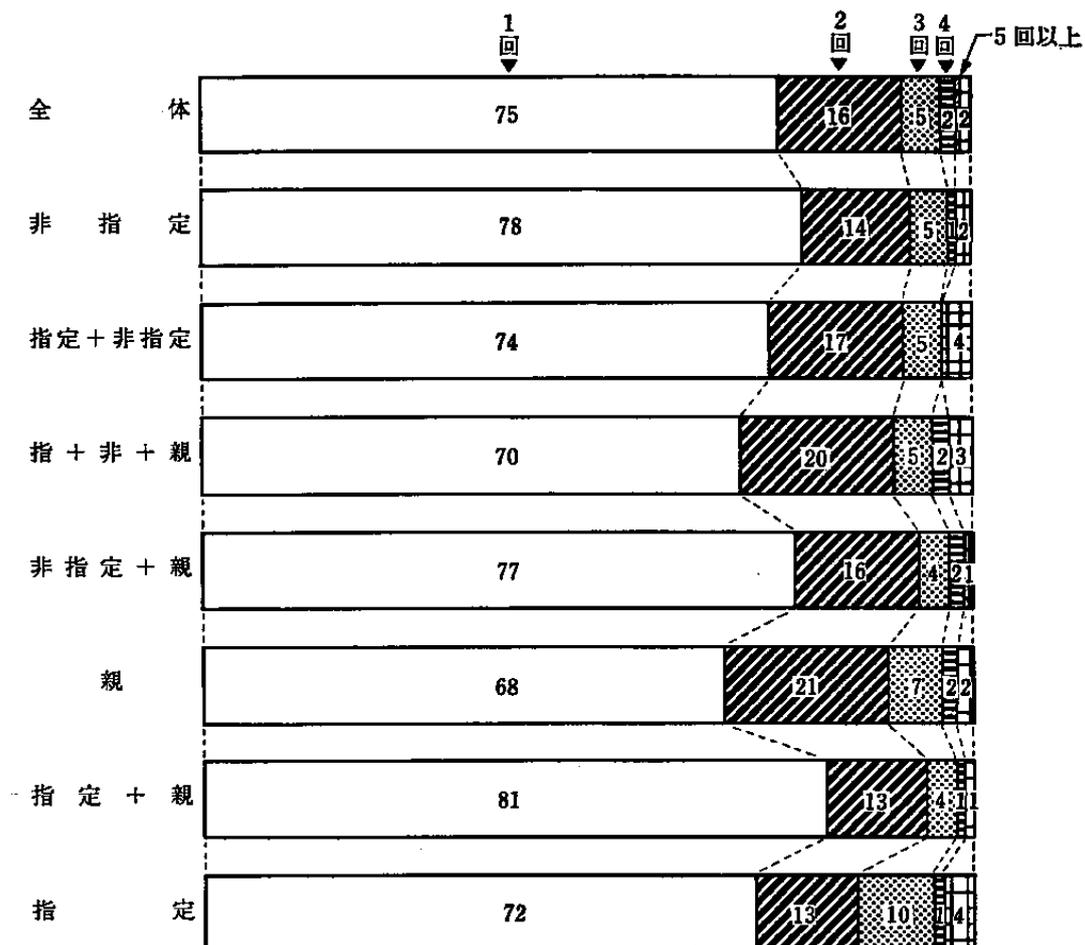




仮免許学科試験の受験回数

仮免許の学科試験受験回数は、「1回」が75%である。

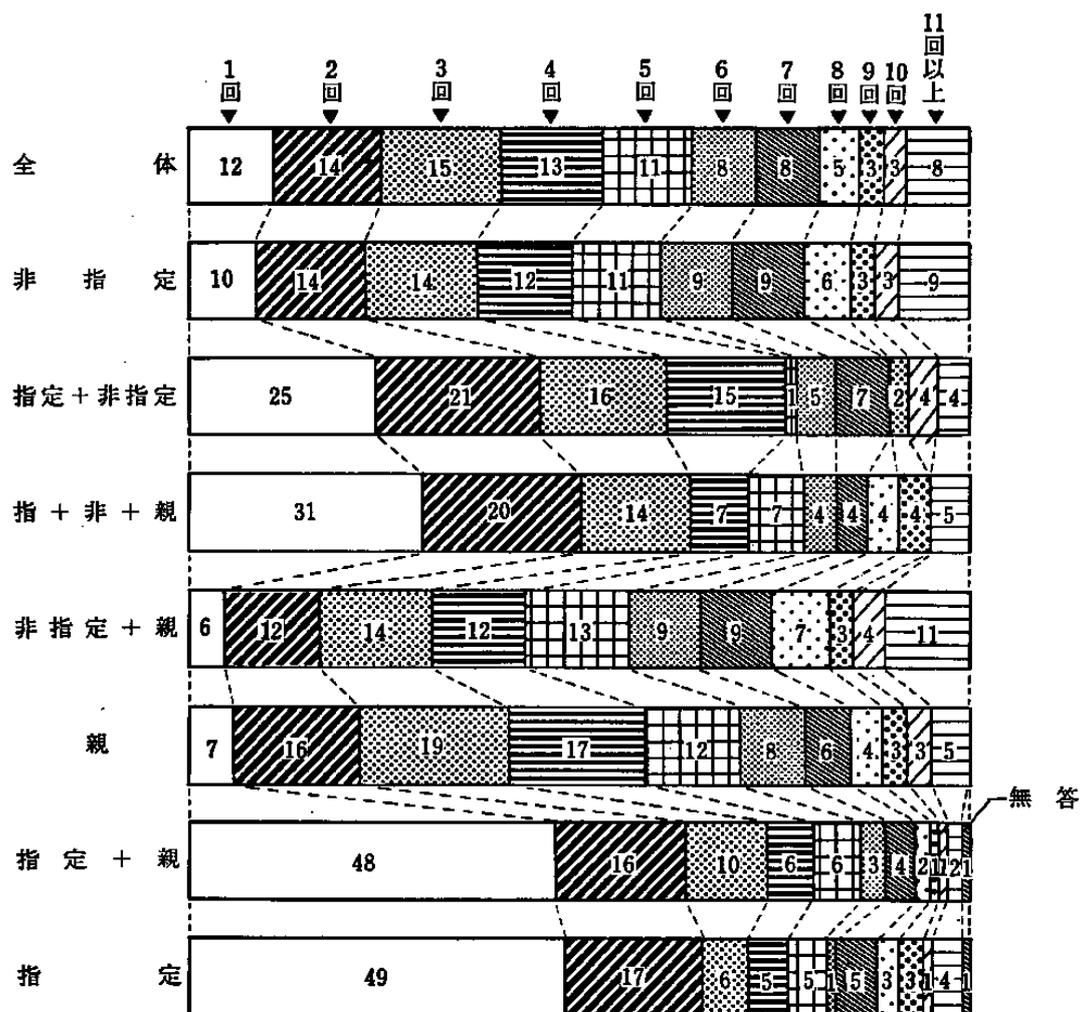
問10 仮免許の学科試験に合格するまでの受験回数は？ (5,939人)



仮免許技能試験の受験回数

仮免許の技能試験受験回数は、全体では54%の者が「4回」以内である。指定教習所で学んだことのある者は「1回」が48～49%と多い。

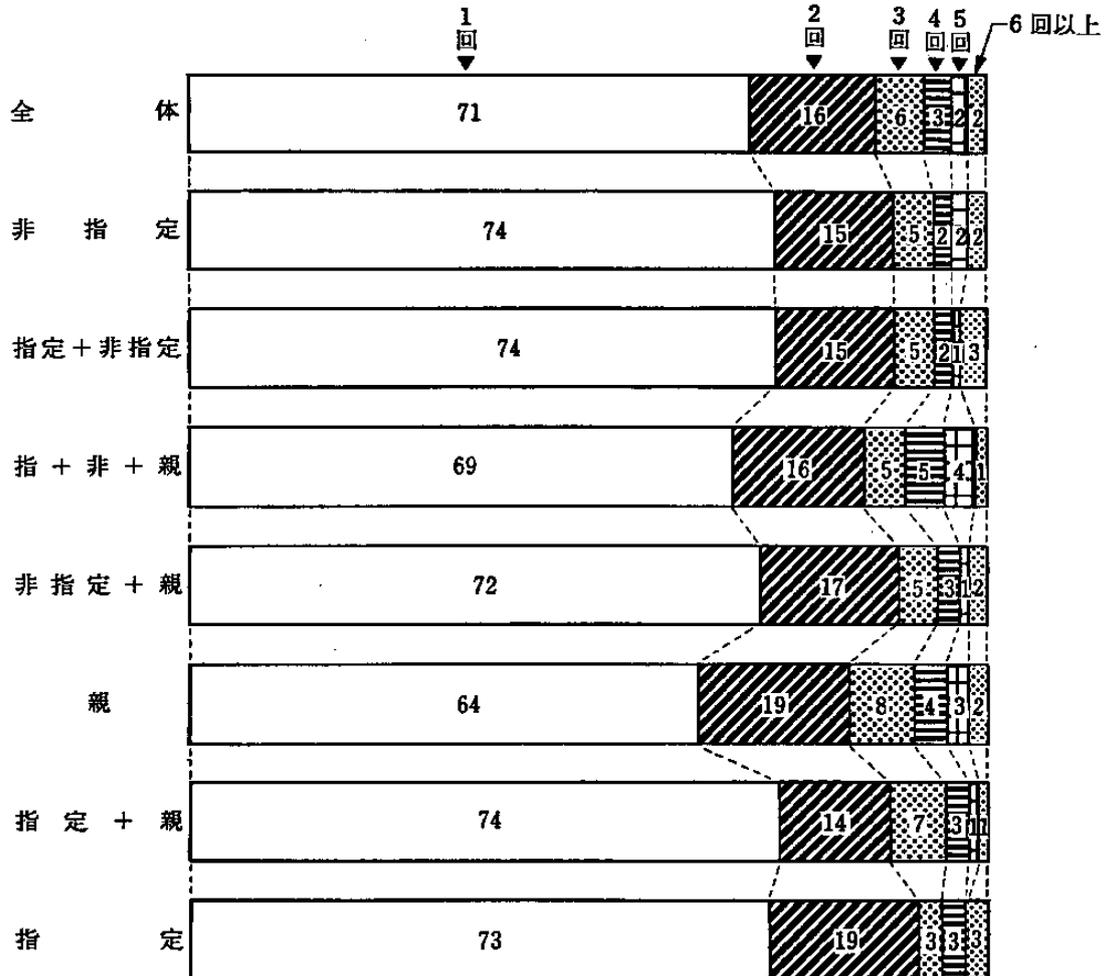
問11 仮免許の技能試験に合格するまでの受験回数は？（公認の教習所で修了検定を受けた人はその回数）



本免許学科試験の受験回数

本免許の学科試験回数は、全体で71%が「1回」である。

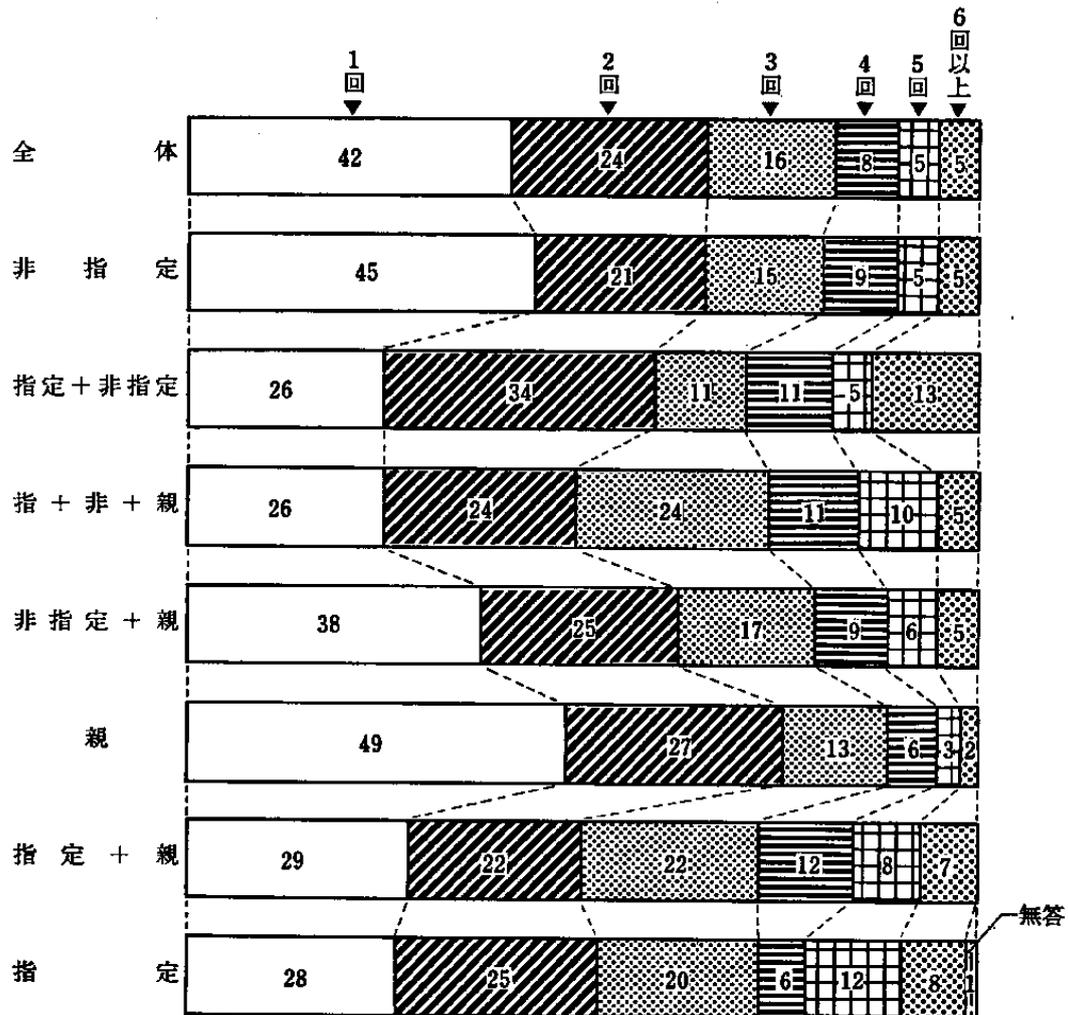
問12 本免許の学科試験に合格するまでの受験回数は？



本免許技能試験の受験回数

本免許の技能試験受験回数は、全体では42%が「1回」である。親兄弟・友人等のみ、あるいは非指定教習所のみで指導を受けた者は成績がよく、それぞれ49%と45%が「1回」である。

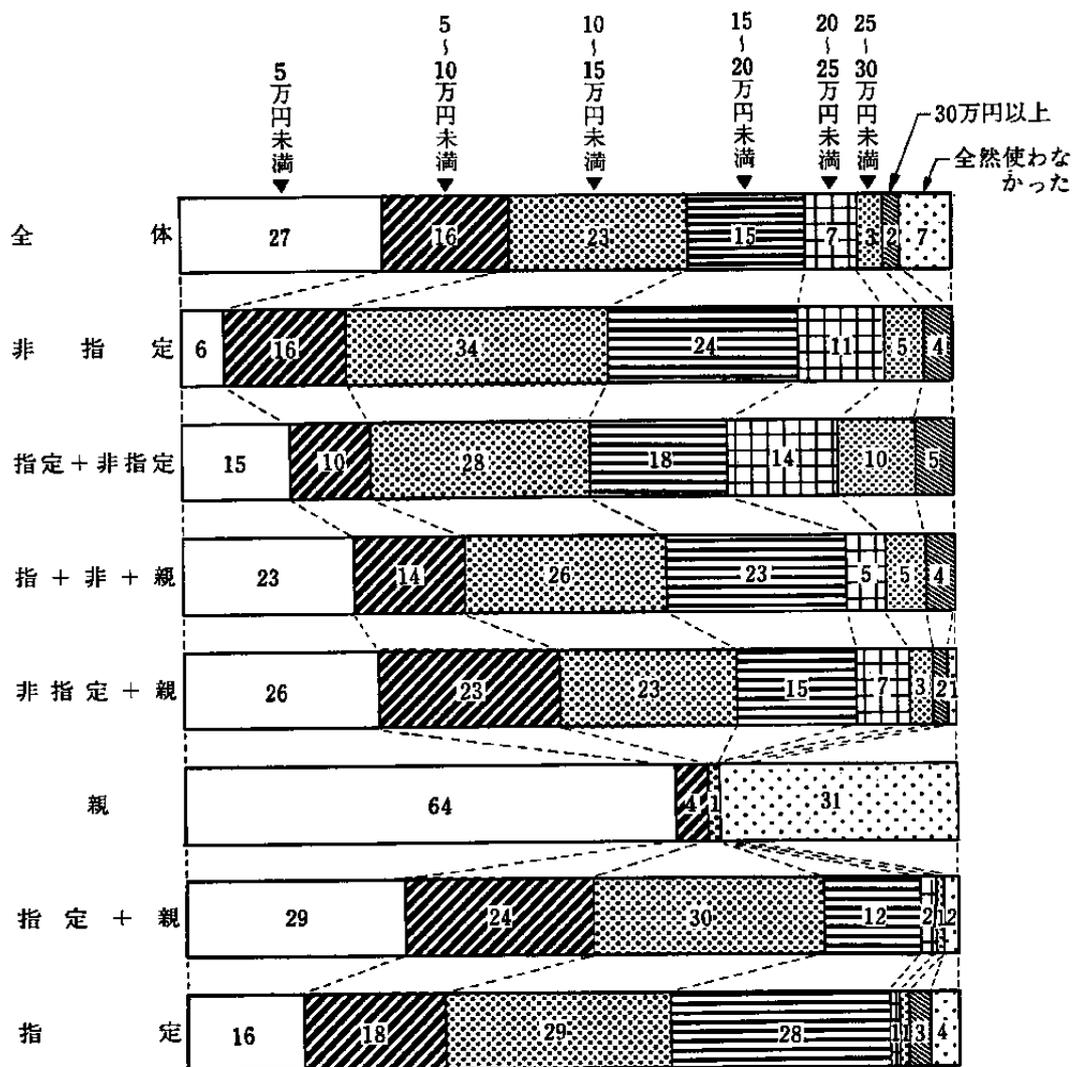
問13 本免許の技能試験に合格するまでの受験回数は？



免許取得に要した費用

免許取得に使用した費用は、全体では66%が「15万円」未満である。親兄弟・友人等に指導を受けた者は、64%が「5万円」未満である。

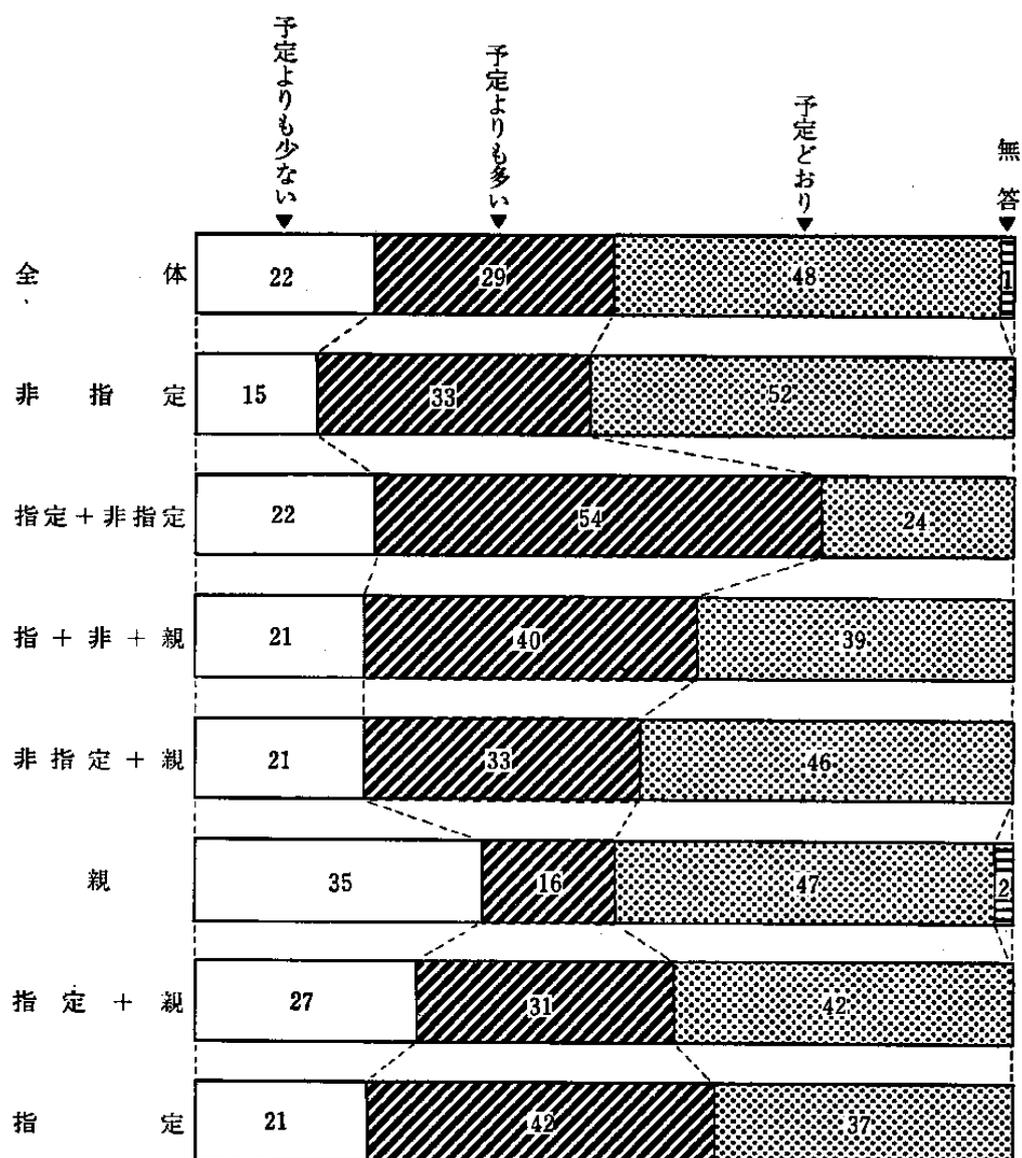
問14 あなたが、今日までに使った費用はどれ位ですか（交通費、試験手数料等は除く）



頭初予定額との違い

免許取得に費した金額が最初の予定より多いと答えたのは、全体では29%である。特に指定教習所と非指定教習所の両方で指導を受けた者は54%が予定より多いと答えている。

問15 その金額は最初の予定とくらべてどうですか。



4-4 非指定教習所別の実態

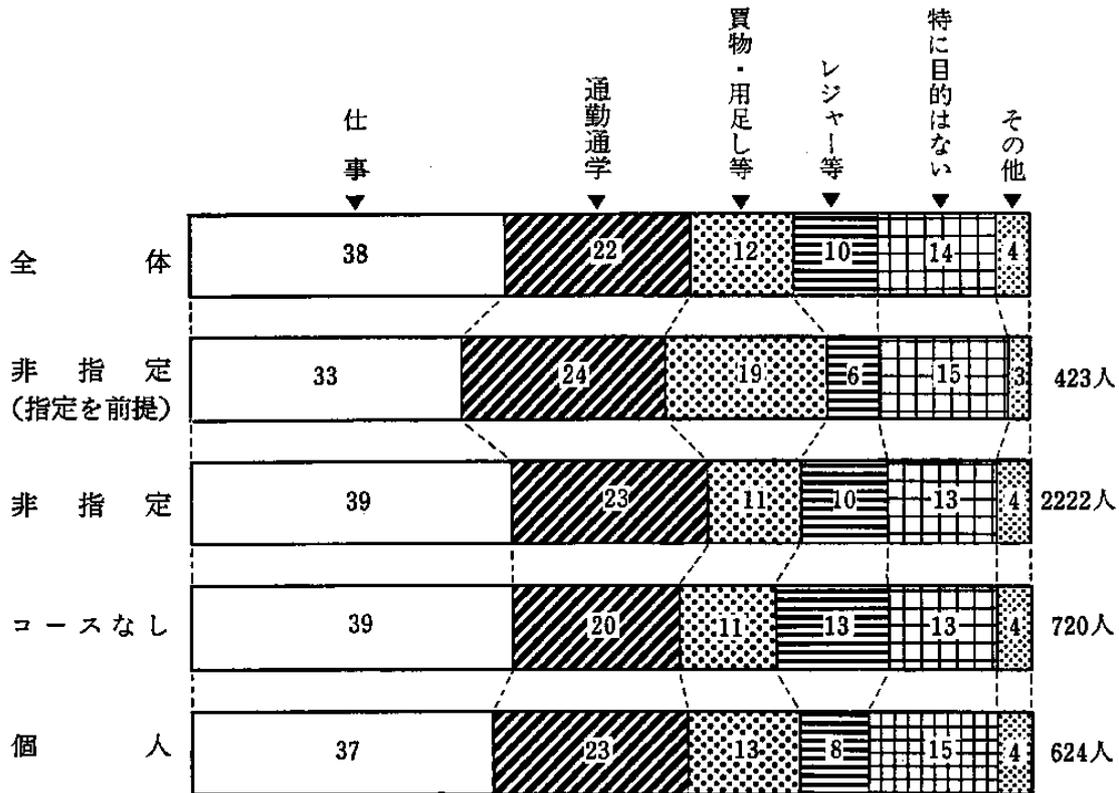
前節では技能練習方法で考えられる7種類の組み合わせ区分でアンケートの設問全部について単純集計を行った。

本節では、技能練習方法の組合せには関係なく、非指定教習所で技能指導を受けたことがある全員について教習所の種類毎に単純集計をすることにした。非指定教習所の区分は「非指定教習所で指定を前提としている所」「非指定教習所」「コースを有しない教習所」「個人指導員」の4種とした。本節の分析で有効サンプル数は3,989人である。

免許取得目的

普通免許をとる主な目的は「仕事」が38%で「通勤・通学」が22%である。教習所の種類による差異はほとんどない。

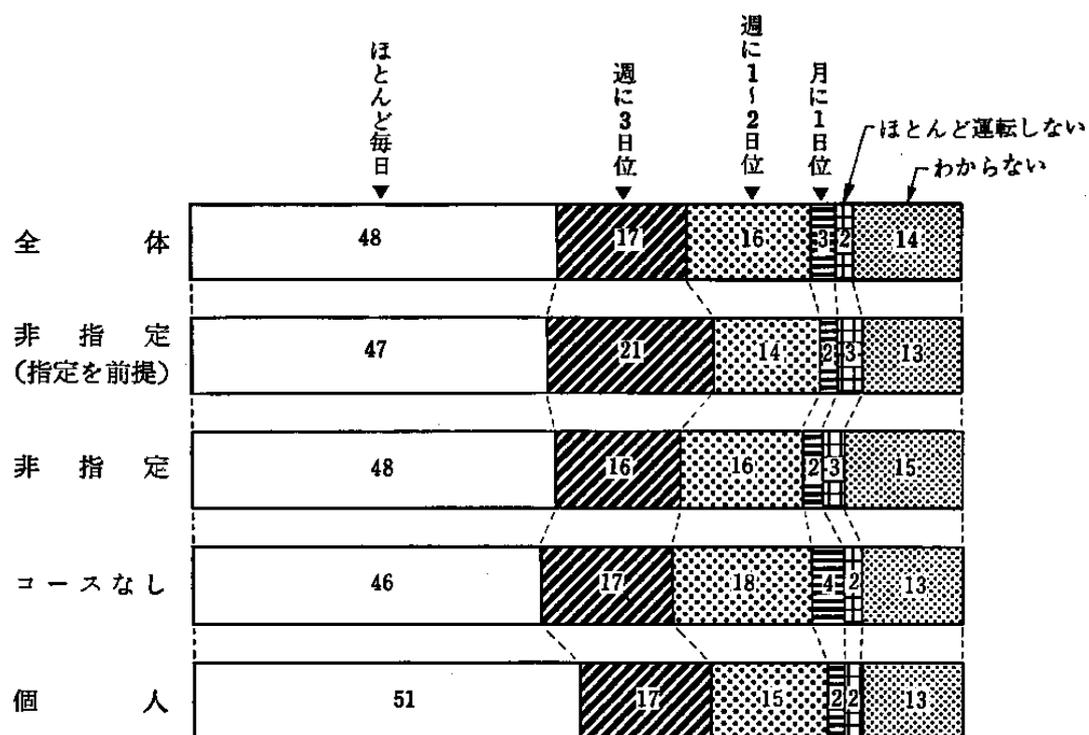
問1 あなたが、今回普通免許をとる主な目的は次のうちどれですか。（1つだけ○印をつけてください。）



運転頻度

運転頻度は「ほとんど毎日」が全体では48%である。個人指導員に指導を受けた者は「ほとんど毎日」が多く51%である。

問2 あなたは、今後普通自動車をどれ位運転される予定ですか。



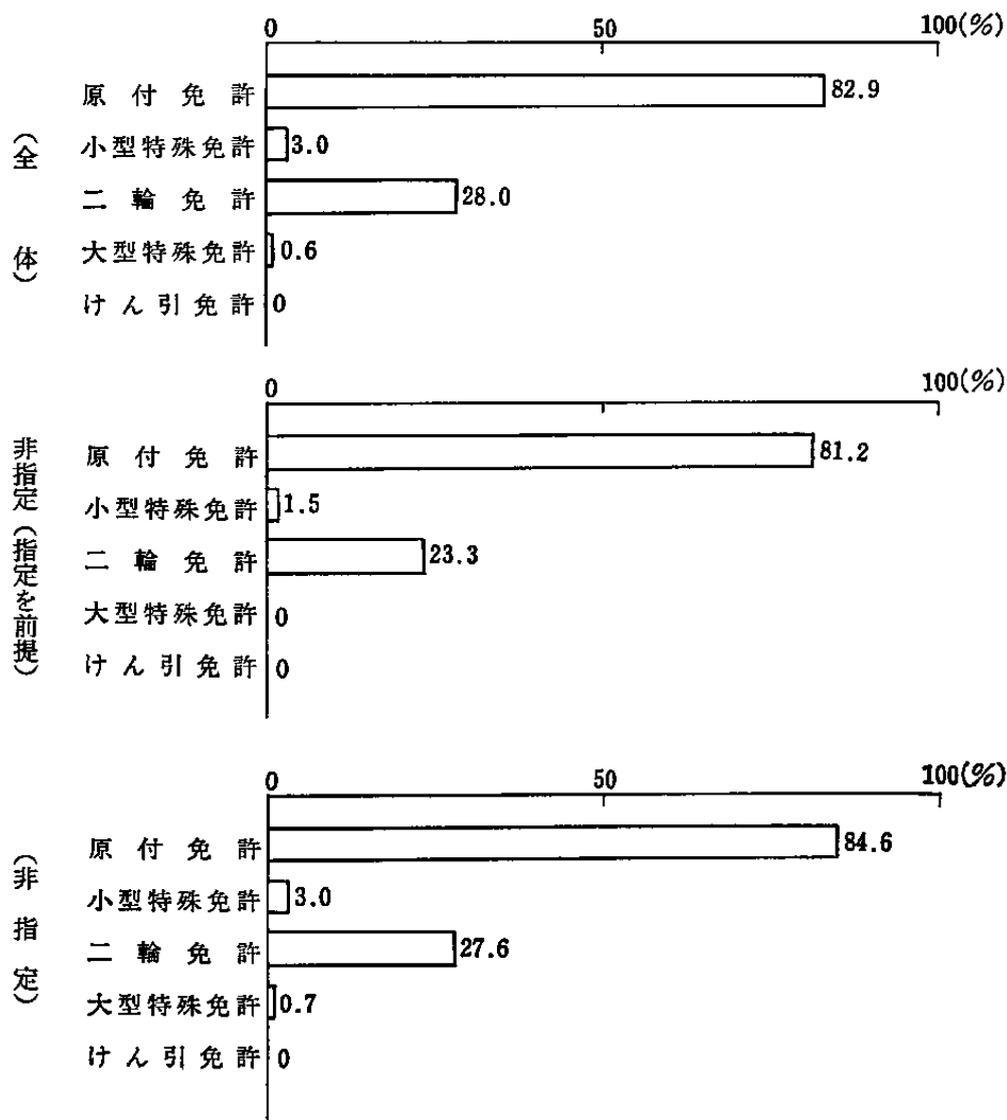
現有免許の種類

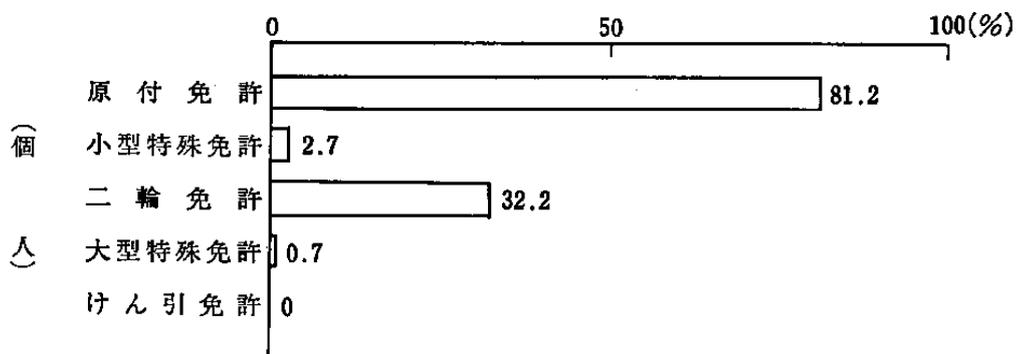
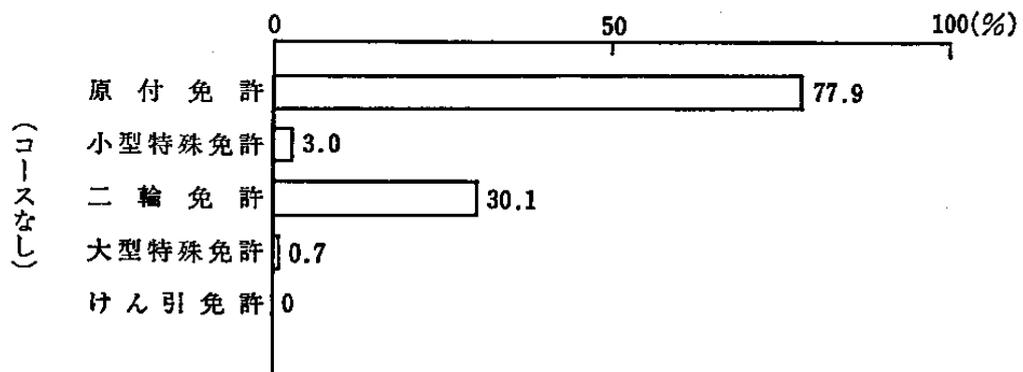
現在何等かの運転免許を持っているのは、3,989人中1,143人で28.7%である。

現有免許の種類は「原付免許」が多く、次いで「二輪免許」で、それぞれ82.9%と28.0%である。

現在何等かの運転免許を「持っている」と答えた人だけが記入してください。(1,143人)

問3-1 その免許の種類は？(持っている全部の免許に○印をつけてください。)





過去の取得免許の種類

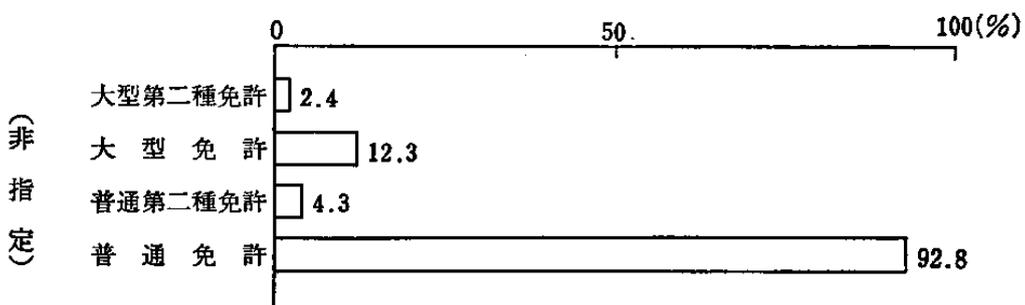
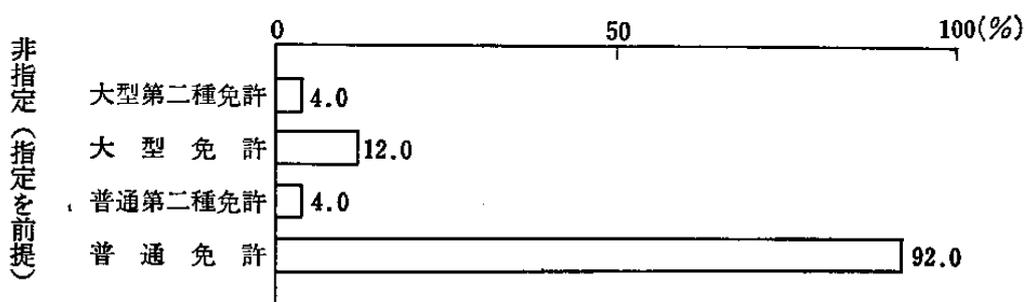
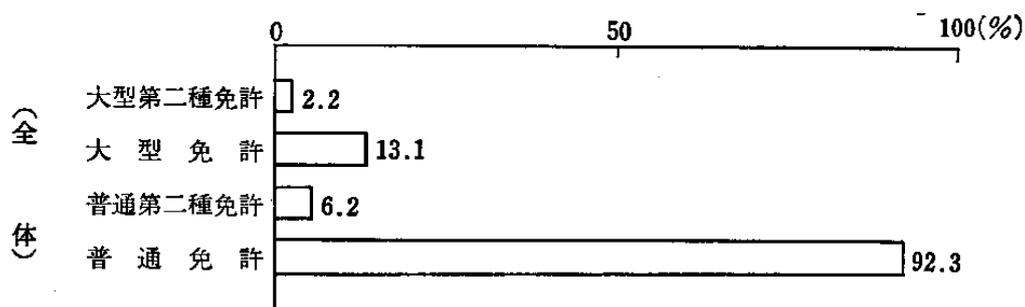
過去に普通自動車を運転できる免許を持っていたのは3,989人中686人で17.2%である。

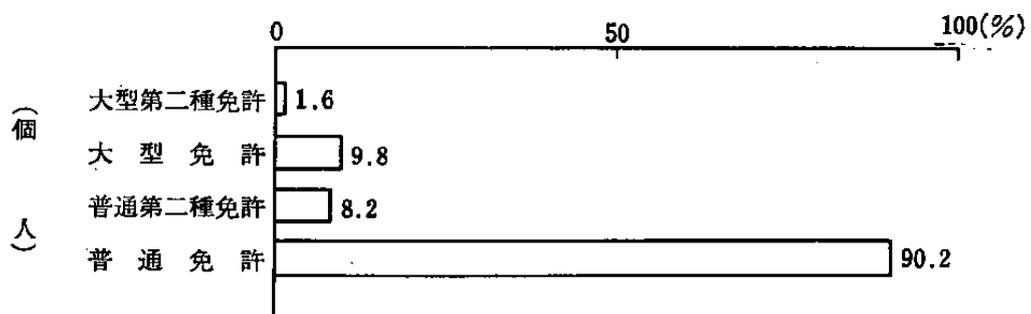
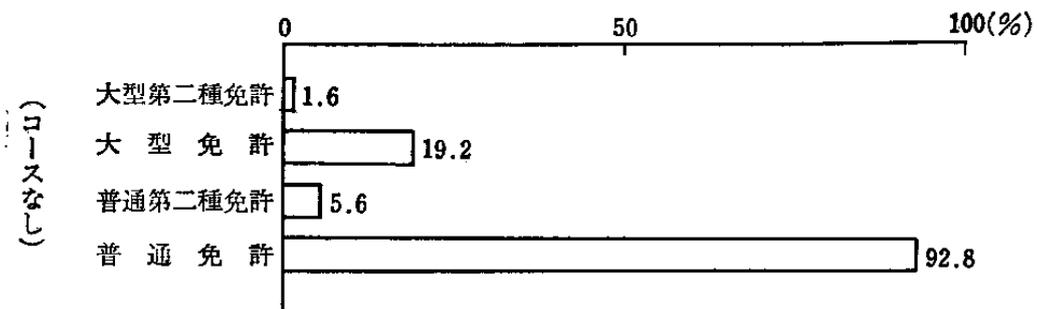
過去に持っていた免許の種類は、全体で普通免許が92.3%で、大型免許が13.1%である。

個人指導員に指導を受けた者には、普通第二種免許を持っていた者が8.2%と多い。

過去に普通自動車を運転することができる免許を持っていたことが「ある」と答えた人だけが記入してください。(686人)

問4-1 その免許の種類は？(持っていた全部の免許に○印をつけてください。)

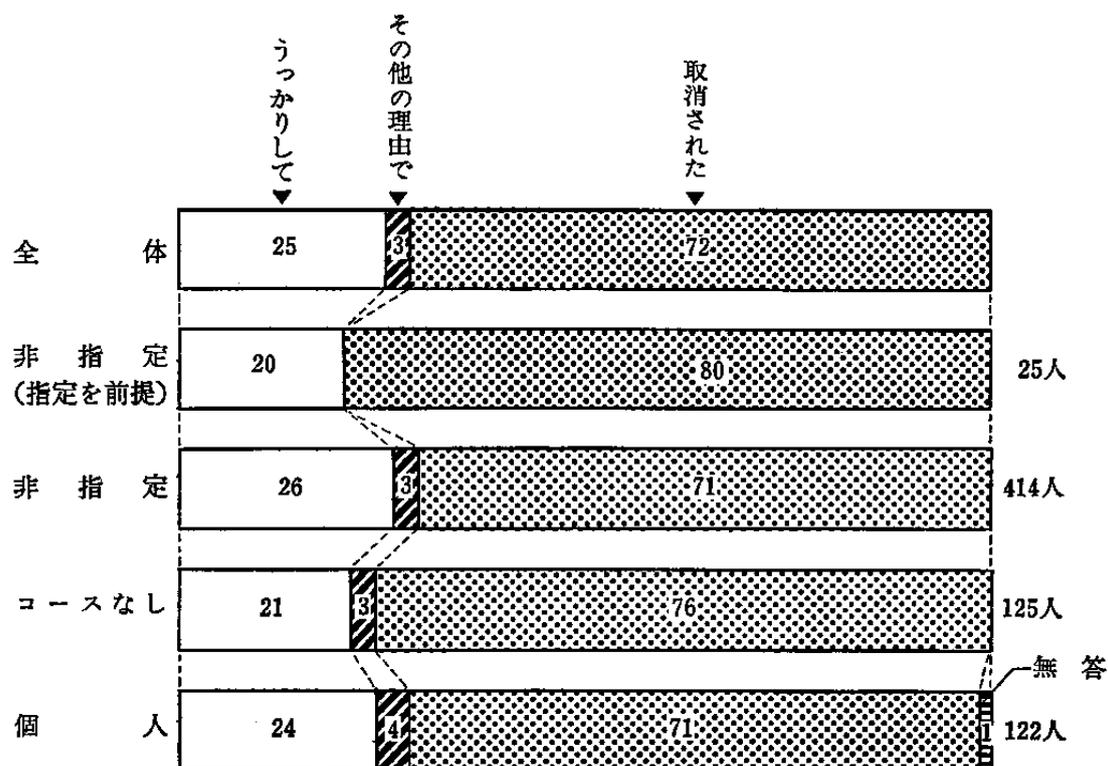




免許の失効理由

過去の免許の失効理由は全体では「取消された」が72%と多い。

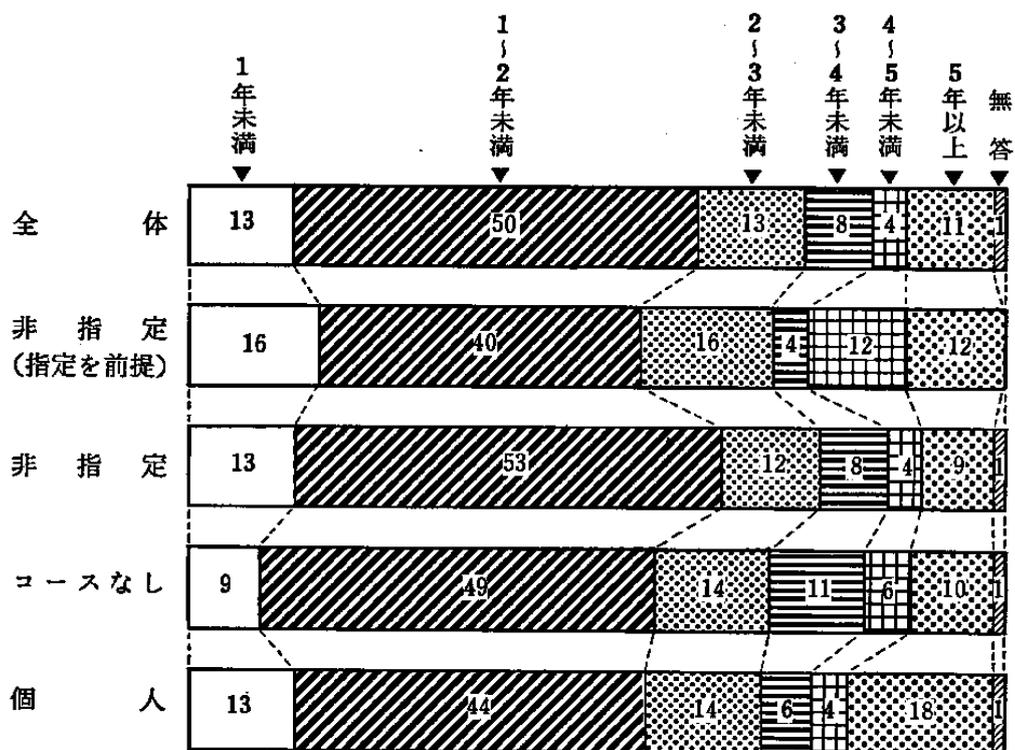
問4-2 その免許を失効させた理由は？



失効後再取得までの期間

過去の免許を失効してからアンケート時までの期間は「1年以上2年未満」が多く50%である。

問4-3 その免許が失効してから今日までの期間は？

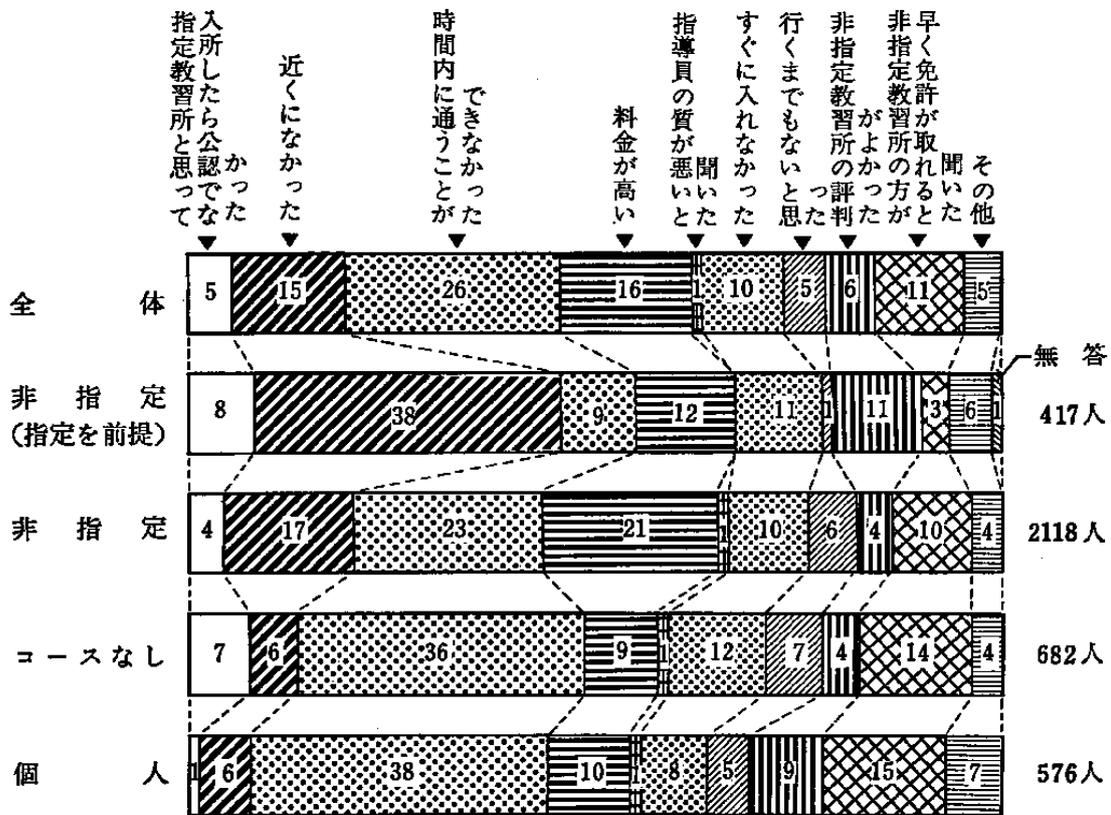


指定教習所に入所しなかった理由

指定教習所で指導を受けなかった者3,793人についてその理由を聞くと「時間内に通うことができなかった」と「近くになかった」がそれぞれ26%と15%である。「近くになかった」と答えた者は指定を前提としない教習所で指導を受けた者に多く38%である。「時間内に通うことができなかった」者は個人指導員やコースなしの教習所で指導を受けた者が多く、それぞれ38%と36%である。

今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために公安委員会公認の教習所で運転の指導を受けたことが「ない」と答えた人だけが記入してください。

問5-3 公認の教習所で指導を受けなかった主な理由は？（1つだけ○印をつけてください。）

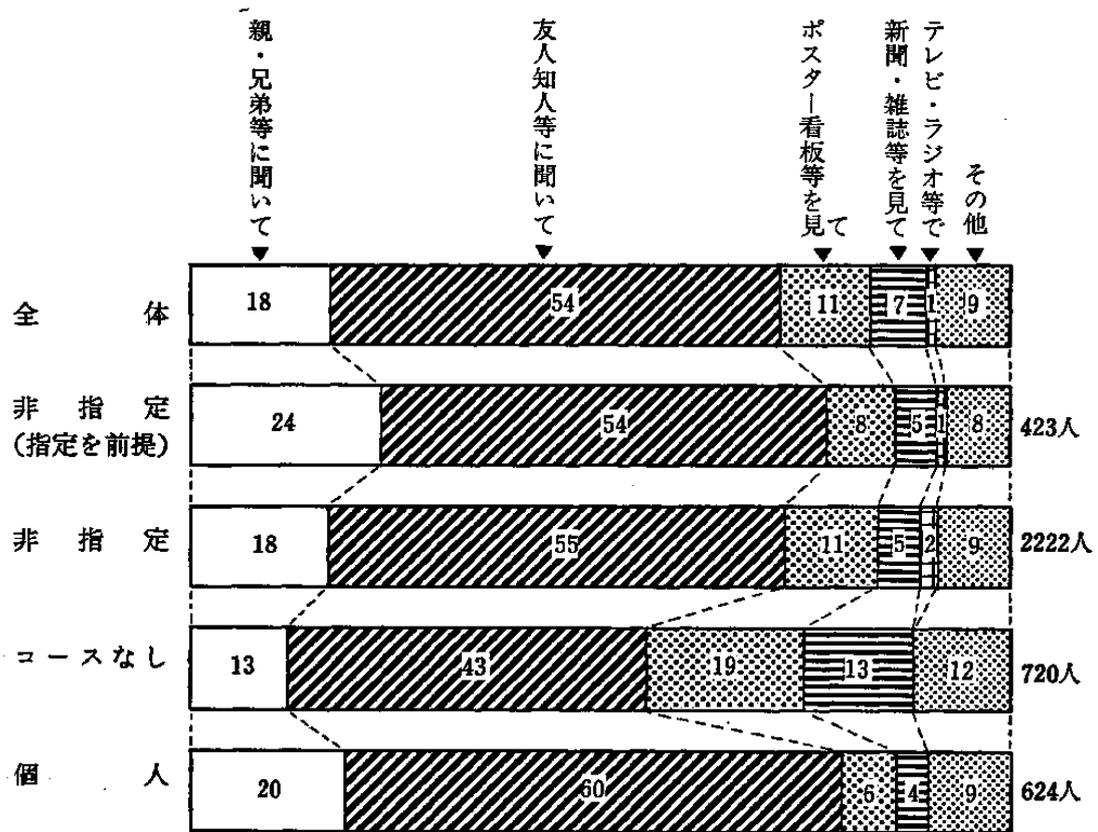


指導を受けた教習所の認知媒体

指導を受けた非指定の教習所または個人指導員を知ったのは「友人・知人等に聞いた」が全体では54%、個人指導員について指導を受けた者では60%と最も多い。

今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために、公安委員会から公認されていない教習所又は個人指導員から運転の指導を受けたことが「ある」と答えた人だけが記入してください。

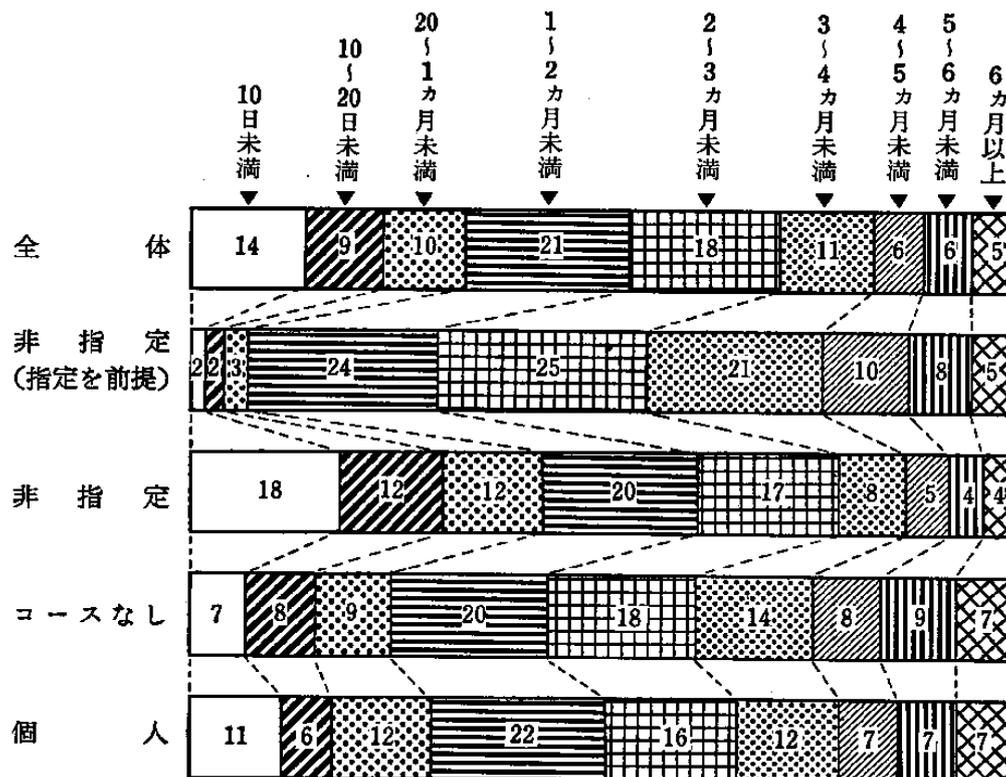
問6-2 あなたが指導を受けた教習所（個人指導員）を知ったのは？（1つだけ○印をつけてください）



指導を受けた期間

指導を受けた時期は、指定を前提とする教習所が最も厳しく、「2ヶ月未満」は31%である。非指定教習所は62%である。

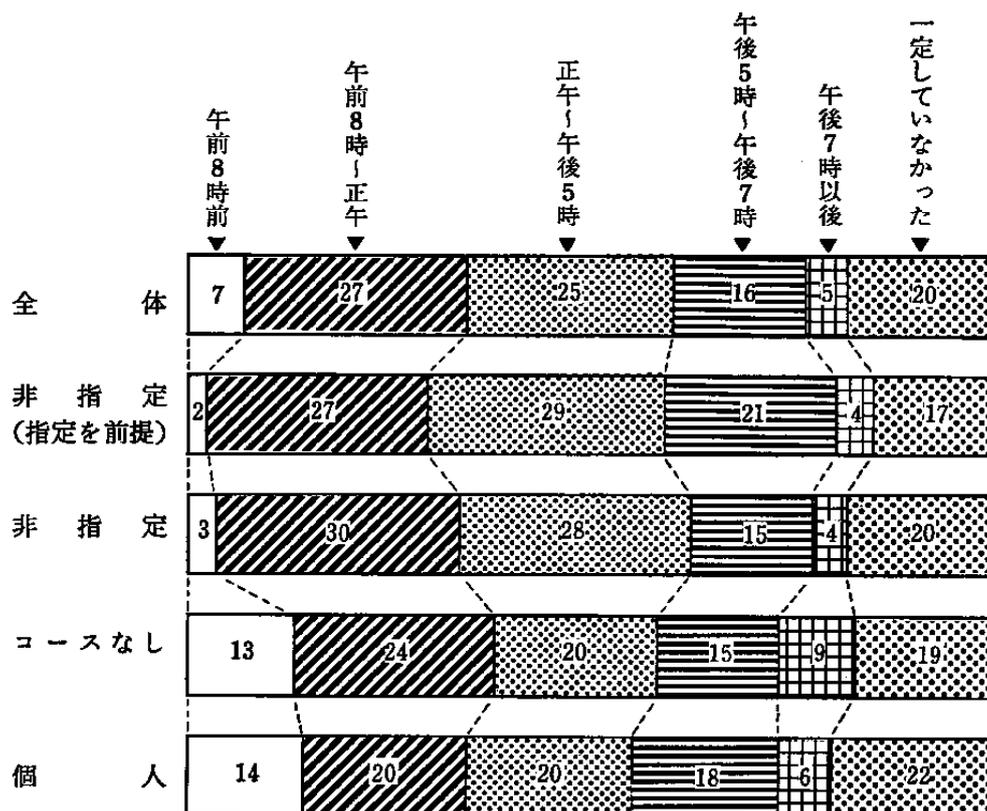
問6-4 指導を受けた期間は？（指導を受けはじめた日から受けなくなった日までの期間）



指導を受けた時間帯

指導を受けた主な時間帯は、全体では「午前8時～正午」が27%、「正午～午後5時」が25%である。「午前8時前」は、個人指導員とコースなし教習所で指導を受けた者に多く、それぞれ14%と13%である。

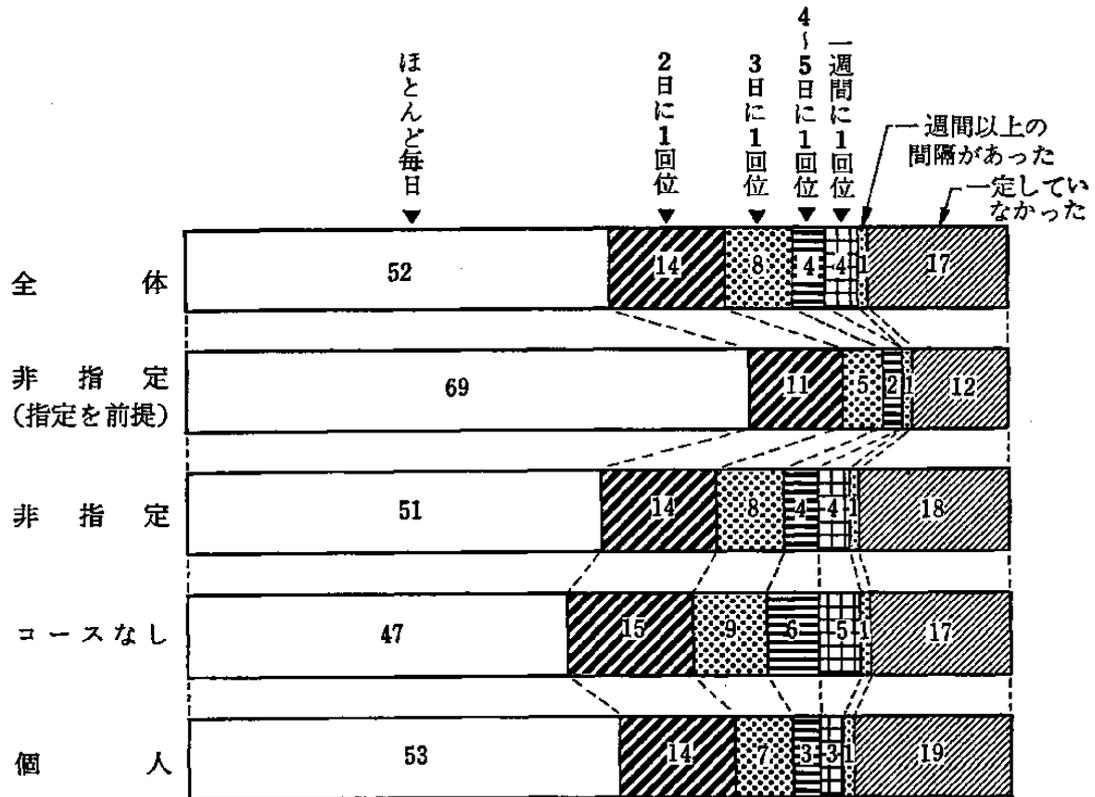
問6-5 指導を受けた主な時間帯は？（1つだけ○印をつけてください。）



指導を受けた間隔

指導を受けた間隔は、全体では「ほとんど毎日」が最も多く52%である。指定を前提とする教習所で指導を受けた者では69%である。

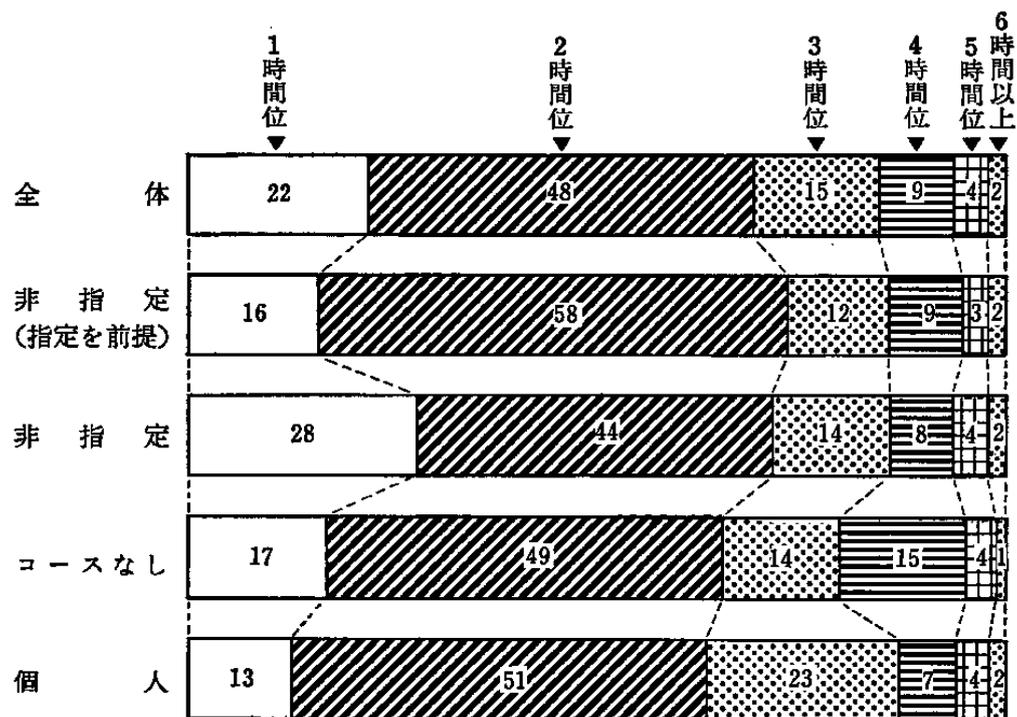
問6-6 指導を受けた間隔は？（1つだけ○印をつけてください。）



指導を受けた1日の最大時間

1日でもっとも多く指導を受けた時間数は、全体では「2時間位」が最も多く48%である。
非指定教習所は「1時間位」が28%もある。

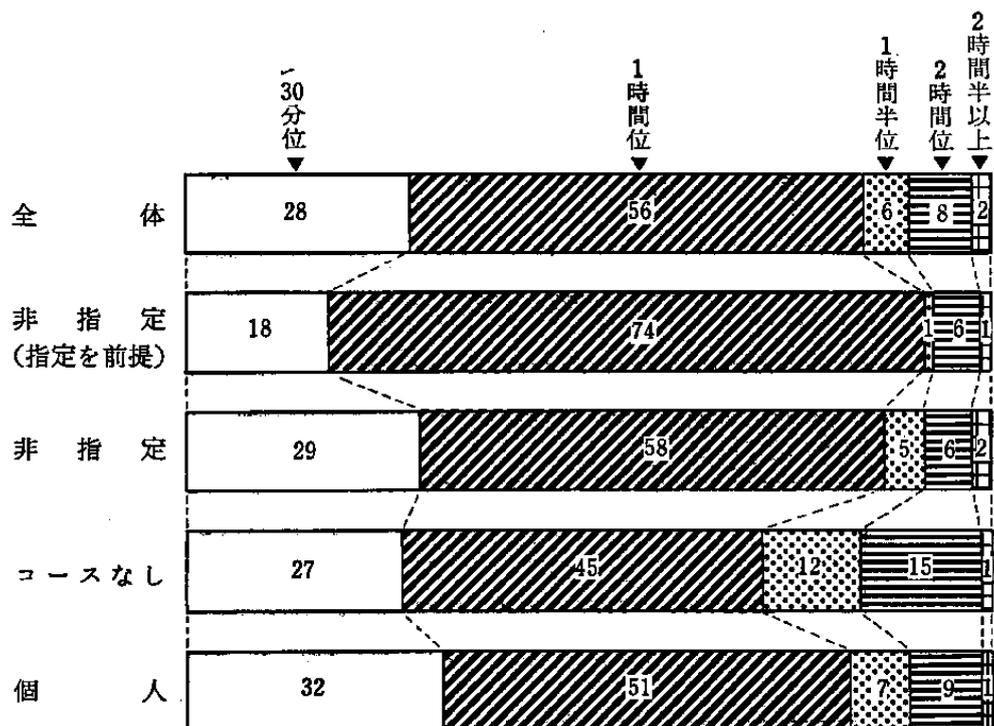
問6-7 1日でもっとも多く指導を受けたときの時間数は？



指導を受けた1日の最少時間

1日で一番少なかったときの時間数は、全体では「1時間位」が最も多く56%である。
 指定を前提とする非指定教習所で指導を受けた者は「1時間位」がさらに多く74%である。

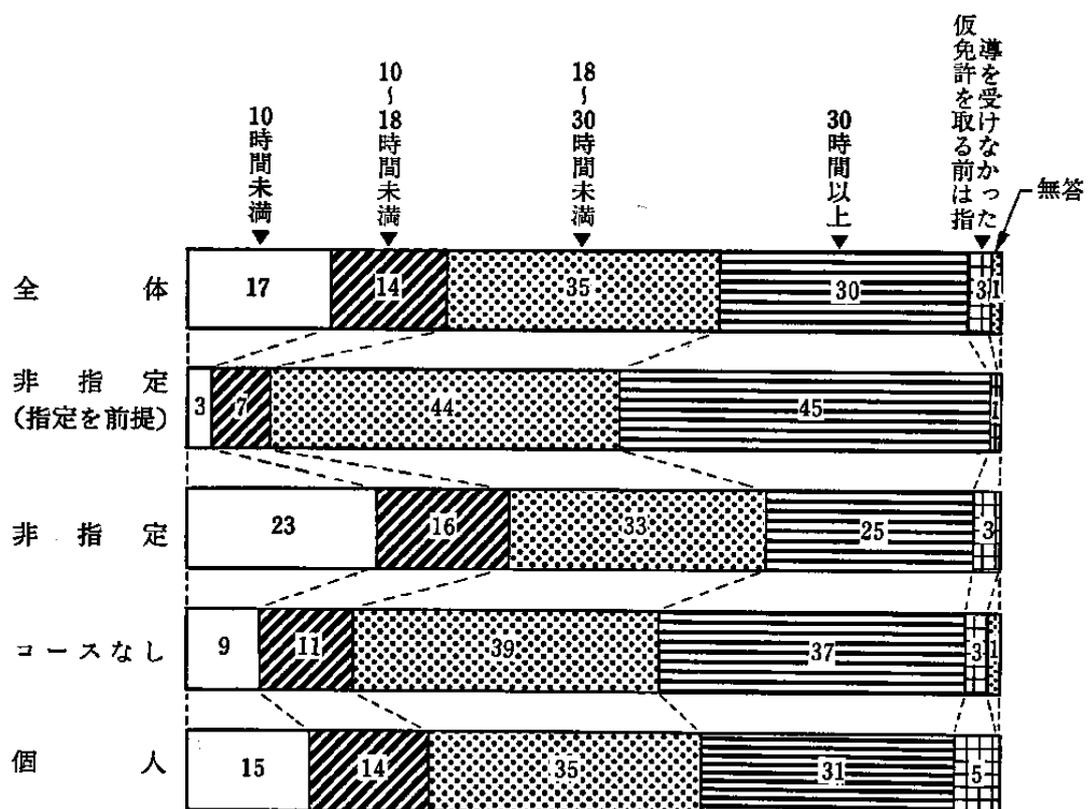
問6-8 1日で一番少なかったときの時間数は？



仮免許取得までに指導を受けた時間数

仮免許を取るまでに指導を受けた時間数は全体では「18～30時間」が35%である。「18時間未満」で比較すると、非指定教習所で指導を受けた者は39%である。

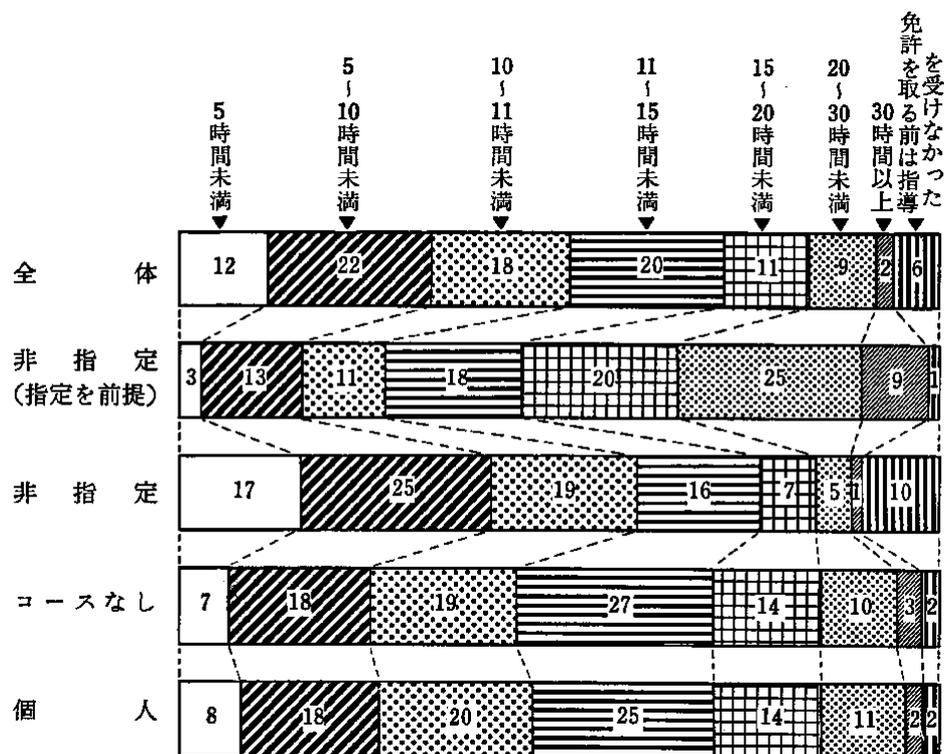
問6-9 仮免許を取るまでに公認されていない教習所又は個人指導員から指導を受けた時間数は？



仮免許取得後指導を受けた時間数

仮免許を取った後に指導を受けた時間数は全体で「5～10時間」が最も多く22%である。「11時間未満」で比較すると、非指定教習所は61%と多い。

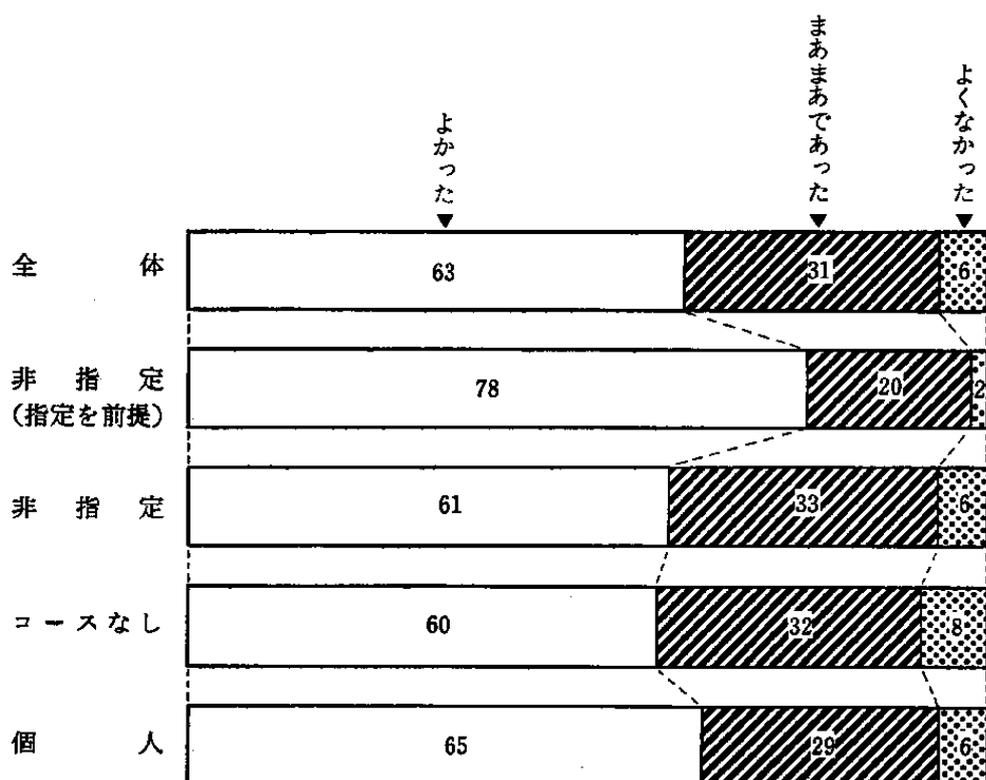
問6-10 仮免許を取った後に公認されていない教習所又は個人指導員から指導を受けた時間数は？



指導員の教え方

指導員の教え方は、全体では「よかった」が63傷であり、「まあまあであった」を加えると94%である。指定を前提とした教習所で指導を受けた者は、特に不満が少なく「よくなかった」と答えたのは2%である。

問6-11 指導員の教え方は？

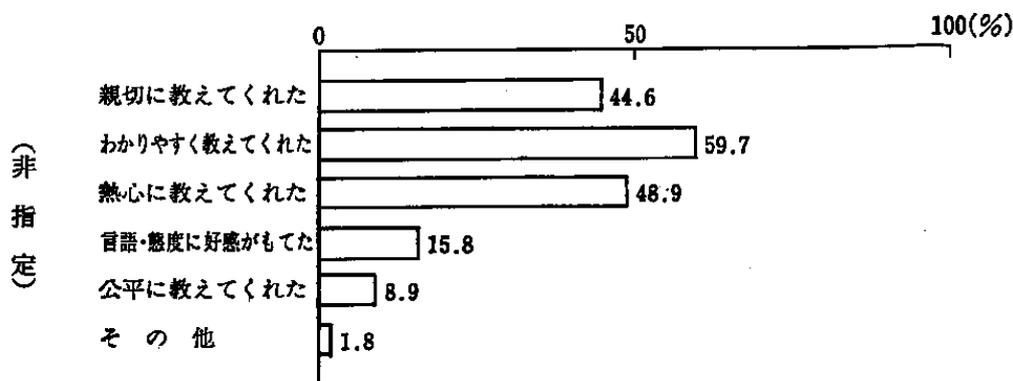
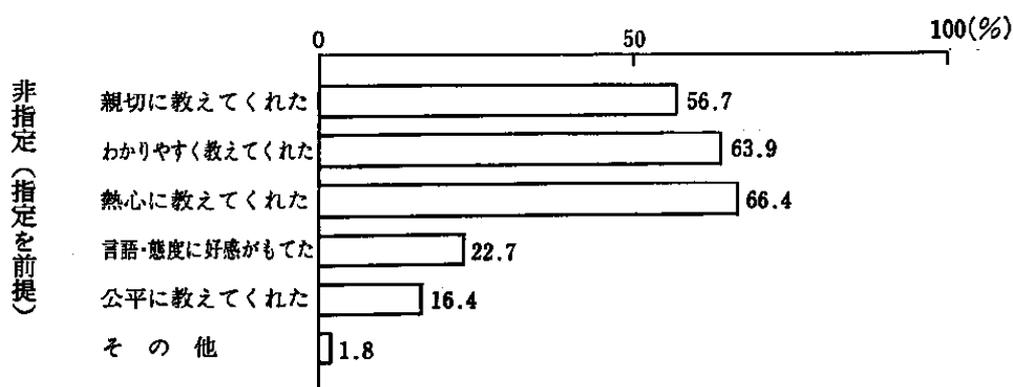
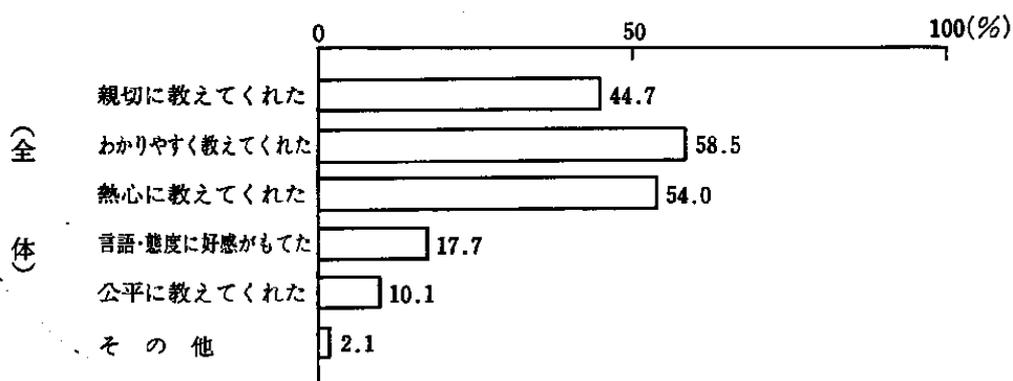


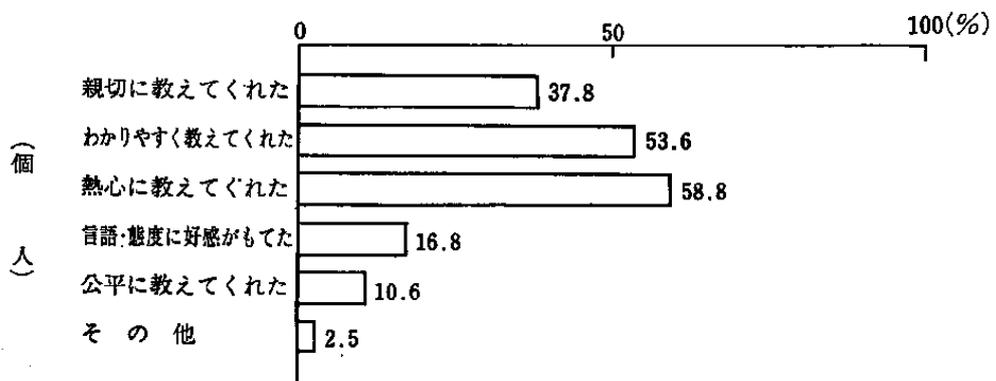
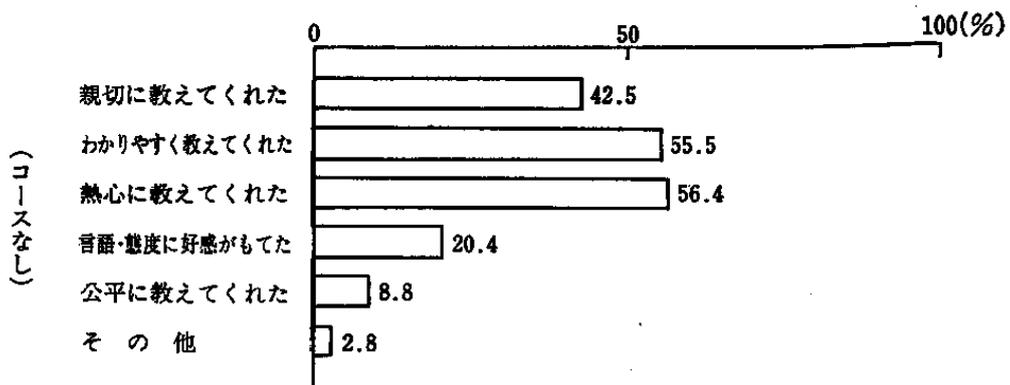
指導員の教え方のよかった理由

指導員の教え方が「よかった」と答えた者についてその理由を構成率でみると、指定を前提とした教習所で指導を受けた者では「熱心に教えてくれた」が66.4%、「わかりやすく教えてくれた」が63.9%、「親切に教えてくれた」が56.7%と他の教習所種別と比較すると多い。

指導員の教え方が「よかった」と答えた人だけが記入してください。(2,525人)

問6-11-1 その理由は？(あてはまるものいくつかでも○印をつけてください。)

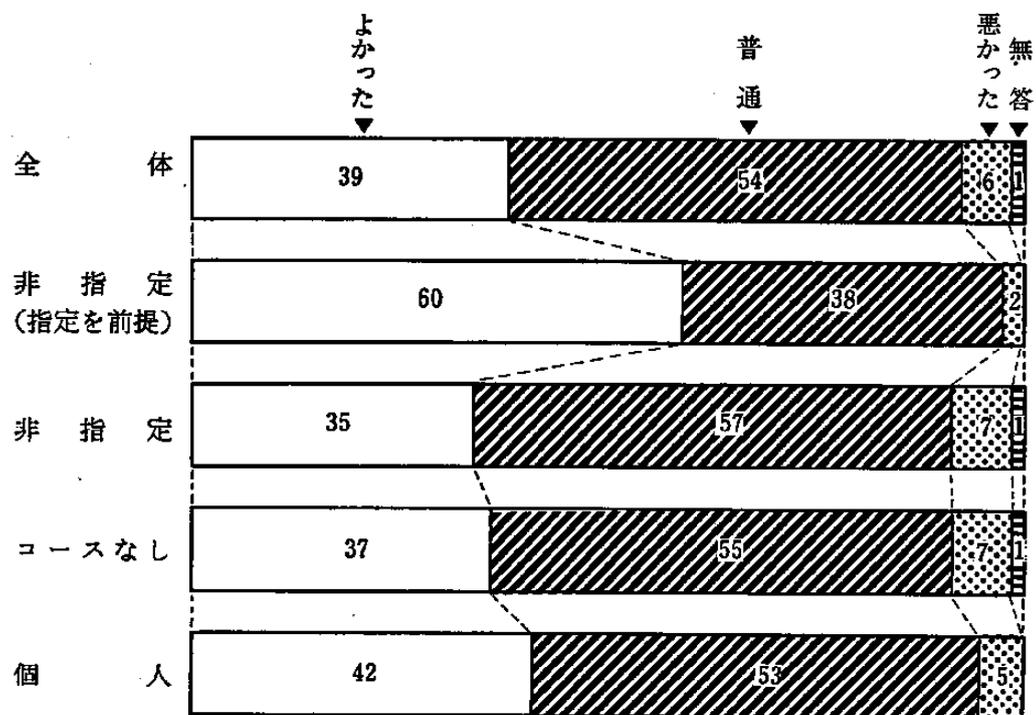




教習車両の整備状況

教習車両の整備状況では、指定を前提とする教習で指導を受けた者の60%がよかったと答えている。

問6-12 教習車両の整備状況は？ (3,989人)

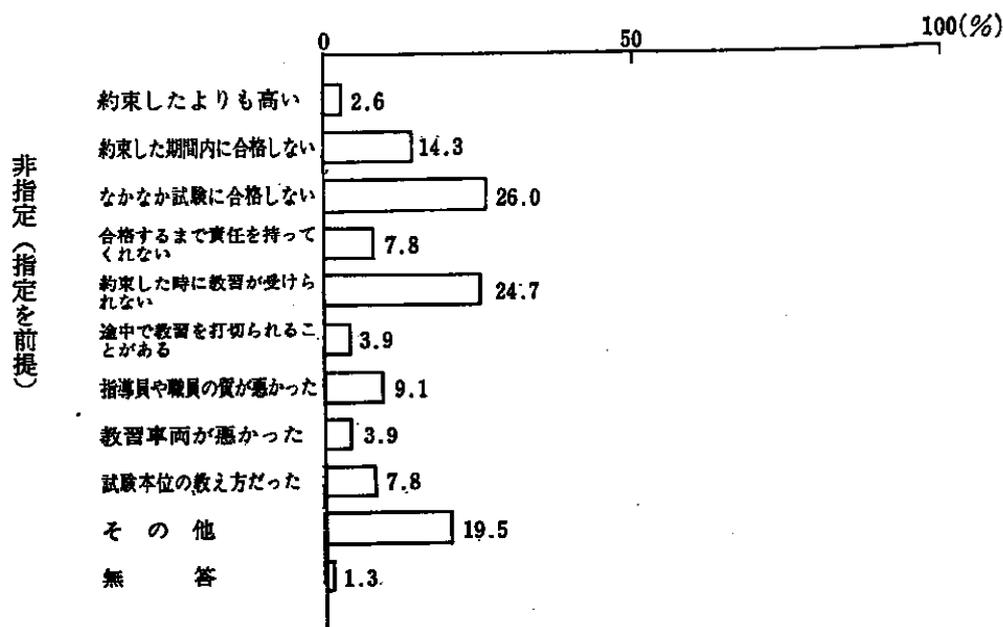
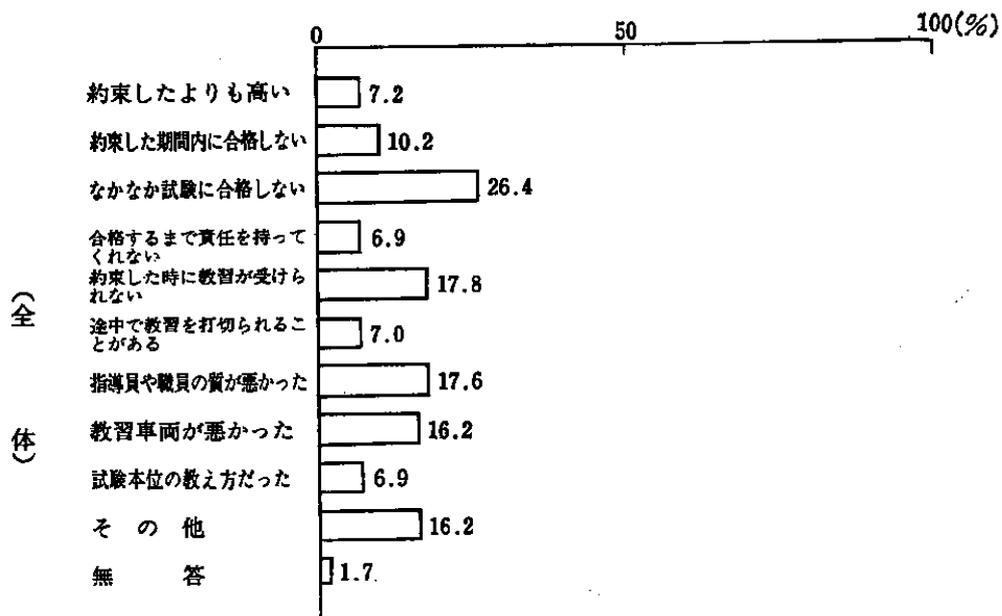


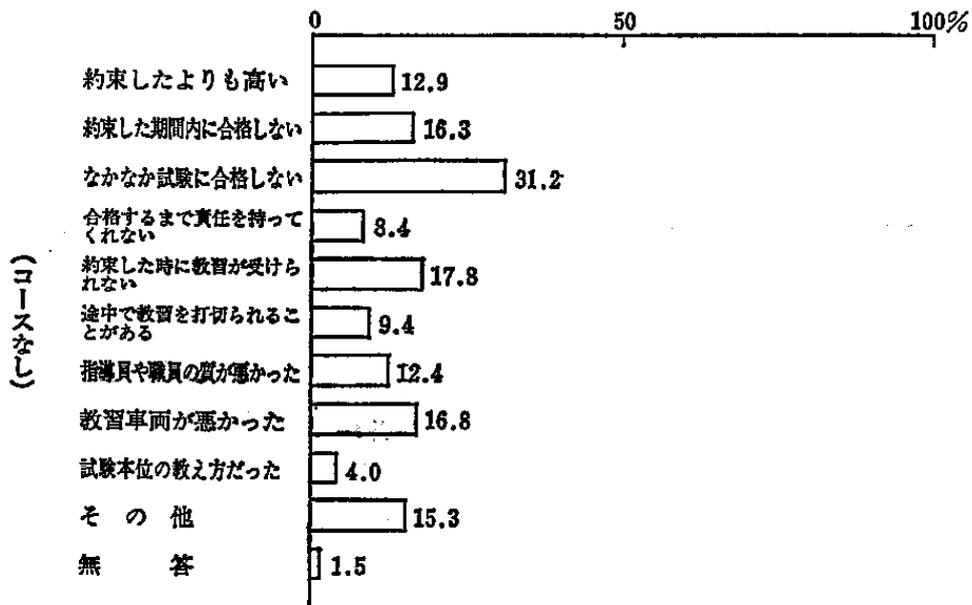
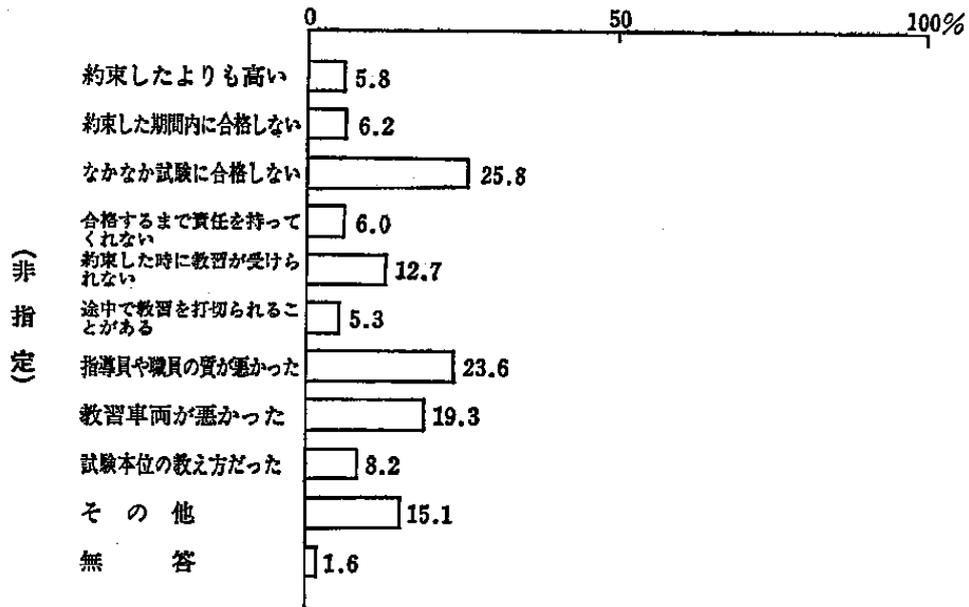
非指定教習所に対する不満

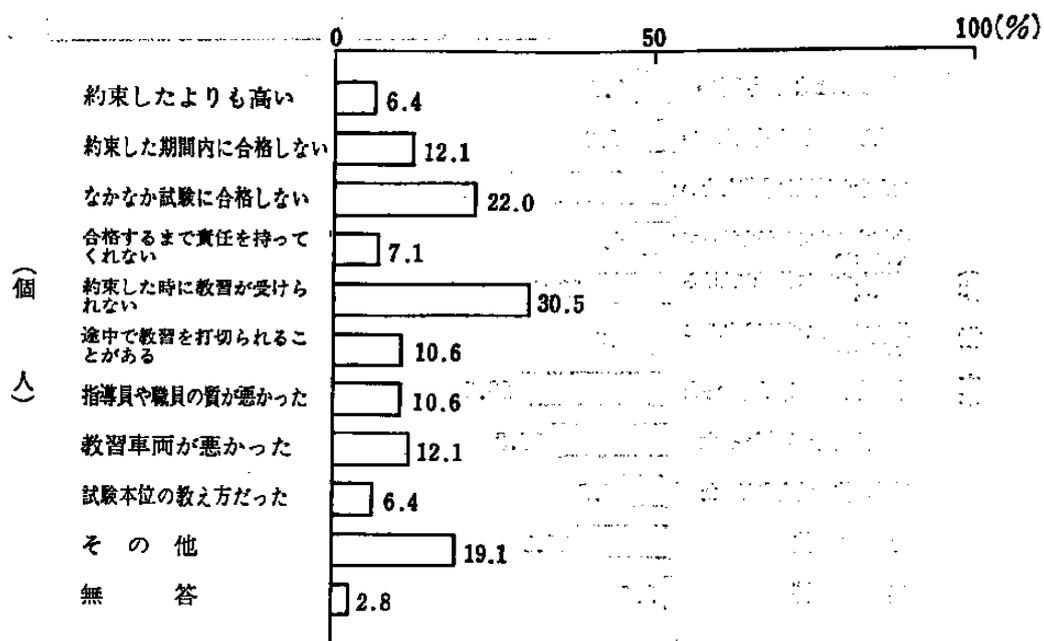
教習所又は個人指導員に不満を持っていると答えた者について、その理由をみると、「なかなか試験に合格しない」と答えたのが、コースを有しない教習所と個人指導員に指導を受けた者に多く、それぞれ31.2%と30.5%である。

指導を受けた教習所又は個人指導員に対し、不満を持ったことが「ある」と答えた人だけが記入してください。(870人)

問6-13-1 その理由は？(あてはまるものいくつかでも○印をつけてください。)



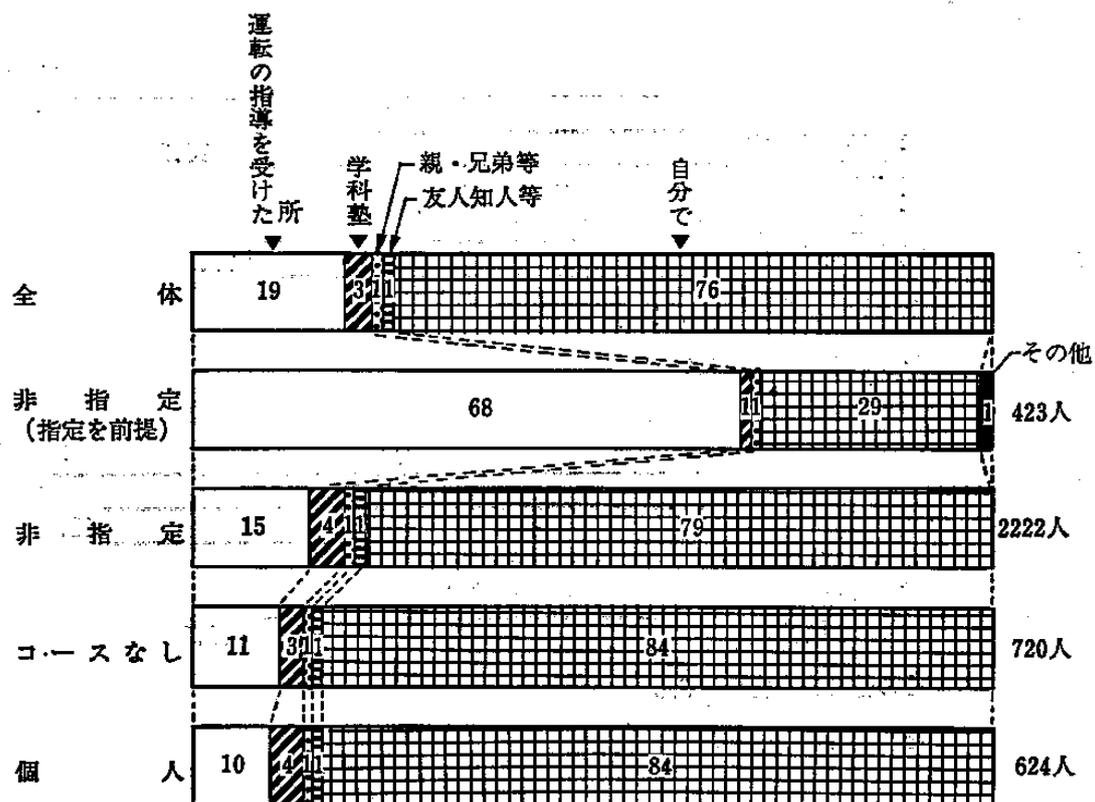




学科の勉強方法

学科の勉強は、指定を前提とする教習所では「運転の指導を受けた所」で勉強をした者が多く68%である。その他の教習所では約80%が「自分で」と答えている。

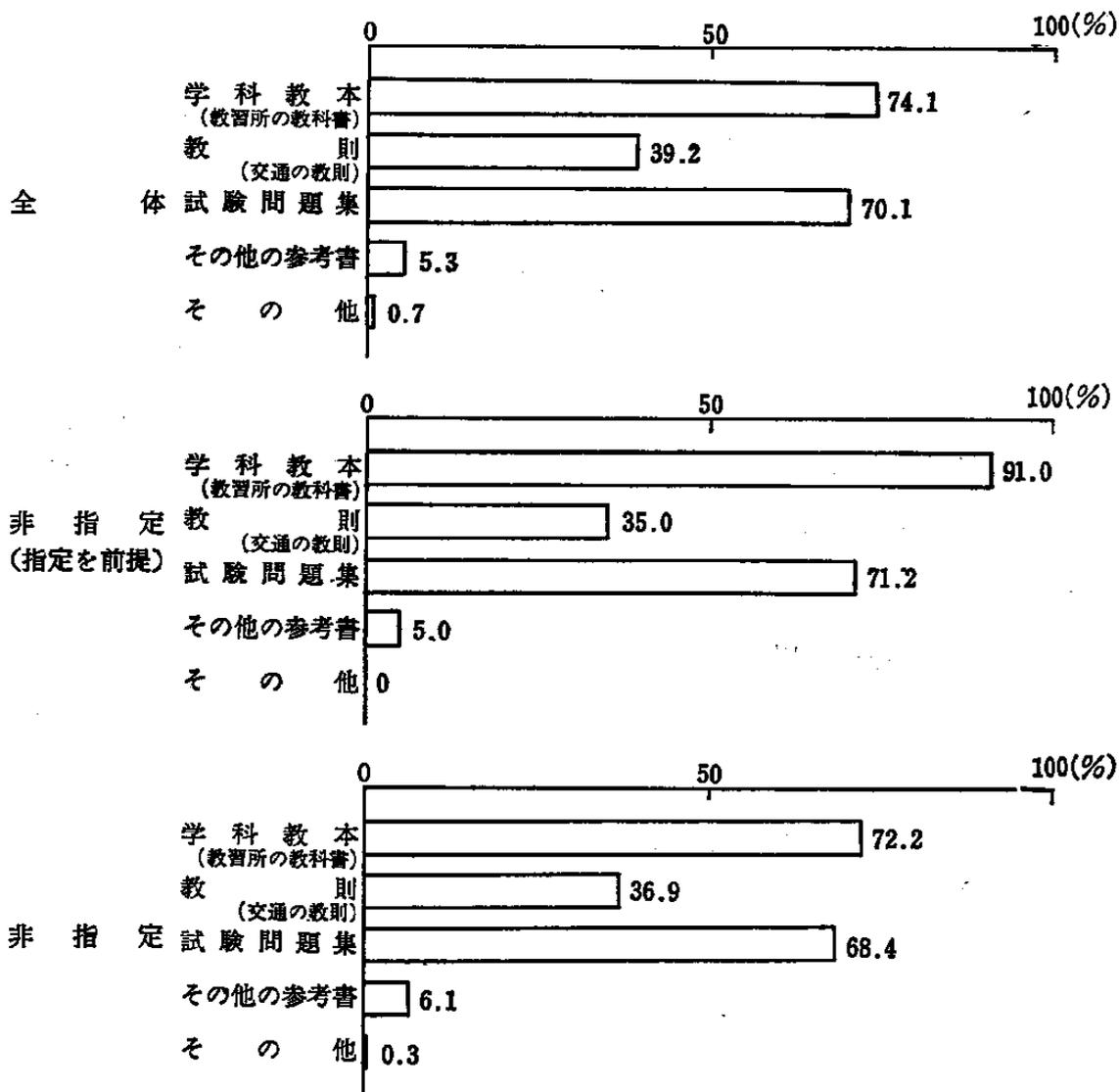
問8 学科の勉強は主としてどのような方法でしましたか。（1つだけ○印をつけてください）

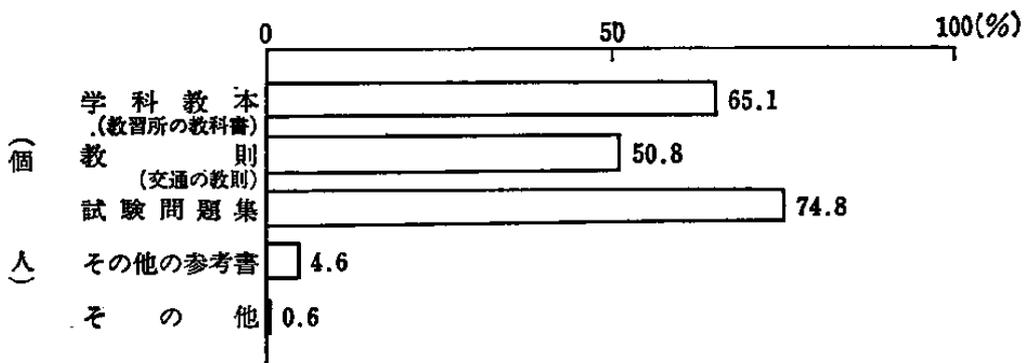
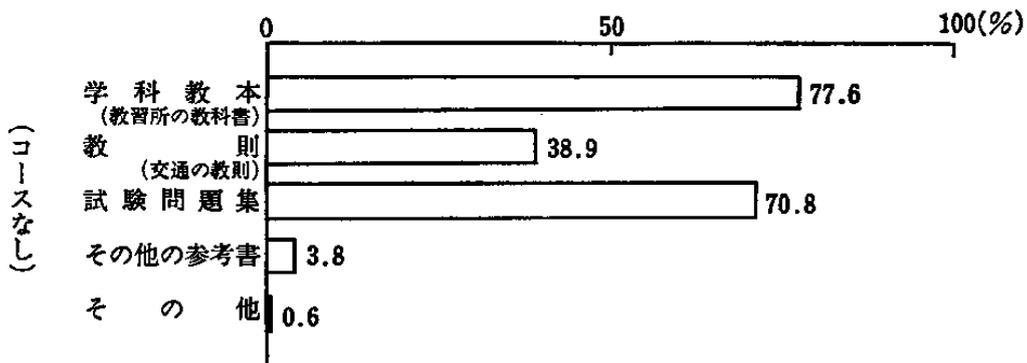


学科試験のための参考書

学科の勉強に使った参考書は「学科教本」が多いが、特に指定を前提とする教習所では91%と多い。

問9 学科の勉強に使った参考書は、次のうちのどれですか（あてはまるものに、いくつでも○印をつけてください）。

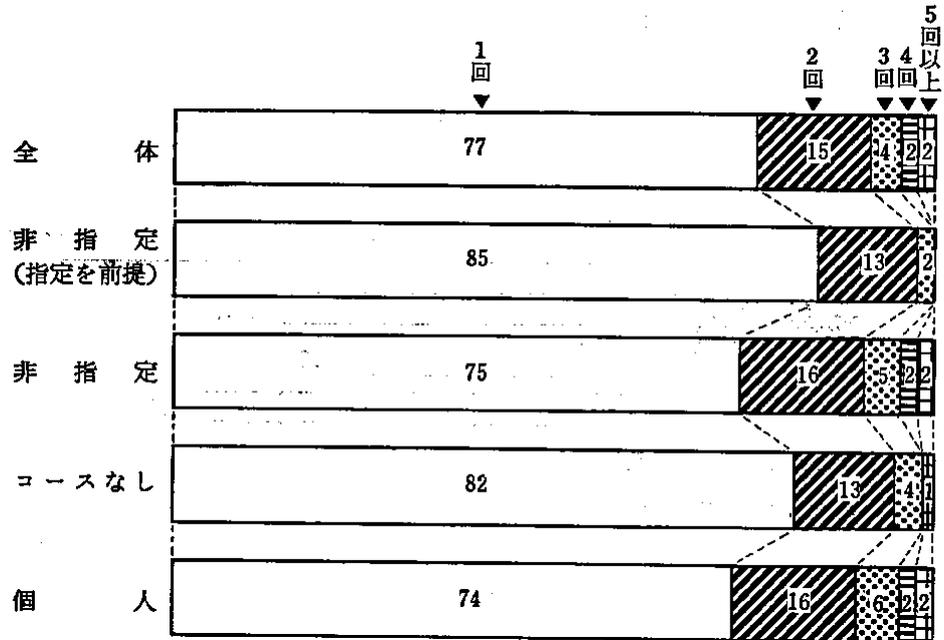




仮免許学科試験の受験回数

仮免許の学科試験の受験回数は、指定を前提とする教習所で指導を受けた者は「1回」が85%と多い。

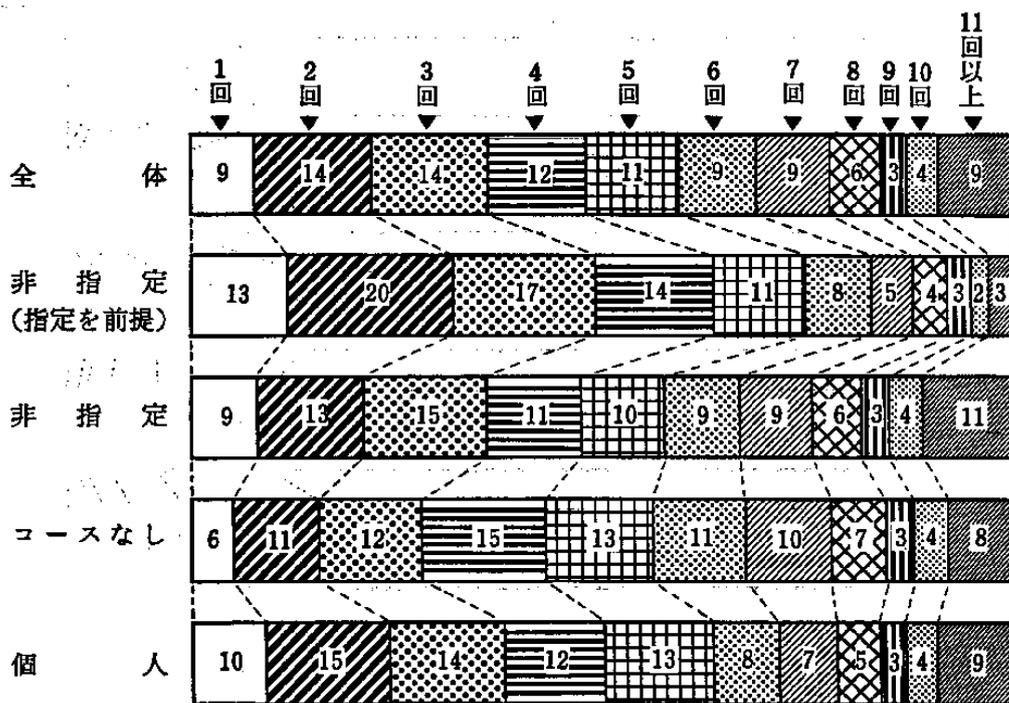
問10 仮免許の学科試験に合格するまでの受験回数は？



仮免許技能試験の受験回数

仮免許の技能試験受験回数は、指定を前提とする非指定教習所で指導を受けた者の50%が3回で合格している。他は30~40%である。

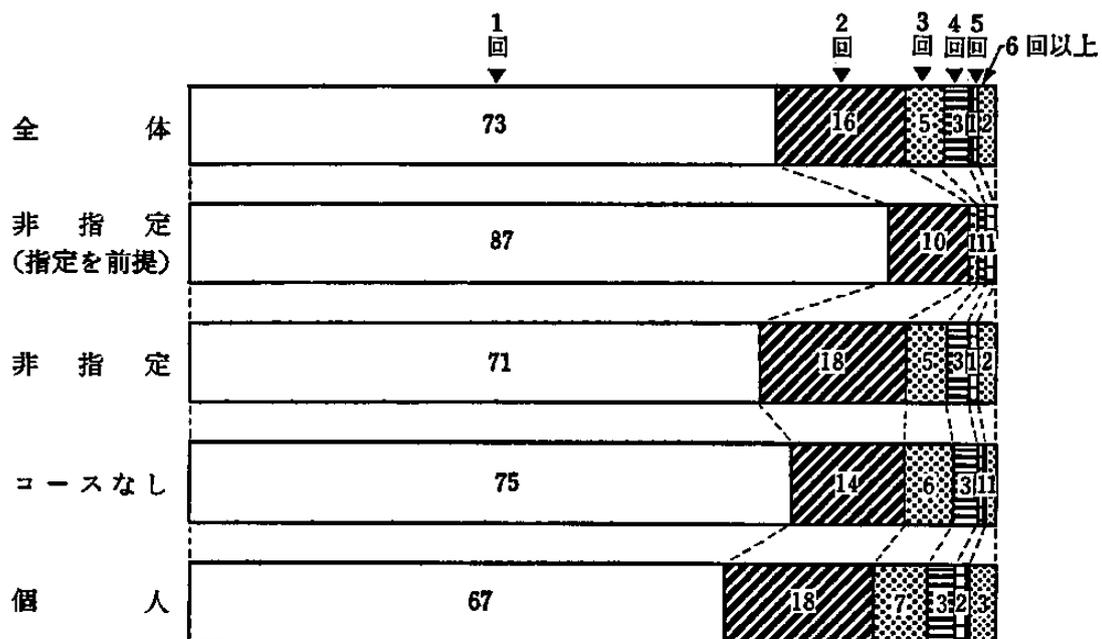
問11 仮免許の技能試験に合格するまでの受験回数は（公認の教習所で修了検定を受けた人はその回数）



本免許学科試験の受験回数

本免許の学科試験受験回数は、指定を前提とする教習所で指導を受けた者の87%が「1回」であり、他の教習所は70%前後である。

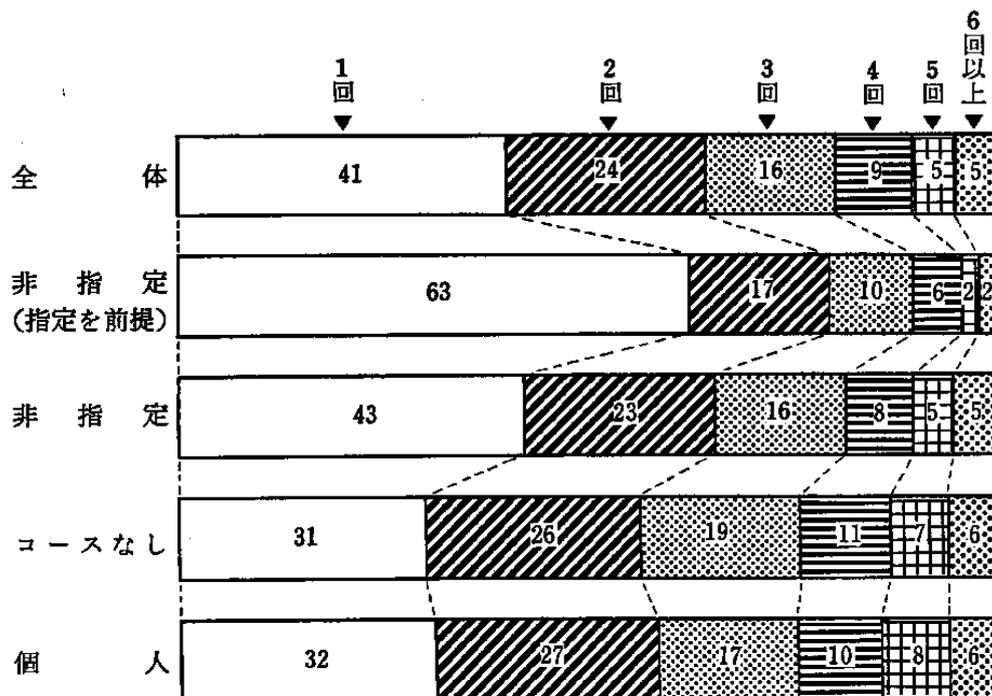
問12 本免許の学科試験に合格するまでの受験回数は？



本免許技能試験の受験回難

本免許の技能試験受験回数は、指定を前提とする教習所で指導を受けた者の63%が「1回」であり、コースを有しない教習所と個人指導員に指導を受けた者は約30%である。

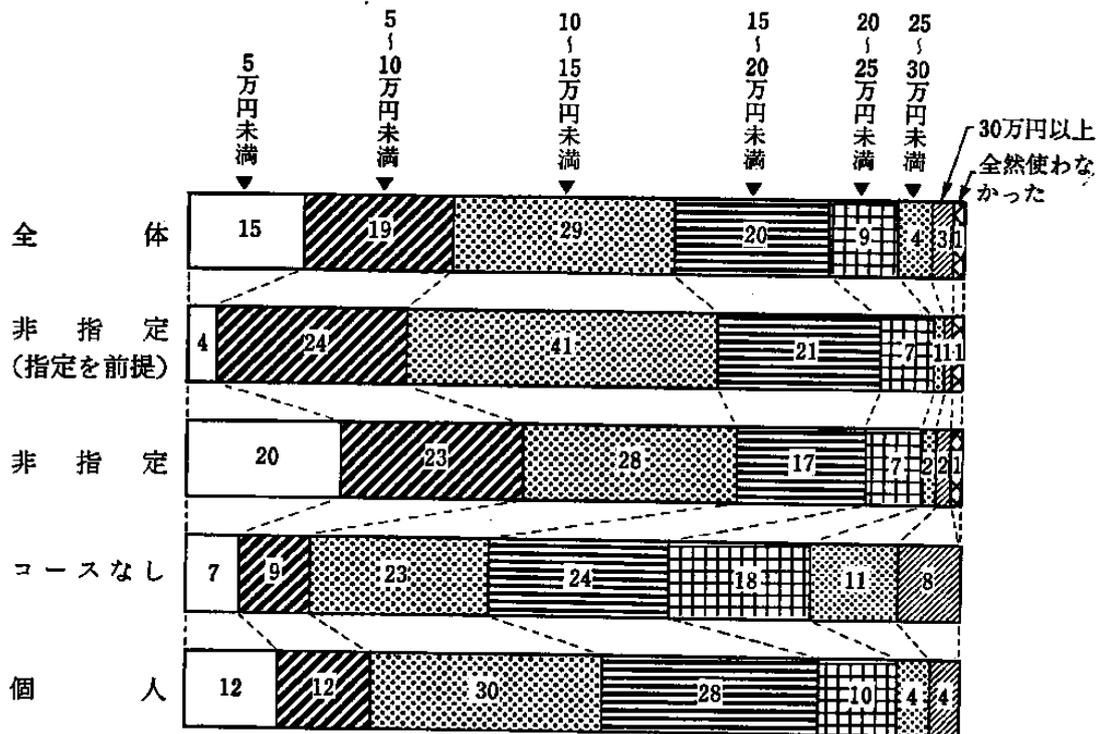
問13 本免許の技能試験に合格するまでの受験回数は？



免許取得に要した費用

免許取得に使用した費用を15万円未満の者について比べると、非指定教習所と指定を前提とした教習所に指導を受けたのが、それぞれ71%と69%、個人指導員とコースを有しない教習所に指導を受けたのが、それぞれ39%である。

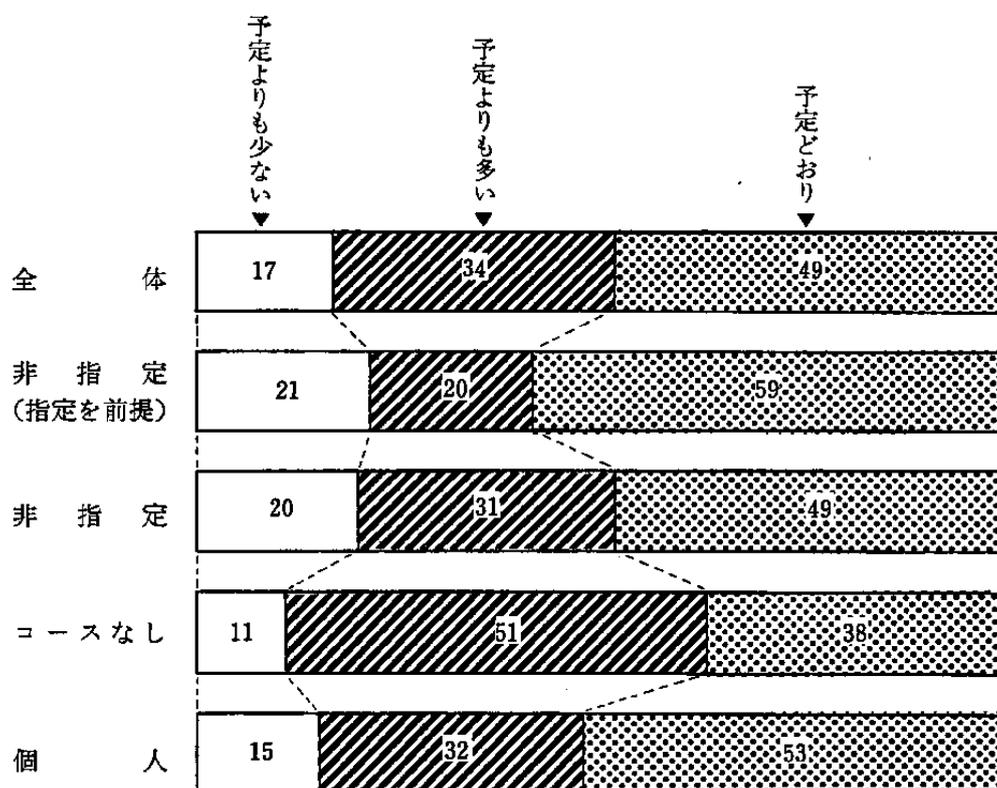
問14 あなたが、今日までに使った費用はどれ位ですか（交通費、試験手数料等は除く）



頭初予定額との違い

免許取得に費した金額が最初の「予定よりも多い」と答えたのは、コースを有しない教習所で指導を受けた者が最も多く51%である。

問15 その金額は最初の予定とくらべてどうですか。



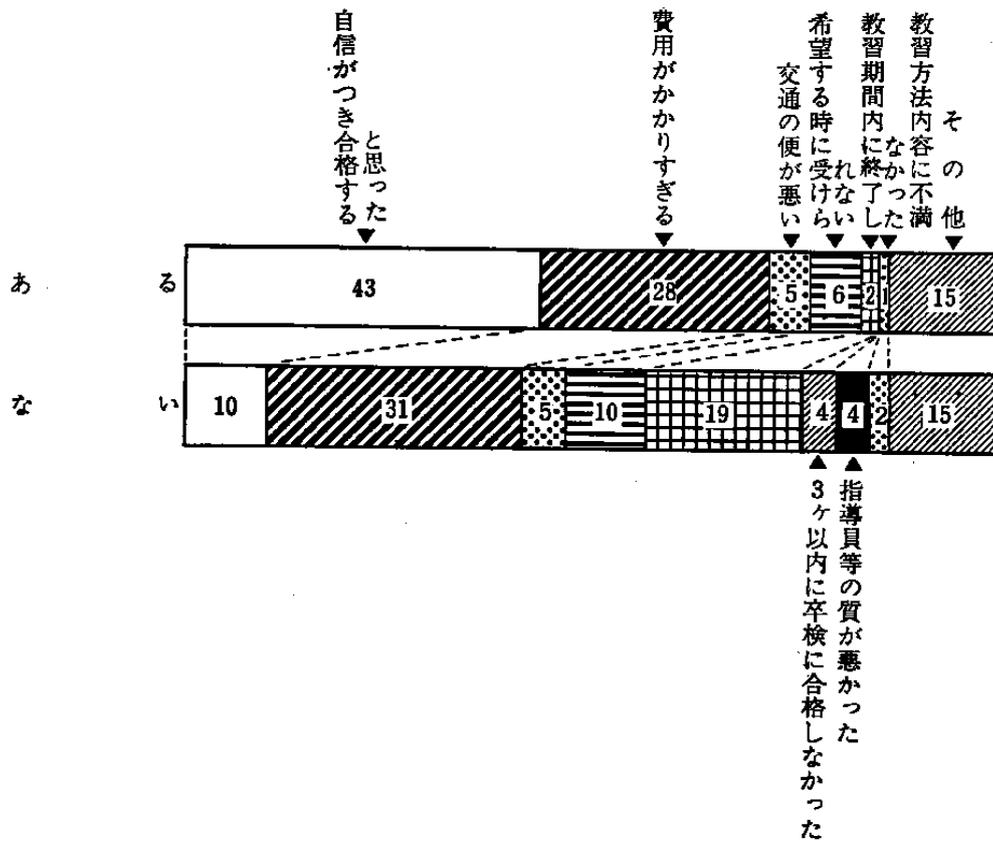
4-5 調査結果のクロス集計

本節では男性について、設問間でクロス集計を行ったものについて述べる。

過去の取得免許の有無と指定教習所を卒業しなかった理由

過去に普通車を運転できる免許を持っていて、今回指定教習所を途中で退所した者の主な理由は「自信が付き合格すると思った」が43%で、次に「費用がかかりすぎる」が28%である。免許を持っていなかった者の主な理由は「費用がかかりすぎる」が31%、「教習期間内に終了しなかった」が19%である。

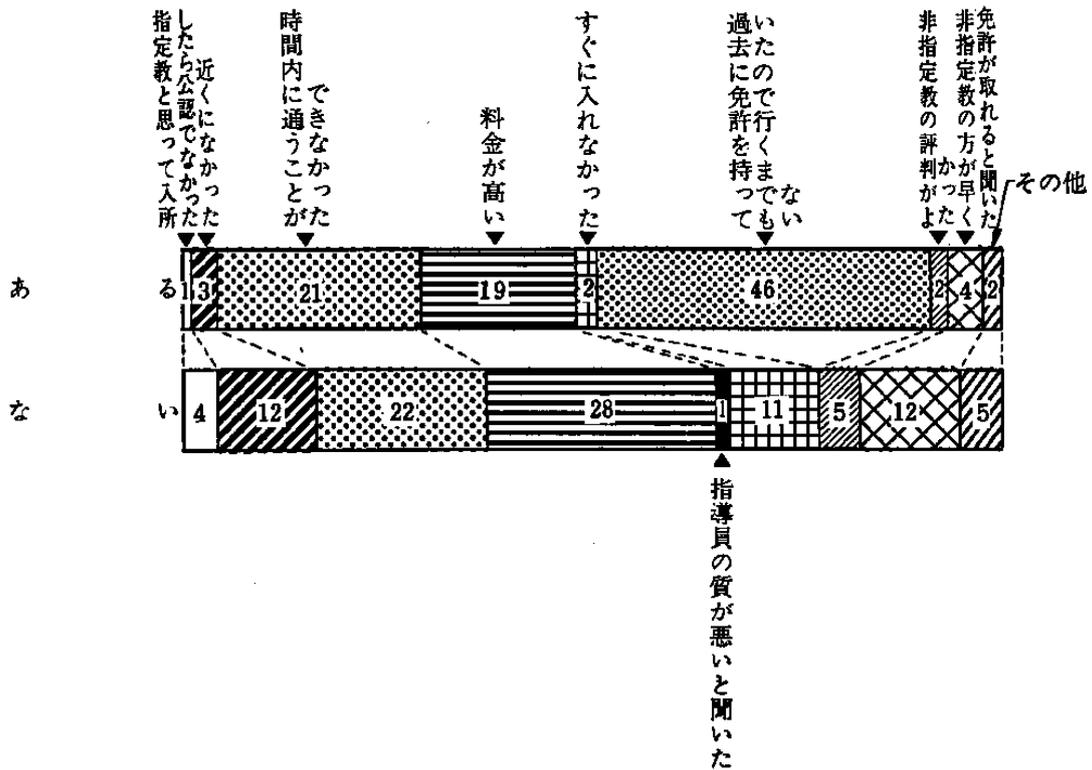
図4-2 過去に普通車を運転できる免許の取得有無と指定教習所を卒業しなかった理由（男）



過去の取得免許の有無と指定教習所に入所しなかった理由

過去に普通車を運転できる免許を持っていて、今回、指定教習所に入所しなかった者の入所しない理由は主として「過去に免許を持っていたので行くまでもないと思った」が46%、「時間内に通うことができなかった」が21%、「料金が高い」が19%である。免許を持っていなかった者の入所しない理由の主なものは「料金が高い」が28%、「期間内に通うことができなかった」が22%である。

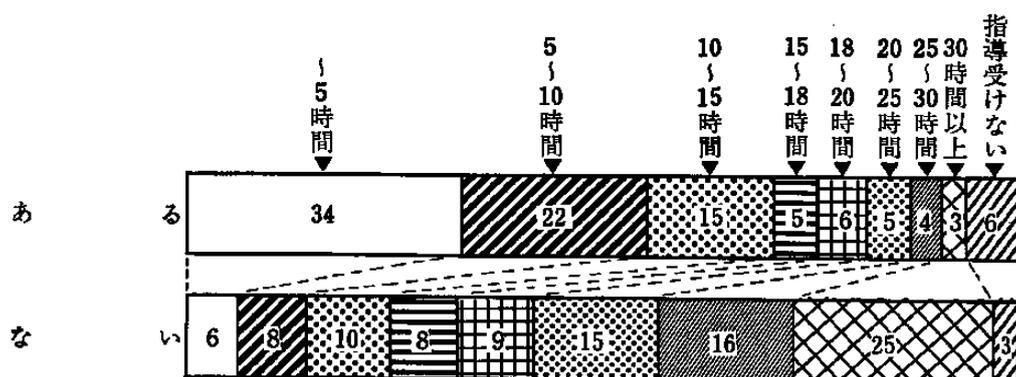
図4-3 過去に普通車を運転できる免許の取得有無と指定教習所に入所しなかった理由（男）



過去の取得免許の有無と仮免許取得までの技能教習時間

過去に普通車を運転できる免許を持っていた者の非指定教習所での仮免許取得までに受けた技能教習時間数は「5時間以内」が34%、「5～10時間」が22%で、56%の人が10時間以内である。免許を持っていなかった者の教習時間は「5時間以内」は6%、「5～10時間」は8%で、56%の人が25時間以内である。

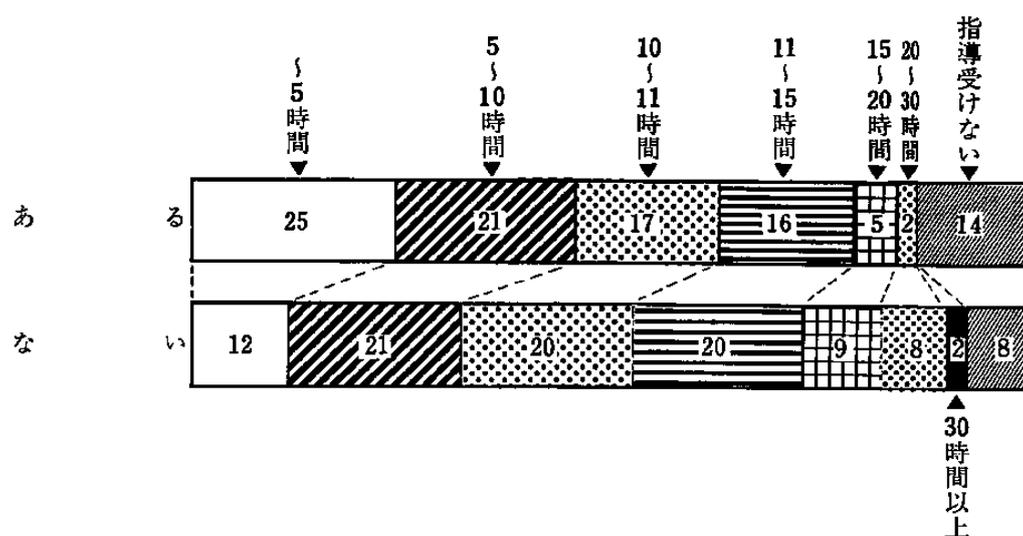
図4-4 過去に普通車を運転できる免許の取得有無と非指定教習所での仮免許取得までに受けた技能教習時間（男）



過去の取得免許の有無と仮免許取得後の技能教習時間

過去に普通車を運転できる免許を持っていた者の非指定教習所での仮免許取得後の技能教習時間数は「5時間以内」が25%、「5～10時間」が21%で、46%の人が10時間以内である。免許を持っていなかった者の教習時間は「5時間以内」が12%、「5～10時間」が21%で、10時間以内は33%である。

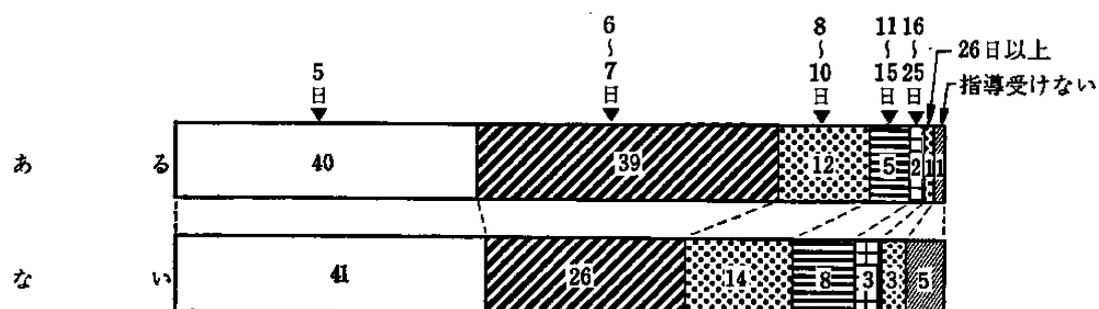
図4-5 過去に普通車を運転できる免許の取得有無と仮免許取得後非指定教習所での技能教習時間（男）



過去の取得免許の有無と路上指導の日数

過去に普通車を運転できる免許を持っていた者の親兄弟・友人等による路上指導の日数は「7日以内」が79%である。免許を持っていなかった者の「7日以内」は67%である。

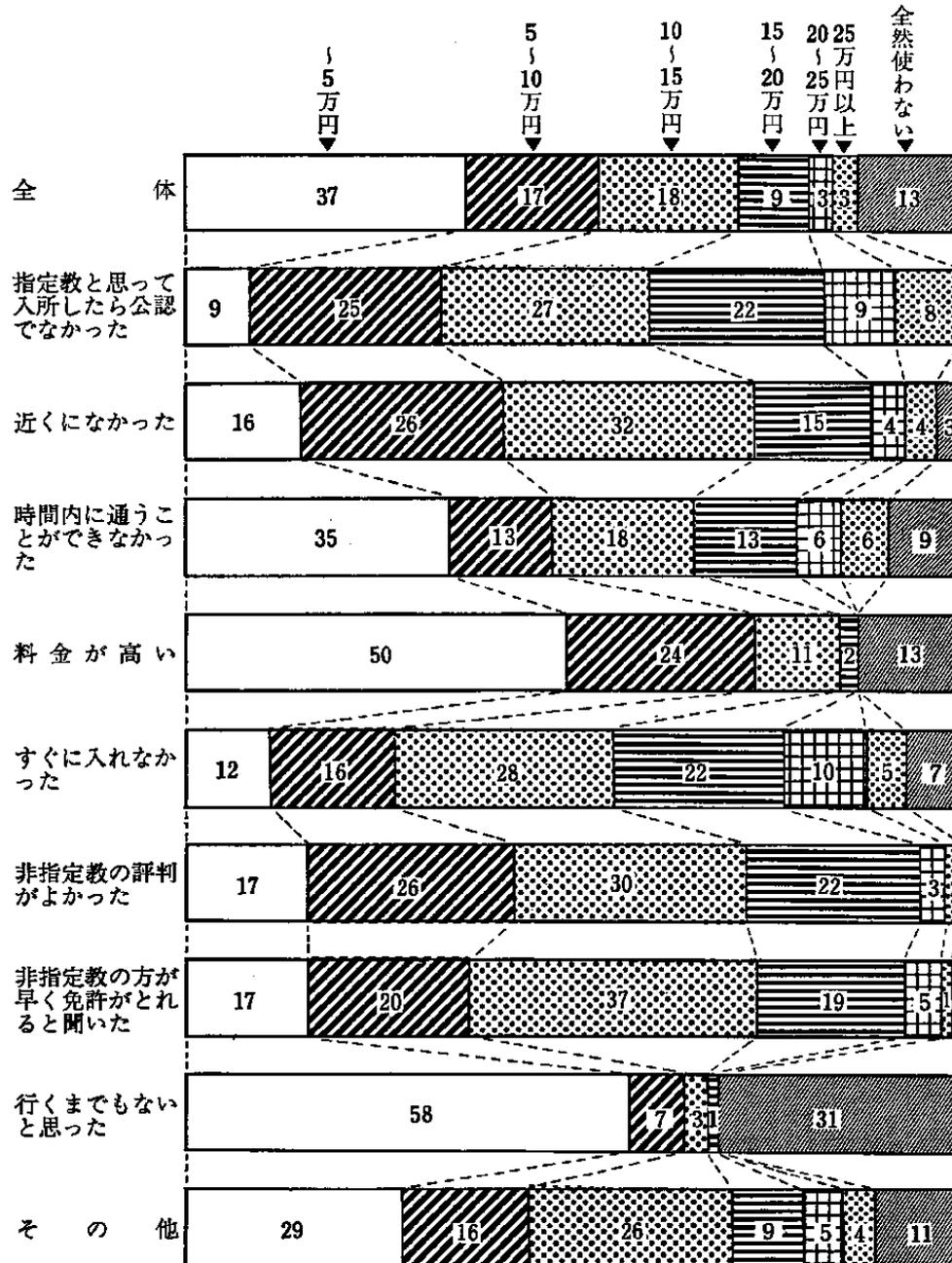
図4-6 過去に普通車を運転できる免許の取得有無と親兄弟・友人等による路上指導の日数 (男)



指定教習所に入所しなかった理由と免許取得に要した費用

指定教習所に入所しなかった理由と免許取得に要した費用との関係は「行くまでもないと思った」者の58%が「5万円以内」、「料金が低い」と答えた人の50%が、同じく「5万円以内」である。また、「行くまでもない」と思った者の31%は「全然使わない」と答えている。

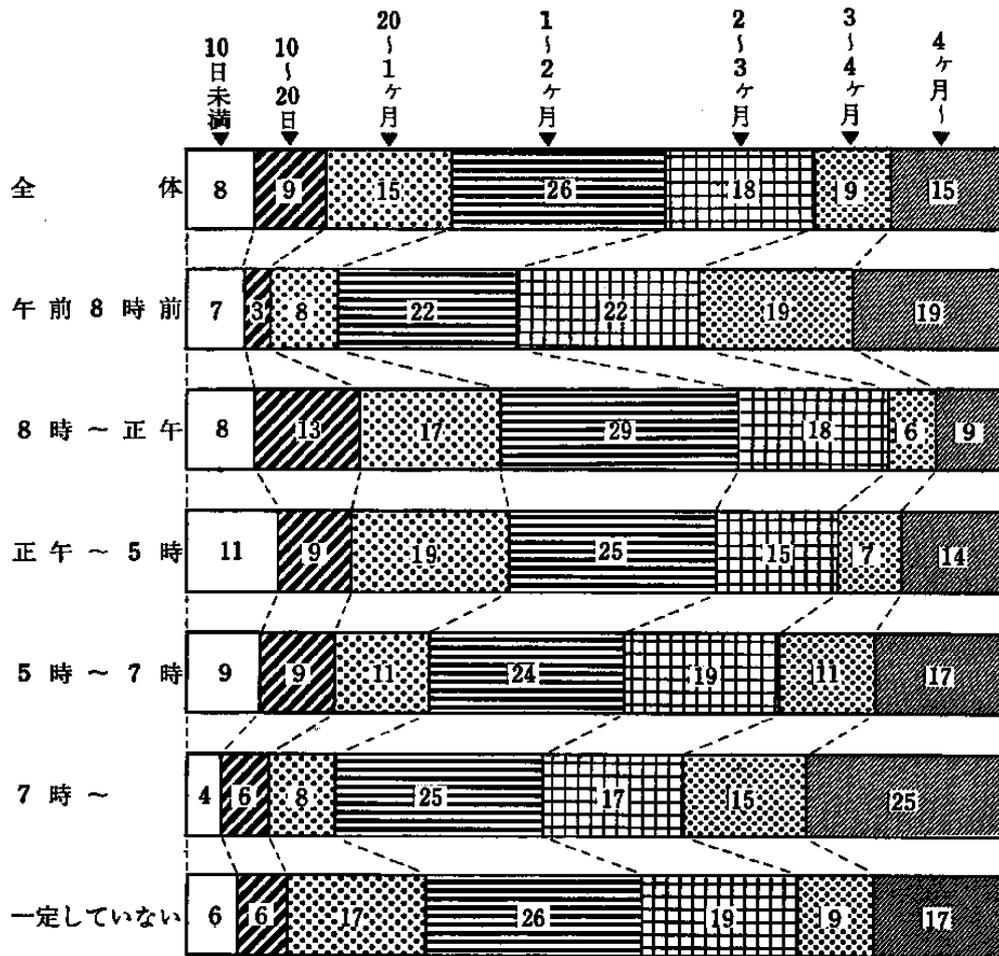
図4-7 指定教習所に入所しなかった理由と、免許取得に要した費用（男）



指導を受けた時間帯と期間

非指定教習所で技能指導を受けた主な時間帯と指導を受けた時間との関係は「8時～正午」に指導を受けた者の67%、「正午～5時」の人の64%が「2ヶ月以内」であるが、午前8時前」や「午後7時以降」の者は、それぞれ40%、43%が「2ヶ月以内」と少ない。

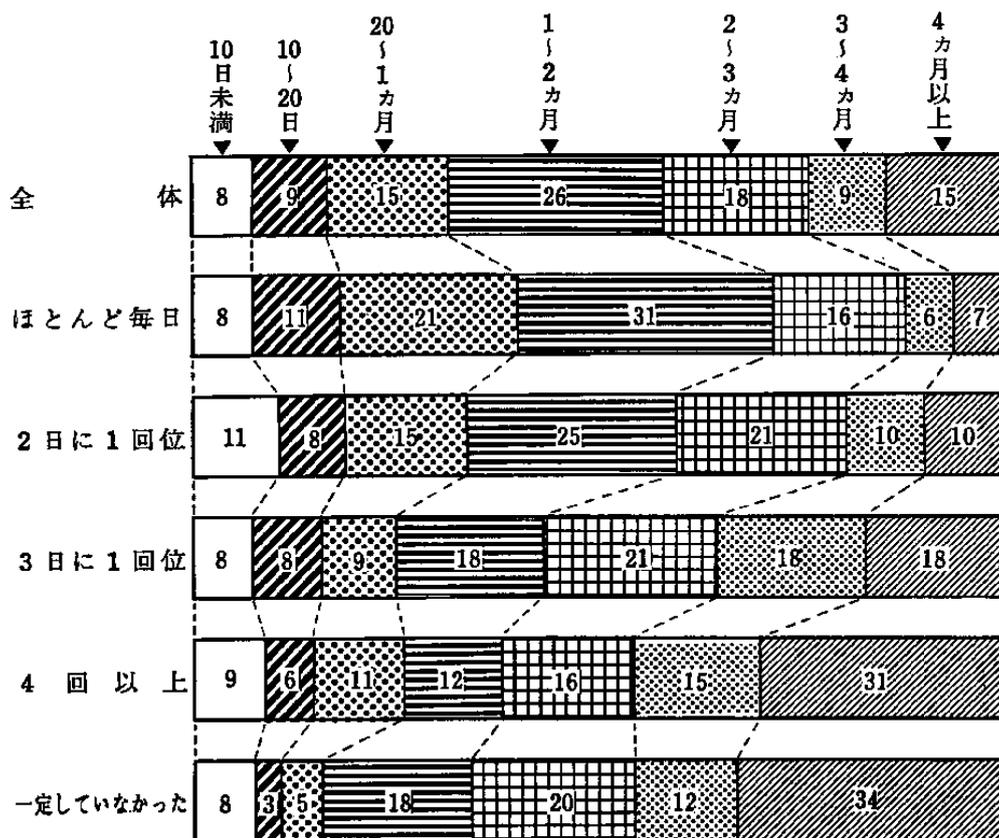
図4-8 非指定教習所での技能指導を受けた主な時間帯と指導を受けた期間（男）



指導を受けた間隔と期間

非指定教習所での技能指導を受けた間隔と指導を受けた期間との関係は、間隔をあけない方が期間が短い傾向にある。「ほとんど毎日」指導を受けた者は71%が、「2日に1回位」の人は59%が、「3日に1回位」の人は43%が、「4日以上」の人は38%が、「一定していなかった」者は34%が「2ヶ月以内」である。

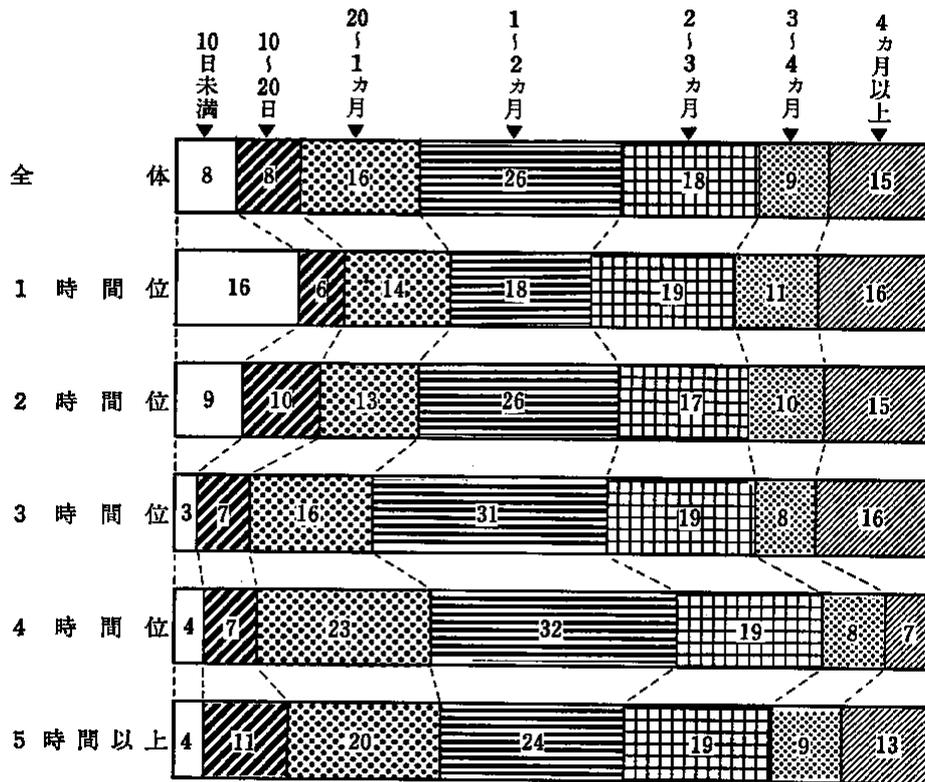
図4-9 非指定教習所での技能指導間隔と指導を受けた期間（男）



指導を受けた1日の最大時間数と期間

非指定教習所で1日に技能指導を受けた最大時間数と指導を受けた期間の関係は、期間「3ヶ月以内」で比較すると、1日に受ける時間数に正比例して、3ヶ月以内で練習が終了する者の割合が大きくなっている。しかし「5時間以上」では、若干小さくなっている。

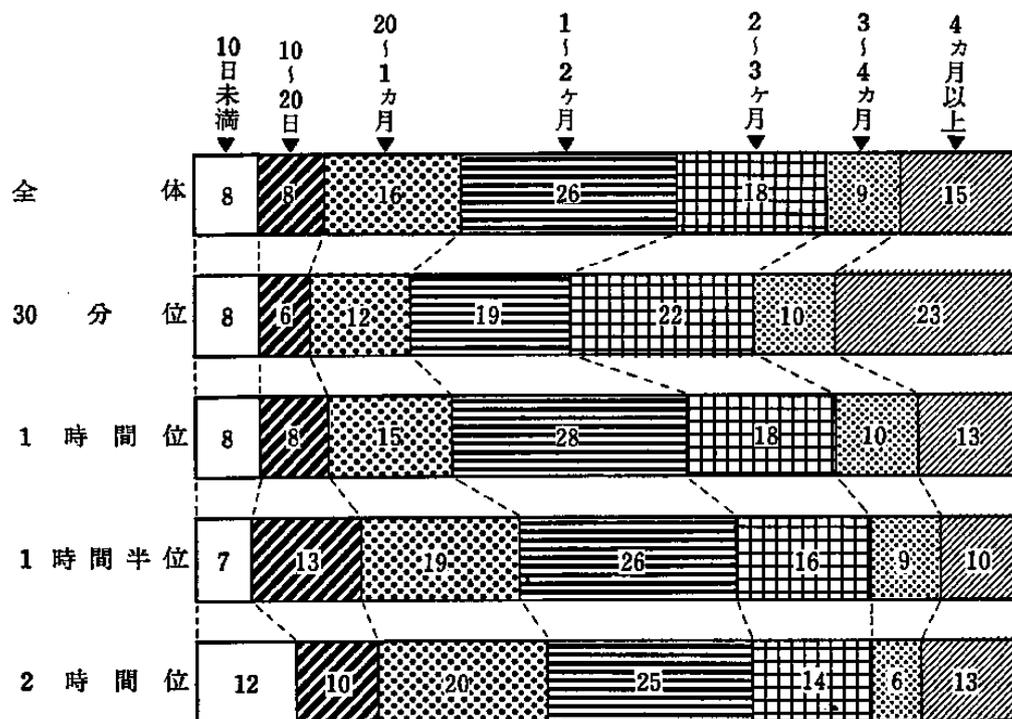
図4-10 非指定教習所で1日で技能指導を受けた最大時間数と指導を受けた期間（男）



指導を受けた1日の最小時間数と期間

非指定教習所で1日に技能指導を受けた最小時間数と指導を受けた期間の関係は、1日に受ける時間数に正比例して、一定期間で練習が終了する者の割合が大きい。

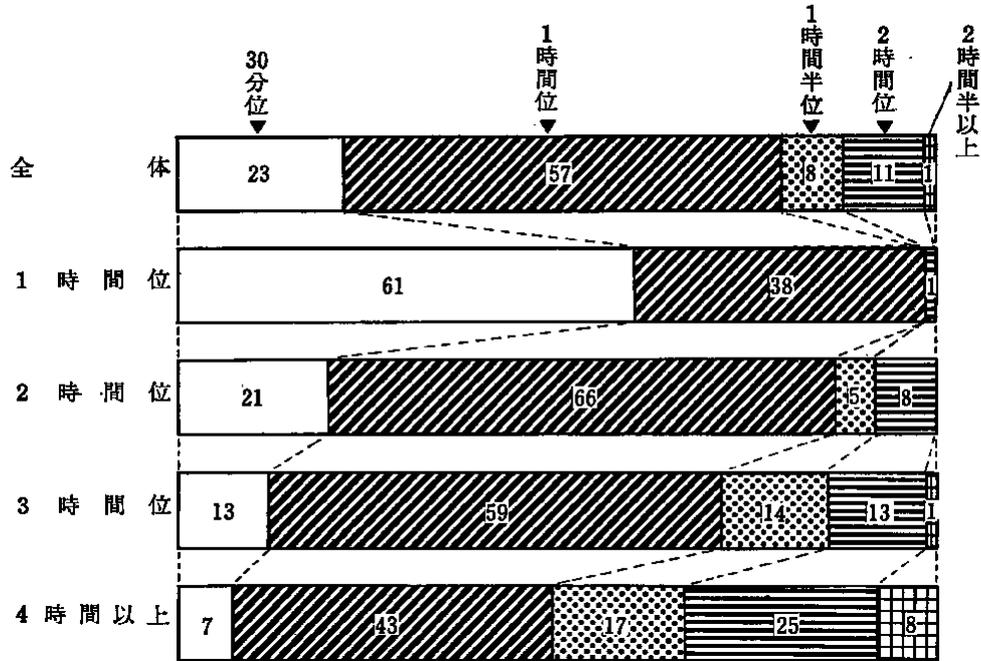
図4-11 非指定教習所で1日で技能指導を受けた最小時間数と指導を受けた期間（男）



指導を受けた1日の最大時間数と最小時間数

非指定教習所で1日に技能指導を受けた最大時間数と最小時間数の関係は、最大時間数の長い者は最小時間数も長い傾向にある。

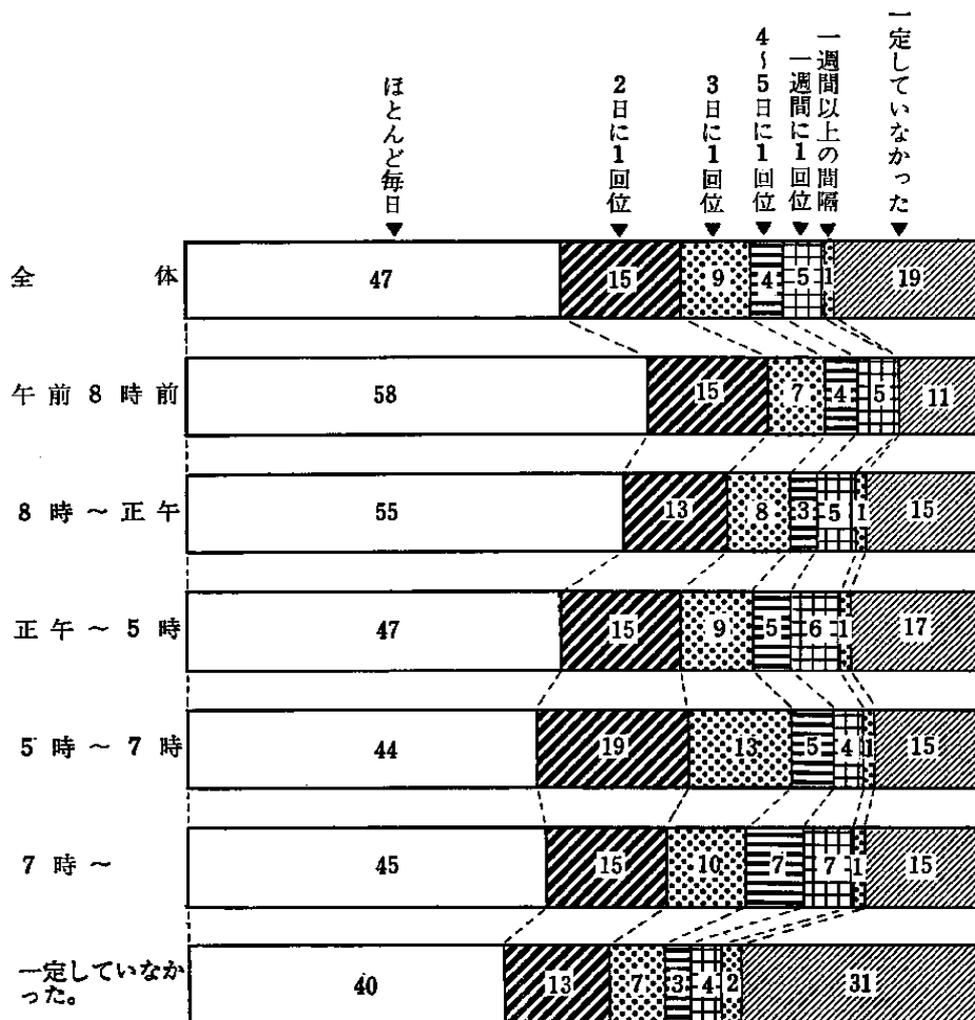
図4-12 非指定教習所で1日で技能指導を受けた最大時間教と時小時間数（男）



指導を受けた時間帯と間隔

非指定教で指導を受けた時間帯と指導を受けた間隔は、午前中の早い時間帯の者ほど間隔が短い。時間帯が一定しなかった者の中31%は間隔も一定していなかった。

図4-13 非指定教習所での指導を受けた時間帯と間隔（男）
指導を受けた間隔



指導員の教え方と不満

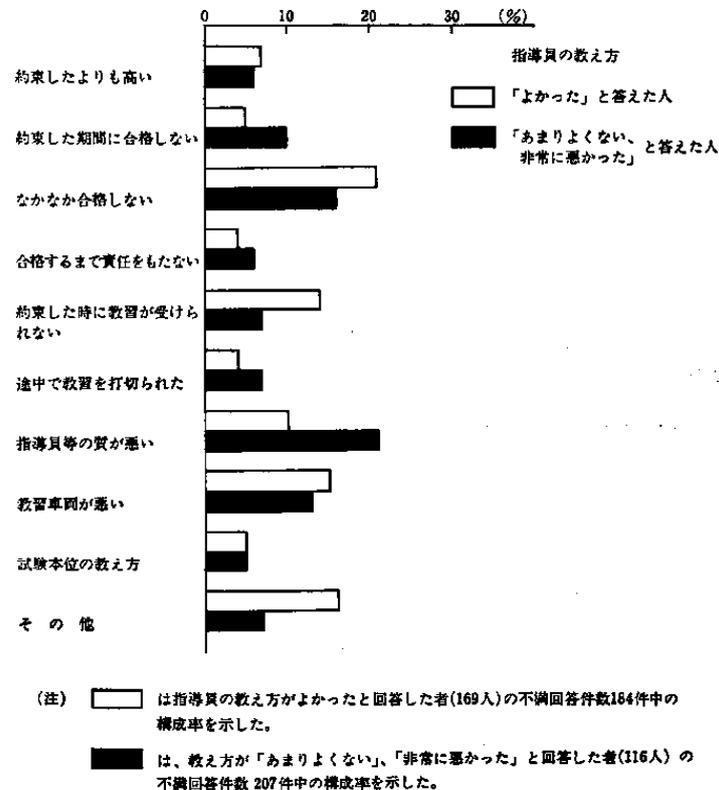
非指定教習所での指導員の教え方が「よかった」と答えた者でも教習所へ対する不満がある。

指導員が「よかった」と答えた人の不満は「なかなか合格しない」「教習車両が悪い」「約束した時に教習が受けられない」等の不満が大きい。指導員の教え方「あまりよくない」「非常に悪かった」と答えた者の教習所への不満は「指導員等の質が悪い」「なかなか合格しない」「教習車両が悪い」等の不満がある。

表 4-1 非指定教習所での指導員の教え方と不満

指導員の教え方	回 答	人 数	不 満	
			回答件数	1人当り平均回答件数
よ か っ た		169	184	1.1
ま あ ま あ		236	296	1.3
あまりよくない		102	176	1.7
非常に悪かった		14	31	2.2
計		521	687	1.3

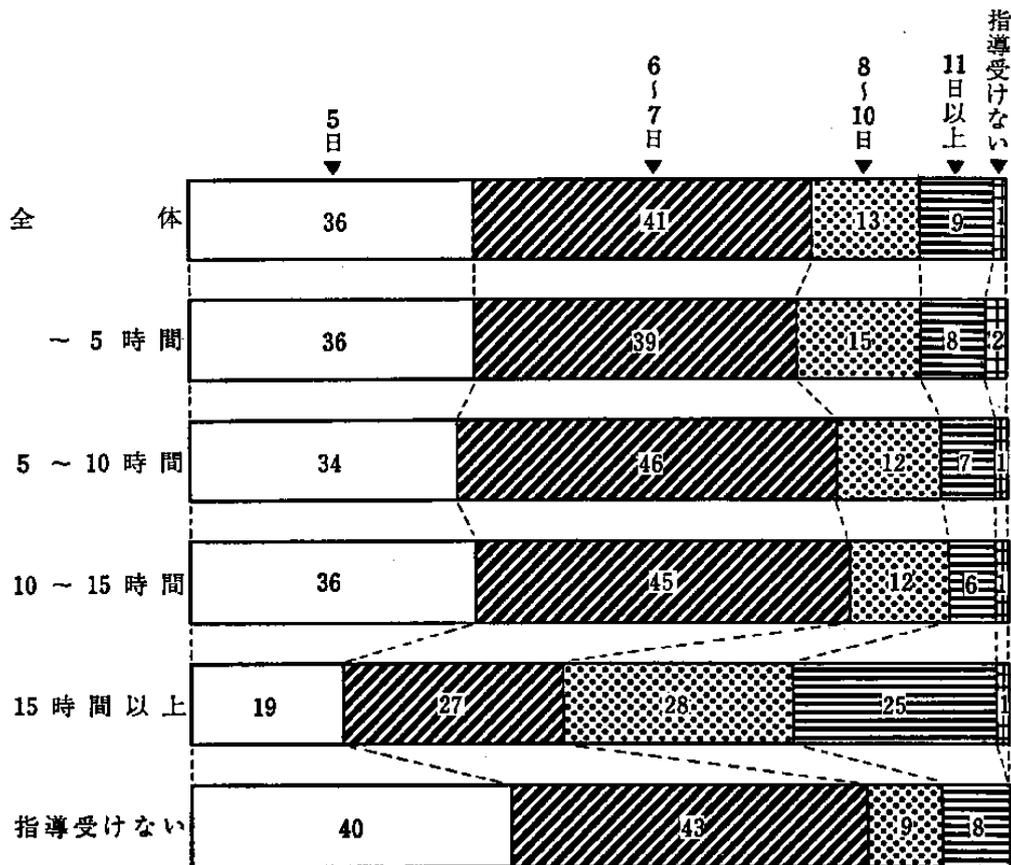
図 4-1-4 非指定教習所での指導員の教え方と不満（男）
回答構成比（重答）



仮免前と仮免後の指導を受けた時間数

親兄弟・友人等に指導を受けた者の仮免許取得前の練習時間数と取得後の練習日数の関係は「0～15時間」の者の日数は、時間数と特に関係はない。しかし「15時間以上」の者は仮免許取得後の日数も多い。

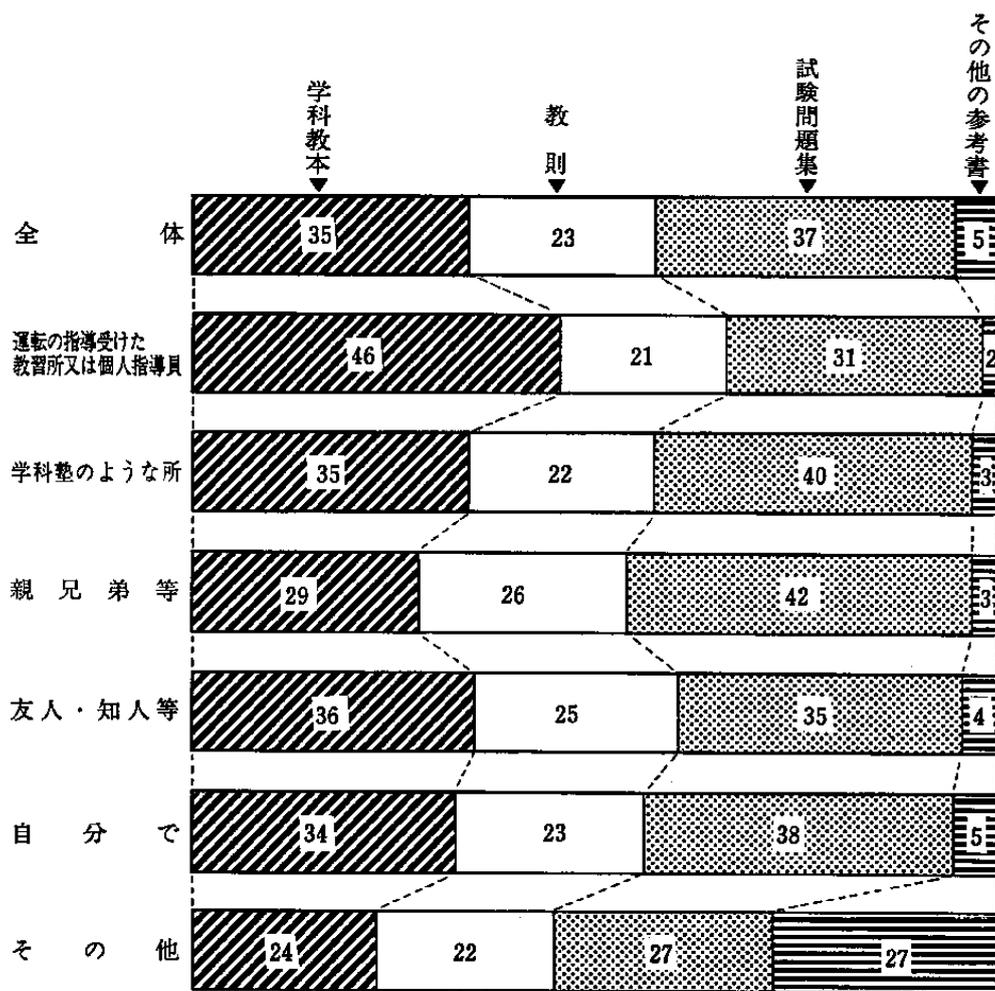
図4-15 親兄弟・友人等に指導を受けた仮免許取得前の時間数と仮免許取得後の日数（男）



学科の勉強方法と参考書

学科の勉強方法を使用した参考書の関係は「親兄弟等」に指導を受けた者の42%が、「学科塾のような所」で指導を受けた者の40%が、「自分で」勉強した者の38%が「試験問題集」を使っている。「運転技能の指導を受けた教習所又は個人指導員」に指導を受けた者の36%が「学科教本」を使っている。

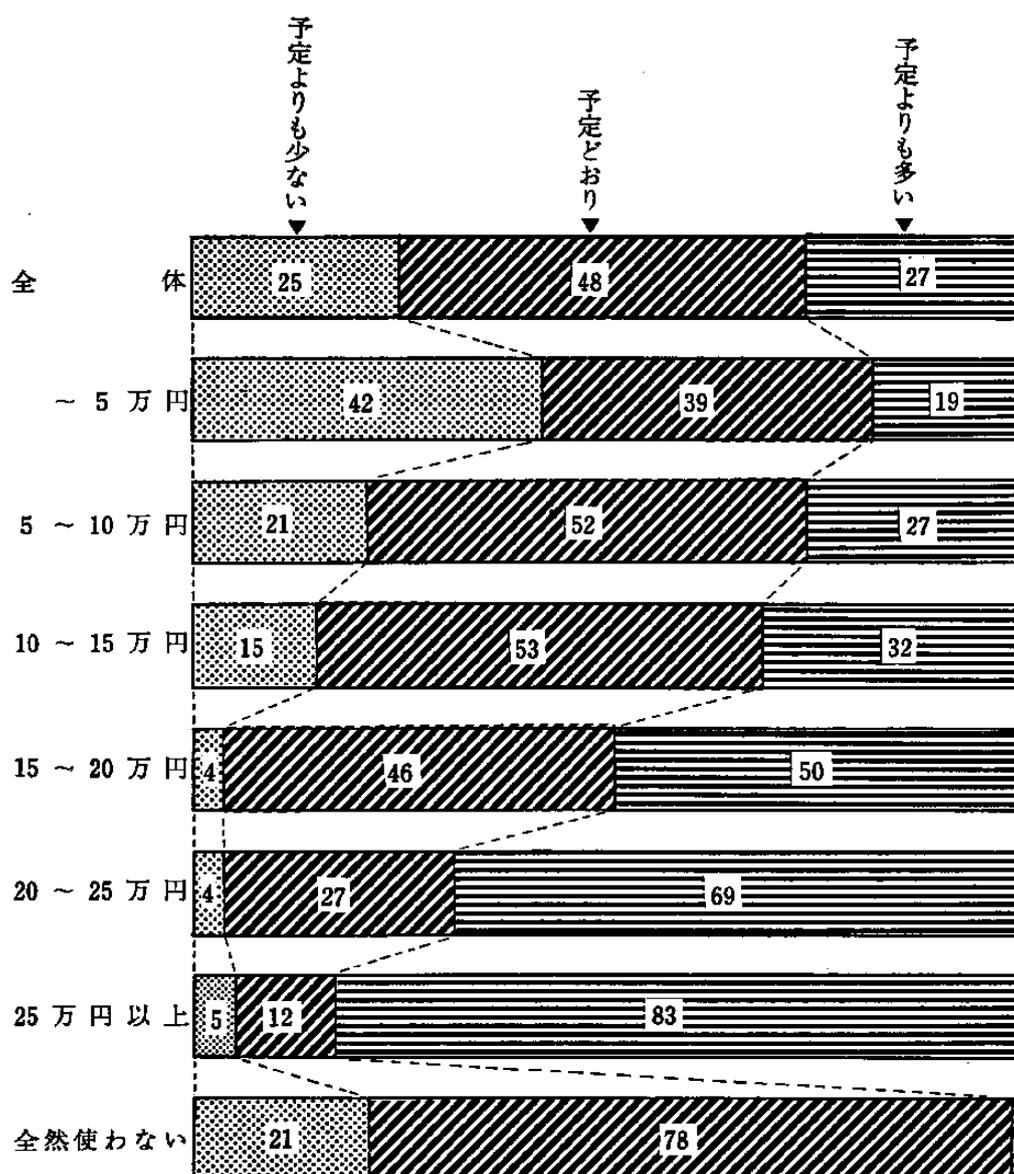
図4-16 学科の勉強方法と使用した参考書（男）



免許取得に要した費用と最初の予定

免許取得に要した費用と最初の予定の関係は、使った金額が多くなる程予定より多いと答えている。

図4-17 免許取得に要した費用と最初の予定（男）



第5章 ま と め

この調査研究は、昭和55年中の全国の普通免許一般受験の合格者数12万人のうち約6,000人の協力を得てアンケート調査を行った結果と昭和54年中に普通免許を取得した指定教習所卒業者を含む初心運転者の免許取得後1年間の事故・違反の実態をとりまとめたものである。

分析結果の主なものを要約すると次のとおりである。

○ 事故・違反について

- (1) 事故・違反の実態について、サンプルとして得られた総数は2,304,072人である。これは、併記免許者を含み取消処分者を除いたものである。
- (2) 練習区分（指定教習所、非指定教習所、賃コース、その他）別に男性の人身事故について事故者率を比較すると、指定教習所は2.86%、非指定教習所は3.39%、賃コースは3.02%、その他は2.83%である。
- (3) 同様に女性の事故者率を比較すると、指定教習所は0.93%、非指定教習所は1.14%、賃コースは1.07%、その他0.89%である。
- (4) 初回事故時の違反内容は、安全運転義務違反が多く男性は58.9%、女性は56.2%である。男女共に徐行、優先通行、信号無視の違反が多い。
また、男性では酒気帯び、女性では歩行者保護違反が多い。特に、賃コースで練習した者は男女共に信号無視、徐行、追越し等の違反が目立つ。
- (5) 練習区分別に男性の違反者率を比較すると、指定教習所は36.4%、非指定教習所は42.0%、賃コースは42.2%、その他は42.7%である。
- (6) 同様に女性の違反者率を比較すると、指定教習所は11.0%、非指定教習所は13.2%、賃コースは13.6%、その他は11.3%である。
- (7) 1年間に3回以上の違反をした者を男性について比較すると、指定教習所は6.0%、非指定教習所は7.8%、賃コースは7.9%、その他は8.5%である。
- (8) 初回違反の内容は、速度違反が目立って多く男性は26.9%、女性は21%である。また男性は女性と共に通行禁止、徐行等の違反が多い。
- (9) 取消処分者の原因は、違反が60~70%、傷害事故が20~30%、死亡事故が3~6%である。
- (10) 事故と違反の関係を事故1回者についてみると違反回数が多い者ほど事故者率が高くなっている。

○ アンケート調査結果について

- (11) アンケート調査の有効サンプル数は6,178人で男性が約75%である。
- (12) 普通免許を取得する目的は、男性は「仕事」が、女性は「通勤・通学」、「買物・用足し等」が多い。

職業別では、自営業、農林・漁業、自由業は「仕事」が多い。公務員、団体職員は「通勤・通学」が、主婦は「買物・用足し等」が多い。

- (13) 車の運転頻度は、男性は「ほとんど毎日」が62%、女性は42%である。職業別では自営業、自由業、農林・漁業等は「ほとんど毎日」が多い。
- (14) 仮免許学科試験の受験回数は、男性は1回が74%、女性は78%である。
- (15) 仮免許技能試験の受験回数は、男性は59%が、女性は41%が4回以内である。
- (16) 本免許学科試験受験回数は、男性、女性共に「1回」が約70%である。
- (17) 本免許の技能試験回数は男性は「1回」が45%、女性は34%である。
- (18) 免許取得に要した費用は男性は「5万円以内」は35%、女性は5%である。
- (19) コースを有しない教習所の多いのは、関東、北海道、四国でそれぞれ53%、42%、32%である。個人指導員は北海道、東京、関東、四国に多く、それぞれ30%、28%、27%、27%である。
- (20) 親兄弟、友人等に技能指導を受けた時の練習場所は「空地・広場」が多いのは九州、中国、近畿に、「免許試験場のコース」は四国、北海道に多い。
- (21) 免許を取得する目的は、親兄弟・友人等に指導を受けた者は「仕事」が多く、72%である。
- (22) 運転頻度は、親兄弟・友人等に指導を受けた者に「ほとんど毎日」が多く79%である。
- (23) 現在何等かの免許を持っているのは27.4%で、原付免許と二輪免許が多い。
- (24) 過去に普通車を運転できる免許を持っていることがある者は31.3%で、普通免許が多い。免許を失った理由は、取消しを受けた者が79%である。
- (25) 過去の免許を失ってから今までの期間は1年以上2年未満が多い。
- (26) 指定教習所で指導を受けたことがある者は13.0%である。卒業しなかった理由は「費用がかかりすぎる」、「自信が付き合格すると思った」、「教習期間内に教習が終了しなかった」が多く、58%の者は仮免許取得後に退所している。
- (27) 指定教習所に入所しなかった者の入所しない理由は「時間内に通うことができなかった」、「料金が高い」、「行くまでもないと思った」、「近くになかった」等の理由が多い。
- (28) 非指定の教習所や個人指導員から指導を受けた者は68%である。
- (29) 非指定教習所等で指導を受けた期間は全体で「2ヶ月未満」が54%である。
- (30) 非指定教習所等で指導を受けた時間帯は、午前8時から正午が27%、正午から午後5時が25%である。
- (31) 非指定教習所等で指導を受けた間隔は、「ほとんど毎日」が52%である。
- (32) 非指定教習所等で1日で一番多く指導を受けた時間数は「2時間位」が最も多い。また1日で一番少く指導を受けた時間数は「1時間位」が最も多い。
- (33) 仮免許を取得するまでに非指定教習所又は個人指導員から指導を受けた時間数は18時間未満は31%である。仮免許取得後で11時間未満は53%である。

(34) 非指定教習所等の指導員の「教え方がよかった」と答えた者と「まあまあであった」と答えた者の合計は94%である。

その理由は「わかりやすく教えてくれた」、「熱心に教えてくれた」が多い。

(35) 非指定教習所等の教習車両の整備状況は「よかった」と「普通」を加えると93%である。

(36) 非指定教習所等に不満を持っている者の主な理由は「なかなか試験に合格しない」、「約束した時に教習が受けられない」、「指導員や職員の質が悪かった」が多い。

(37) 親兄弟・友人等から運転の実地指導を受けたことがある者は61.4%である。

(38) 仮免許を取得するまでに親兄弟・友人等に指導を受けた時間数は「10時間未満」が31%である。又、仮免までは指導を受けなかった者は50%である。仮免許を取った後に指導を受けた日数は「5日」が42%である。

(39) 学科の勉強方法は「自分で」が78%である。また勉強に使用した本は、学科教本、試験問題集、交通の教則の順に多い。

○ クロス集計結果について

(40) 過去に普通車を運転できる免許を持っていて、今回指定教習所を中途退所した者の主な理由は「自信が付き合格すると思った」が多い。また、指定教習所に入所しなかった者の主な理由は「過去に免許を持っていたので行くまでもないと思った」が多い。

(41) 過去に普通車を運転できる免許を持っていた者の非指定教習所での仮免許取得までの技能教習時間は、56%の者が10時間以内、持っていなかった14%の者が10時間以内である。

仮免許取得後の時間は、持っていた者の46%が10時間以内、持っていない者の33%が10時間以内である。

(42) 非指定教習所で技能指導を受けた主な時間帯と指導を受けた期間との関係は、日中（午前8時～午後5時）の者が早朝や夜間の者よりも期間が短い。

(43) 非指定教習所での技能指導を受けた間隔と指導を受けた期間との関係は、間隔が短い方が期間も短いという傾向にある。

(44) 非指定教習所での1日に受けた最大時間数と最小時間数の関係は、最大時間数の長い者は最小時間数も長い傾向にある。

card No. 1

					1
①	②	③	④	⑤	⑥

教習の実態に関する調査

〔調査についてのお願い〕

この調査は、受験者の皆様のご意見やご希望を調査して、今後の施策の参考にするために行うものです。したがって、お答えいただいた内容によって、皆さんが不利益を受けることはありませんので、ありのままをお答えください。

〔記入上のお願い〕

1. 回答は、あてはまる番号を○印で囲むか、()内に具体的なご意見をご記入ください。
2. 回答は、質問番号順に記入洩れのないようお願いします。
なお、質問が途中で枝分れする場合がありますので、指定した質問番号や→印に沿ってお願いします。
3. 記入方法等で、わからないことがありましたら、遠慮なく係員におたずねください。

氏名				性別	1 男	2 女
生年月日	1. 明治 2. 大正 3. 昭和		年		月	
					日	満年齢
職業				1. 会社員	2. 公務員	3. 団体職員
右欄から一つ 選び番号を記入 して下さい				4. 自営業	5. 農林・漁業	6. 自由業
				7. 学生	8. 主婦	9. その他
					10. 無職	

⑦～⑭

⑮

⑮～⑳

㉓～㉔

㉕～㉖

問1 あなたが、今回普通免許をとる主な目的は次のうちどれですか。

(1つだけ○印をつけてください。)

1. 仕事
2. 通勤・通学
3. 買物・用足し等
4. レジャー等
5. 特に目的はない
6. その他(具体的に

問2 あなたは、今後普通自動車をどれ位運転される予定ですか。

1. ほとんど毎日
2. 週に3日位
3. 週に1~2日
4. 月に1日位
5. ほとんど運転しない
6. わからない

問3 あなたは、現在何等かの運転免許を持っていますか。

1. 持っている
2. 持っていない→問4に進んでください。

〔「持っている」と答えた人だけが記入してください。〕

問3-1 その免許の種類は？(持っている全部の免許に○印をつけてください。)

1. 原付免許
2. 小型特殊免許
3. 二輪免許
4. 大型特殊免許
5. けん引免許

問4 あなたは、過去に普通自動車を運転することができる免許を持っていたことがありますか。

1. ある
2. ない→問5に進んでください。

〔「ある」と答えた人だけが記入してください〕

問4-1 その免許の種類は？（持っていた全部の免許に○印をつけてください。）

1. 大型第二種免許
2. 大型免許
3. 普通第二種免許
4. 普通免許

問4-2 その免許を失効させた理由は？

1. うっかりして更新するのを忘れた
2. その他の理由で更新しなかった
3. 取消された

問4-3 その免許が失効してから今日までの期間は？

1. 1年未満
2. 1年～2年未満
3. 2年～3年未満
4. 3年～4年未満
5. 4年～5年未満
6. 5年以上（ 年位）

問5 あなたは、今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために、公安委員会公認
〔技能試験が免除となる〕の教習所で運転の指導を受けたことがありますか。

1. ある
2. ない

〔「ある」と答えた人だけが記入してください〕

問5—1 その教習所を卒業しなかった主な理由は？（1つだけ○印をつけてください。）

1. 運転に自信が付き、試験に合格すると思ったから
2. 費用がかかりすぎるから
3. 交通の便が悪く通いきれなかったから
4. 希望するときに教習が受けられなかったから
5. 法律で定められている教習期間内に教習が終了しなかったから
6. 教習は終了したが、3カ月以内に卒業検定に合格しなかった（卒業検定を受けられなかった）から
7. 指導員等の質が悪かったから
8. 教習方法、内容に不満があったから
9. その他（具体的に）

問5—2 退所した時期は？

1. 仮免許を取る前
2. 仮免許を取ってから

〔「ない」と答えた人だけが記入してください〕

問5—3 公認の教習所で指導を受けなかった主な理由は？（1つだけ○印をつけてください。）

1. 公安委員会公認の教習所と思って入所した教習所が公認でなかった
2. 自宅や勤務先の近くになかったから
3. 教習時間内に通うことができなかったから
4. 料金が安いから
5. 指導員の質が悪いと聞いたから
6. 混んでいてすぐに入れなかったから

7. 過去に免許を持っていたので行くまでもないと思ったから
8. 公安委員会から公認されていない教習所（個人指導員）の評判がよくそこで指導を受けたかったから
9. 公安委員会から公認されていない教習所（個人指導員）の方が早く免許が取れると聞いたから
10. その他（具体的に _____)

問6 あなたは、今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために、公安委員会から公認されていない（技能試験が免除とならない）教習所又は個人指導員から運転の指導を受けたことがありますか。

1. ある _____
2. ない → 問7（10ページ）に進んでください。

〔「ある」と答えた人だけが記入してください〕

問6-1 その教習所又は個人指導員の

名称（名前）は……

所在地は……

都.道.府.県

この欄は記入しないでください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 指定を前提とする教習所 | 2. 指定を前提としない教習所 |
| 3. コースを有しない教習所 | 4. 個人指導員 |
| 5. その他 | |

問6-2 あなたが指導を受けた教習所（個人指導員）を知ったのは？

（1つだけ○印をつけてください）

1. 親兄弟等に聞いて
2. 友人、知人等に聞いて
3. ポスター、看板等を見て
4. 新聞、雑誌等を見て
5. テレビ、ラジオ等で
6. その他（具体的に _____)

問6-3 指導を受けたのは通いでしたか、それとも泊り込み(合宿)でしたか?

1. 通い
2. 泊り込み(合宿)
3. 通いと泊り込みの両方

問6-4 指導を受けた期間は? (指導を受けはじめた日から受けなくなった日までの期間)

1. 10日未満
2. 10日~20日未満
3. 20日~1カ月未満
4. 1カ月~2カ月未満
5. 2カ月~3カ月未満
6. 3カ月~4カ月未満
7. 4カ月~5カ月未満
8. 5カ月~6カ月未満
9. 6カ月以上()カ月)

問6-5 指導を受けた主な時間帯は? (1つだけ○印をつけてください。)

1. 午前8時前
2. 午前8時~正午
3. 正午~午後5時
4. 午後5時~午後7時
5. 午後7時以後
6. 一定していなかった

問6-6 指導を受けた間隔は? (1つだけ○印をつけてください。)

1. ほとんど毎日
2. 2日に1回位
3. 3日に1回位
4. 4日~5日に1回位
5. 1週間に1回位
6. 1週間以上の間隔があった
7. 一定していなかった

問6—7 1日で一番多く指導を受けたときの時間数は？

1. 1時間位
2. 2時間位
3. 3時間位
4. 4時間位
5. 5時間位
6. 6時間以上（ 時間位）

53

問6—8 1日で一番少なかったときの時間数は？

1. 30分位
2. 1時間位
3. 1時間半位
4. 2時間位
5. 2時間半位
6. 3時間位
7. 4時間以上（ 時間位）

54

問6—9 仮免許を取るまでに公認されていない教習所又は個人指導員から指導を受けた時間数は？

1. 5時間未満
2. 5時間～10時間未満
3. 10時間～15時間未満
4. 15時間～18時間未満
5. 18時間～20時間未満
6. 20時間～25時間未満
7. 25時間～30時間未満
8. 30時間以上（ 時間位）
9. 仮免許を取る前は指導を受けなかった

55

問6—10 仮免許を取った後に公認されていない教習所又は個人指導員から指導を受けた時間数は？

1. 5時間未満
2. 5時間～10時間未満

3. 10時間～11時間未満
4. 11時間～15時間未満
5. 15時間～20時間未満
6. 20時間～25時間未満
7. 25時間～30時間未満
8. 30時間以上（ 時間位）
9. 仮免許を取ってからは指導を受けなかった

問6-11 指導員の教え方は？

1. よかった
2. まあまあであった
3. あまりよくなかった
4. 非常に悪かった

〔「よかった」と答えた人だけが記入してください〕

問6-11-1 その理由は？（あてはまるものにもいくつでも○印をつけてください。）

1. 親切に教えてくれた
2. わかりやすく教えてくれた
3. 熱心に教えてくれた
4. 言語・態度に好感がもてた
5. 公平に教えてくれた
6. その他（具体的に ）

〔「あまりよくなかった」又は「非常に悪かった」と答えた人だけが記入してください〕

問6-11-2 その理由は？（あてはまるものにもいくつでも○印をつけてください。）

1. 不親切だった
2. わかりにくかった
3. 熱意がなかった
4. 言語・態度が悪かった
5. 教習時間がルーズだった
6. 指導員によって教え方がまちまちだった
7. 人によって不公平な教え方をした
8. その他（具体的に ）

card No. 2

						2
--	--	--	--	--	--	---

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

問6-12 教習車両の整備状況は？

1. よかった
2. 普通
3. 悪かった

⑦

問6-13 あなたが指導を受けた教習所又は個人指導員に対し不満を持ったことがありますか。

1. ある
2. ない → 問7 (10ページ) に進んでください。

⑧

〔「ある」と答えた人だけが記入してください。〕

問6-13-1 その理由は？ (あてはまるものにいくつでも○印をつけてください。)

1. 約束した料金よりも高くとられた
2. 約束した期間内に試験に合格しなかった
3. なかなか試験に合格しなかった
4. 試験に合格するまで責任を持ってくれなかった
5. 約束した時に教習が受けられないことがあった
6. 途中で教習を打切られることがあった
7. 指導員や職員の質が悪かった
8. 教習車両が悪かった
9. 試験本位の教え方だった
10. その他 (具体的に)

⑨~⑬

問7 あなたは、今回の仮免許や本免許の技能試験を受けるために、親・兄弟・友人等から運転の実地指導を受けたことがありますか。

(1つだけ○印をつけてください。)

1. ある
2. ない → 問8 (12ページ) に進んでください。

〔「ある」と答えた人だけが記入してください。〕

問7-1 主に指導してくれたのは？

1. 親兄弟等
2. 友人・知人等

問7-2 仮免許を取るまでに親兄弟・友人等に指導を受けた時間数は？

1. 5時間未満
2. 5時間～10時間未満
3. 10時間～15時間未満
4. 15時間～18時間未満
5. 18時間～20時間未満
6. 20時間～25時間未満
7. 25時間～30時間未満
8. 30時間以上 (時間位)
9. 仮免許を取る前は指導を受けなかった → 問7-3 (11ページ) に進んでください

〔「1～8」に答えた人だけが記入してください。〕

問7-2-1 その時の主な練習場所は？ (1つだけ○印をつけてください。)

1. 公安委員会公認の教習所のコース
2. 免許試験場のコース
3. その他のコース (公認されていない教習所のコース, 貸コース等)
4. 空地・広場等
5. その他の場所 (具体的に)

問7-3 仮免許を取った後、路上で親兄弟・友人等に指導を受けた日数は？

1. 5日
2. 6日～7日
3. 8日～10日
4. 11日～15日
5. 16日～20日
6. 21日～25日
7. 26日～1ヵ月
8. 1ヵ月以上
9. 仮免許を取ってからは指導を受けなかった

23

問8 学科の勉強は主としてどのような方法でしましたか。

(1つだけ○印をつけてください)

1. 運転の指導を受けた教習所又は個人指導員に教えてもらった
2. 学科塾のようなところで教えてもらった
3. 親兄弟等に教えてもらった
4. 友人、知人等に教えてもらった
5. 自分で勉強した
6. その他(具体的に)

24

問9 学科の勉強に使った参考書は、次のうちのどれですか(あてはまるものに、いくつでも○印をつけてください)

1. 学科教本(教習所の教科書)
2. 教 則(交通の教則)
3. 試験問題集
4. その他の参考書
5. その他(具体的に)

25~28

問10 仮免許の学科試験に合格するまでの受験回数は?

(内に受験回数を記入してください)

--	--

 回

29~31

問11 仮免許の技能試験に合格するまでの受験回数は(公認の教習所で修了検定を受けた人はその回数)?

(内に受験回数を記入してください)

--	--

 回

32~33

問12 本免許の学科試験に合格するまでの受験回数は?

(内に受験回数を記入してください)

--	--

 回

34~35

問13 本免許の技能試験に合格するまでの受験回数は？

(内に受験回数を記入してください)

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

回

②③~②⑦

問14 あなたが、今日までに使った費用はどれ位ですか（交通費、試験手数料等は除く）

1. 5万円未満
2. 5万円～10万円未満
3. 10万円～15万円未満
4. 15万円～20万円未満
5. 20万円～25万円未満
6. 25万円～30万円未満
7. 30万円～35万円未満
8. 35万円～40万円未満
9. 40万円以上（約 万円）
10. 全然使わなかった

②⑧

問15 その金額は最初の予定とくらべてどうですか。

1. 予定よりも少なかった
2. 予定よりも多かった
3. 予定どおりだった

②⑨

ご協力ありがとうございました。

いつまでも安全運転に心がけ、無事故、無違反の模範的なドライバーになられますよう、心からお祈りします。